# 第１編　上野Ⅰ遺跡

# 第１章　既往の調査

これまで上野Ⅰ遺跡では、昭和 62 年に長野原町教育委員会によって詳細分布調査が行われたのみで、本調査は今回が最初である。今回の土地改良事業に伴う発掘調査を行うに当たり、試掘調査が行われた。その際に平安時代の竪穴住居跡や縄文土器、弥生土器、須恵器、陶磁器などが発見され、本調査に至った。

# 第２章　調査の経過

上野Ⅰ遺跡の発掘調査は、平成 30 年５月 10 日から開始し、同年 10 月 12 日に終了した。

５月 10 日、群馬県八ッ場ダム水源地域対策事務所、長野原町役場産業課、長野原町教育委員会との表土掘削および排土置き場について打ち合せを行う。５月 28 日、表土掘削を開始する。表土掘削は排土の安全性から全面掘削ではなく東西に分けて打って返しで行うこととし、東側区画から開始した。発掘調査後に圃場整備工事が行われるため、畑の耕作土とその下層土を分けておく必要があり、先行して畑土の掘削を行なった。

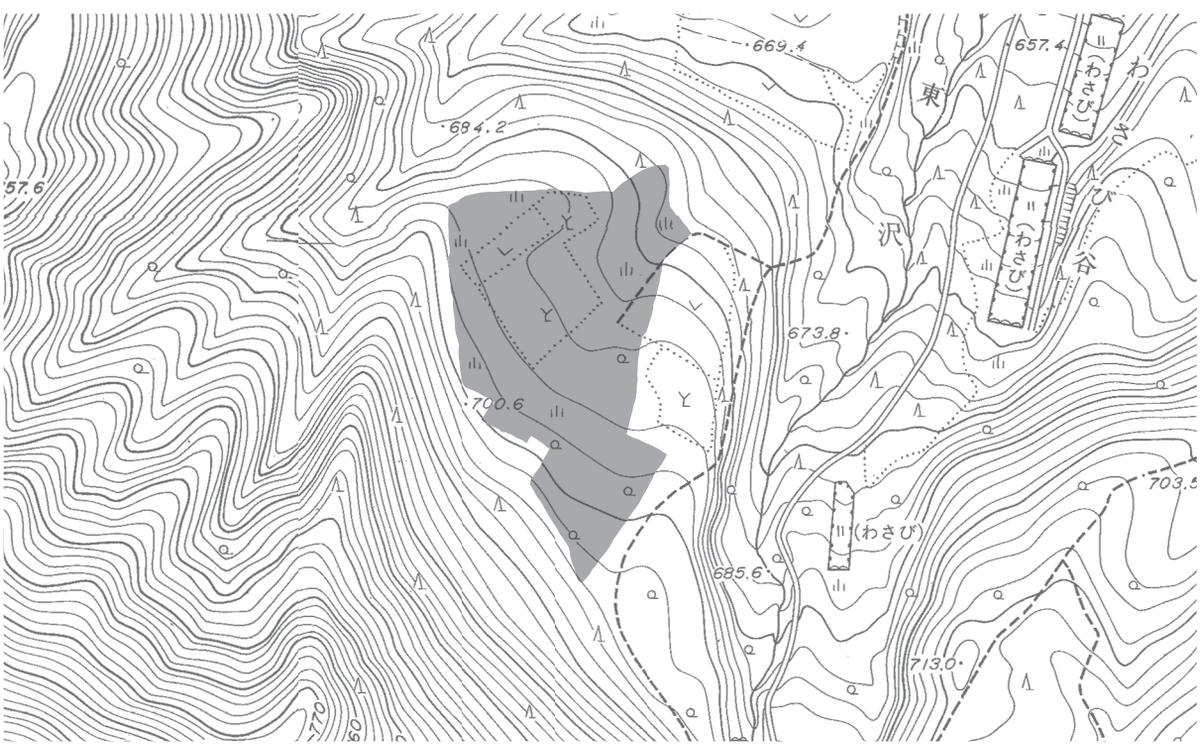
６月６日、下層土の掘削を開始し、並行して南東部から遺構確認作業を行なった。６月 13 日、陥し穴を含む土坑・溝の遺構精査を開始する。

７月 10 日、東側区画の表土掘削が終了した。７月 11 日、SI01 の遺構掘削を開始する。

８月２日、空中写真撮影を実施する。SI01、陥し穴の掘り方調査を開始する。８月３日、打って返しのため排土の移動を開始する。８月 23 日、畑土の掘削を開始する。８月 31 日、下層土の掘削を開始した。

９月１日、西側区画の遺構確認作業を開始する。９月６日、SI02、SI03、土坑の遺構掘削を開始する。９月 10 日、SI04 の遺構掘削を開始する。９月 11 日、西側区画の表土掘削が終了した。

10 月４日、空中写真撮影を実施する。10 月５日、SI02 ～ 04 の掘り方調査を開始する。10 月 12 日、長野原町教育委員会が調査終了を確認した。器材等の撤収作業を行い、発掘調査を終了した。




第７図　調査区位置図（1/2,500）

# 第３章　基本層序

今回の発掘調査の基本土層は、Ａ地点（東部）・Ｂ地点（南東部）・Ｃ地点（北西部）・Ｄ地点（北東部）の計４か所で確認した。基本層序は以下の通りである。

第Ⅰ層　黒 褐 色 土 ： 表土層で現代の畑の耕作土である。粘性はなく、しまりはある。試掘 57 号トレンチ１層に相当する。

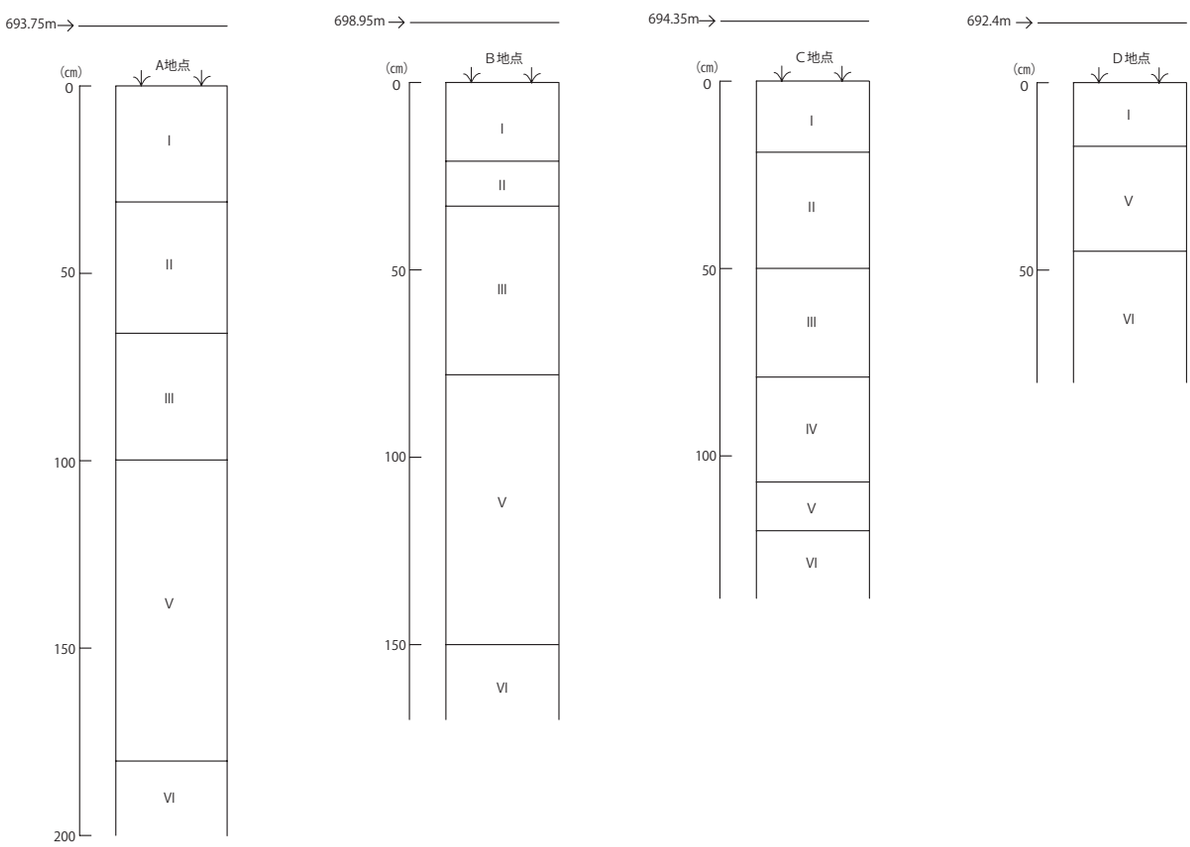
第Ⅱ層　黄 褐 色 土 ： 粘性はややあり、しまりはある。黒褐色土・YPk（φ 0.5 ～ 2.0㎝）含む。遺物包含層で縄文土器、弥生土器、土師器が出土している。試掘 57 号トレンチ５層に相当する。

第Ⅲ層　黄 褐 色 土 ： 粘性はややあり、しまりはある。遺構確認面で SI03 を確認している。試掘 57 号トレンチ６層に相当する。

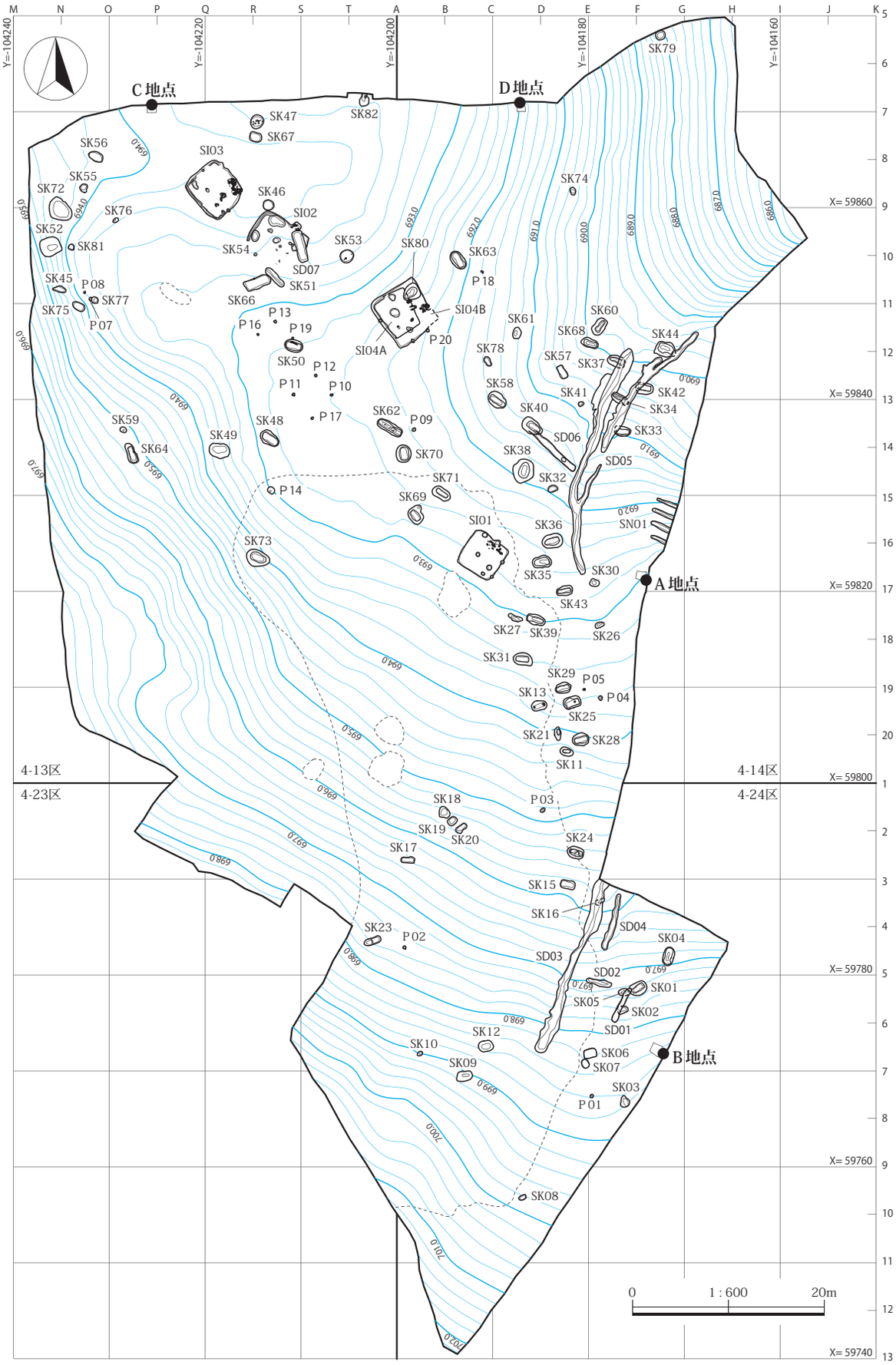
第Ⅳ層　明 黄 褐 色 土 ： やや砂質。粘性はなく、しまりはある。ローム層で調査区北西部の標高の高いＣ地点で確認されている。

第Ⅴ層　明 黄 褐 色 土 ： ローム層。粘性はややあり、しまりはある。YPk（φ 0.3 ～ 1.0㎝）含む。

第Ⅵ層　明 黄 褐 色 砂 ： YPk 層。




第８図　基本土層柱状図（1/20）




第９図　調査区全体図（1/600）

# 第４章　検出された遺構と遺物

## 第１節　遺跡の概要

上野Ⅰ遺跡は群馬県吾妻郡長野原町大字横壁に所在する。吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の支流である深沢と白岩沢に挟まれた吾妻川右岸の中位段丘面の南方の、丸岩山の北西面の山脚地帯に位置する。吾妻川支流の東沢の中流の左岸に位置する尾根上に立地する。遺跡のある尾根は、丸岩から北東に向かって伸び、丸岩山の山脚のうち比較的幅広い。この尾根上には、南北の上下二段に分かれる緩斜面があり、本遺跡は南側上段の緩斜面に立地する。前方緩斜面が上野Ⅱ遺跡である。標高は 685 m～ 702 mで、現況は畑地と広葉樹林地である。

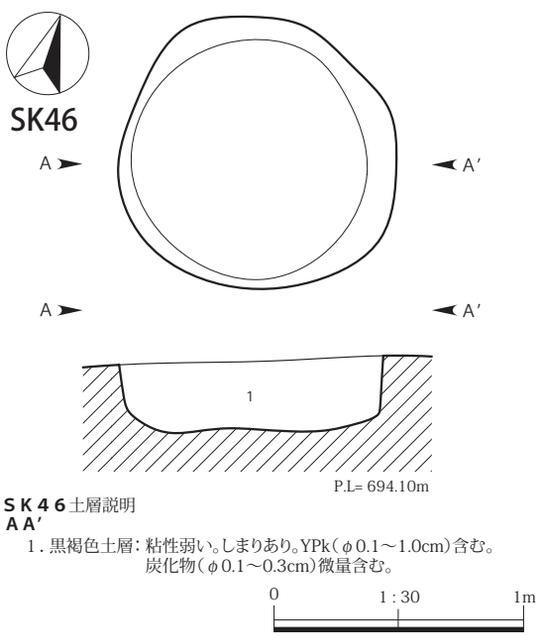
今回の発掘調査は上野Ⅰ遺跡の第１次調査にあたる。調査範囲は畑地部分の東半分と広葉樹林地の北半分にあたり、大字横壁字上野 787 外に所在する。発掘調査で確認された遺構は、縄文時代晩期から弥生時代前期の土坑 10 基、ピット１基、平安時代の竪穴住居跡５軒、陥し穴 33 基、平安時代末～中世の陥し穴２基、時期不明の土坑 34 基、溝７条、畑跡１面、ピット 16 基である。出土した遺物の種類は、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、鉄製品、陶磁器、石器で、その数量はテンバコで３箱分であった。

## 第２節　縄文・弥生時代の遺構と遺物

### （１）　土坑

SK46（第 10 図）

**位置**　４－ 13 区Ｒ－８　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為的な堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 110㎝、短軸 100㎝、深さ 28㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 72°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が３点出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　出土遺物から縄文時代と考えられる。



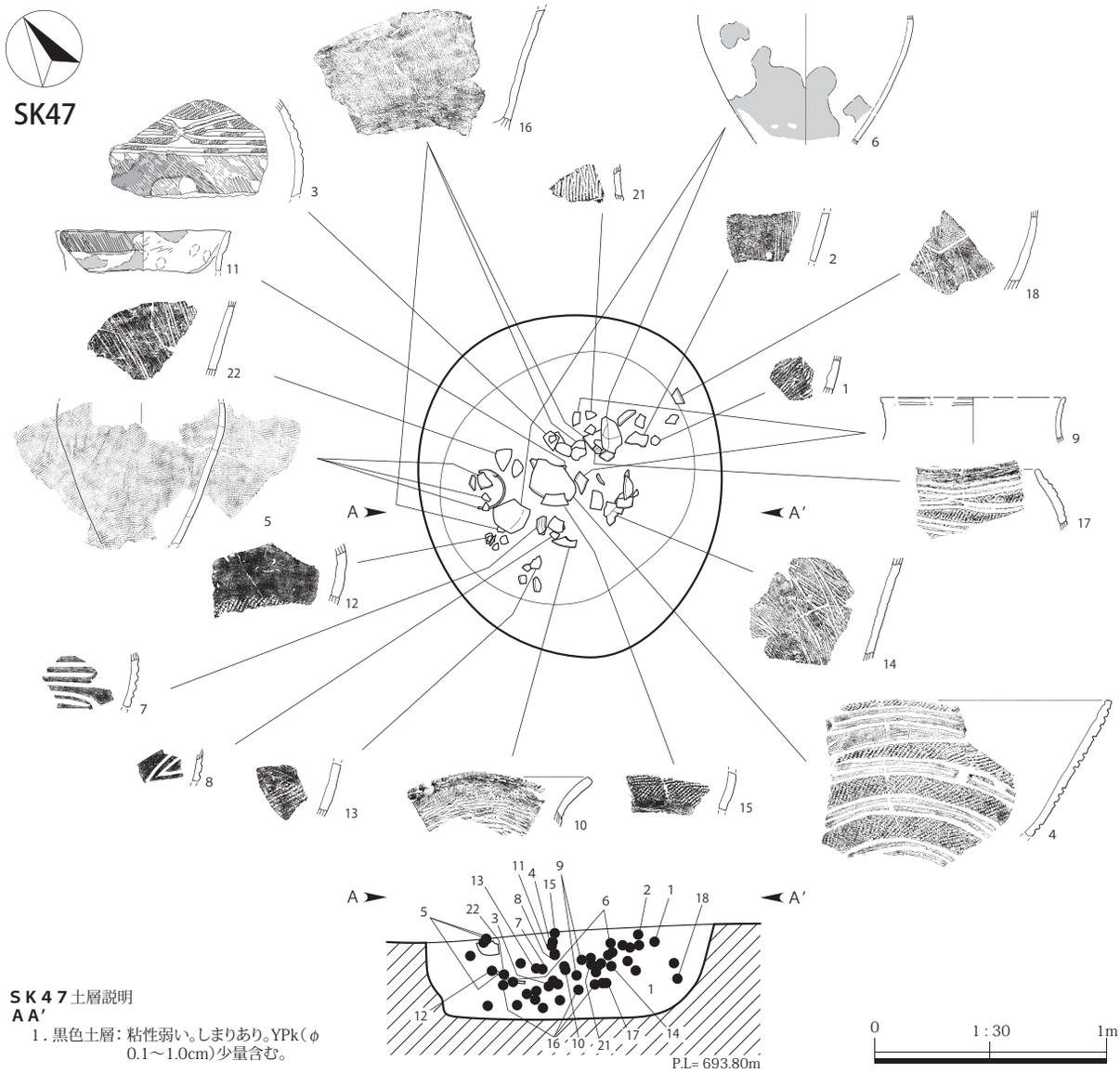

第10図　SK46実測図（1/30）

SK47（第 11・14・15 図／第 13 表／ＰＬ２・７）

**位置**　４－ 13 区Ｒ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土が基調で、人為的な堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 148㎝、短軸 130㎝、深さ 39㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 21°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器 24 点、弥生土器 58 点が出土し、縄文土器８点、弥生土器 14 点を図示した。縄文土器では混入物の中期初頭の五領ヶ台式が２点見られた。また晩期後半と見られる変形工字文の土器が SK67 出土の土器と接合した（第 14 図 17）。弥生土器では条痕文を施す壺が多く見られた。　**備考**　出土遺物から縄文時代晩期から弥生時代前期と考えられる。

SK53（第 12・15 図／第 13 表／ＰＬ２・７）

**位置**　４－ 13 区Ｓ－９　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為的な堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 142㎝、短軸 132㎝、深さ 37㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 65°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器が１点、弥生土器の壺片が２点出土し、晩期後半と見られる変形工字文の浅鉢１点を図示した。　**備考**　出土遺物から縄文時代晩期から弥生時代前期と考えられる。




第11図　SK47実測図（1/30）

SK55（第 12・15 図／第 13 表／ＰＬ２・７）

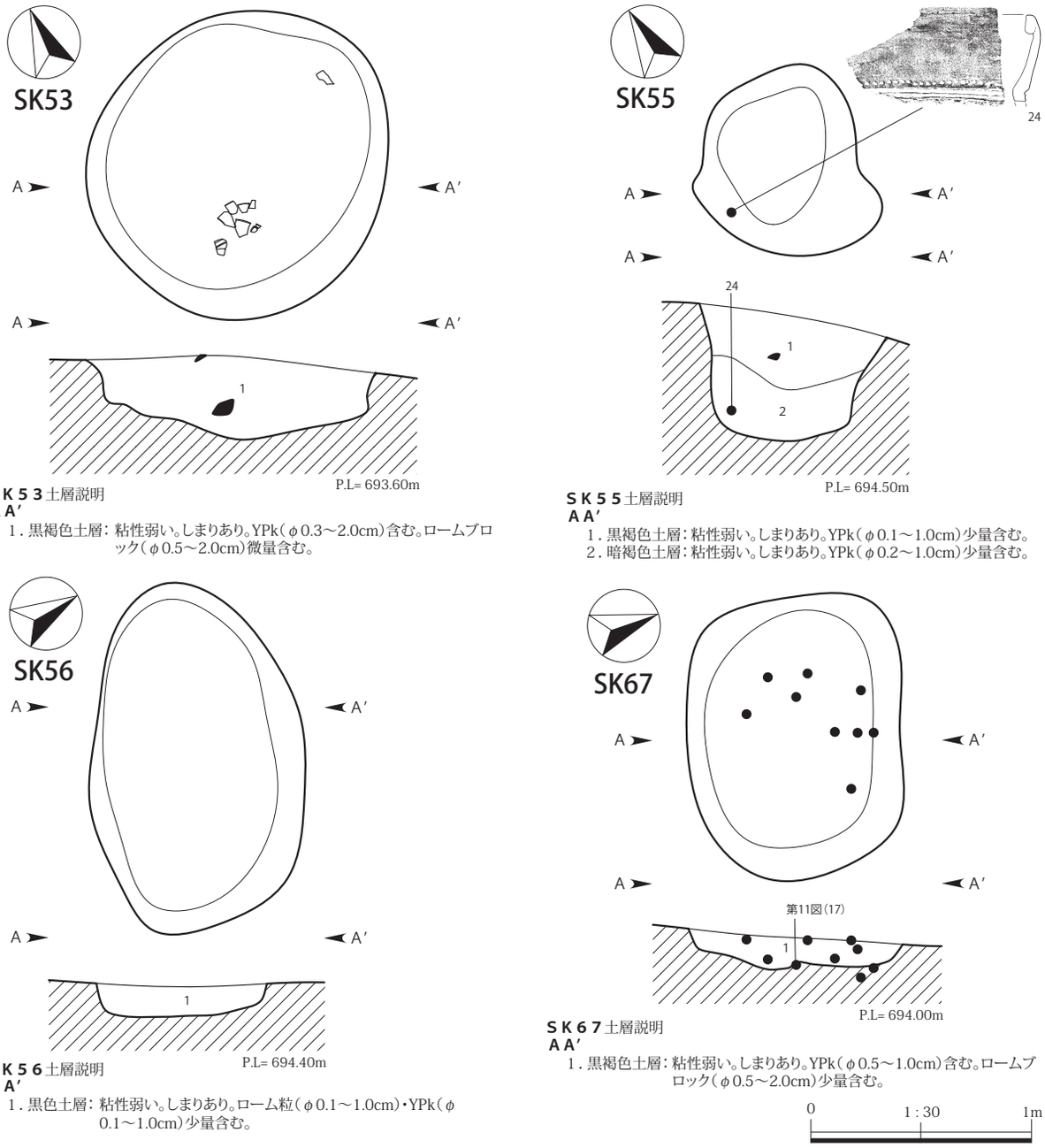
**位置**　４－13区Ｎ－８　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 91㎝、短軸 83㎝、深さ 56㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 24°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が４点、弥生土器片が６点出土し、弥生土器の壺の口縁部片１点を図示した。　**備考**　出土遺物から縄文時代晩期から弥生時代前期と考えられる。

SK56（第 12 図）

**位置**　４－ 13 区Ｎ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 158㎝、短軸 94㎝、深さ 14㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 65°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器の壺片が４点出土しているが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　出土遺物から弥生時代と考えられる。

SK67（第 12・14 図／第 13 表／ＰＬ３・７）

**位置**　４－13区Ｒ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。




**ＳＫ５３**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～2.0cm）含む。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）微量含む。

**ＳＫ５５**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）少量含む。

**ＳＫ５６**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～1.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。

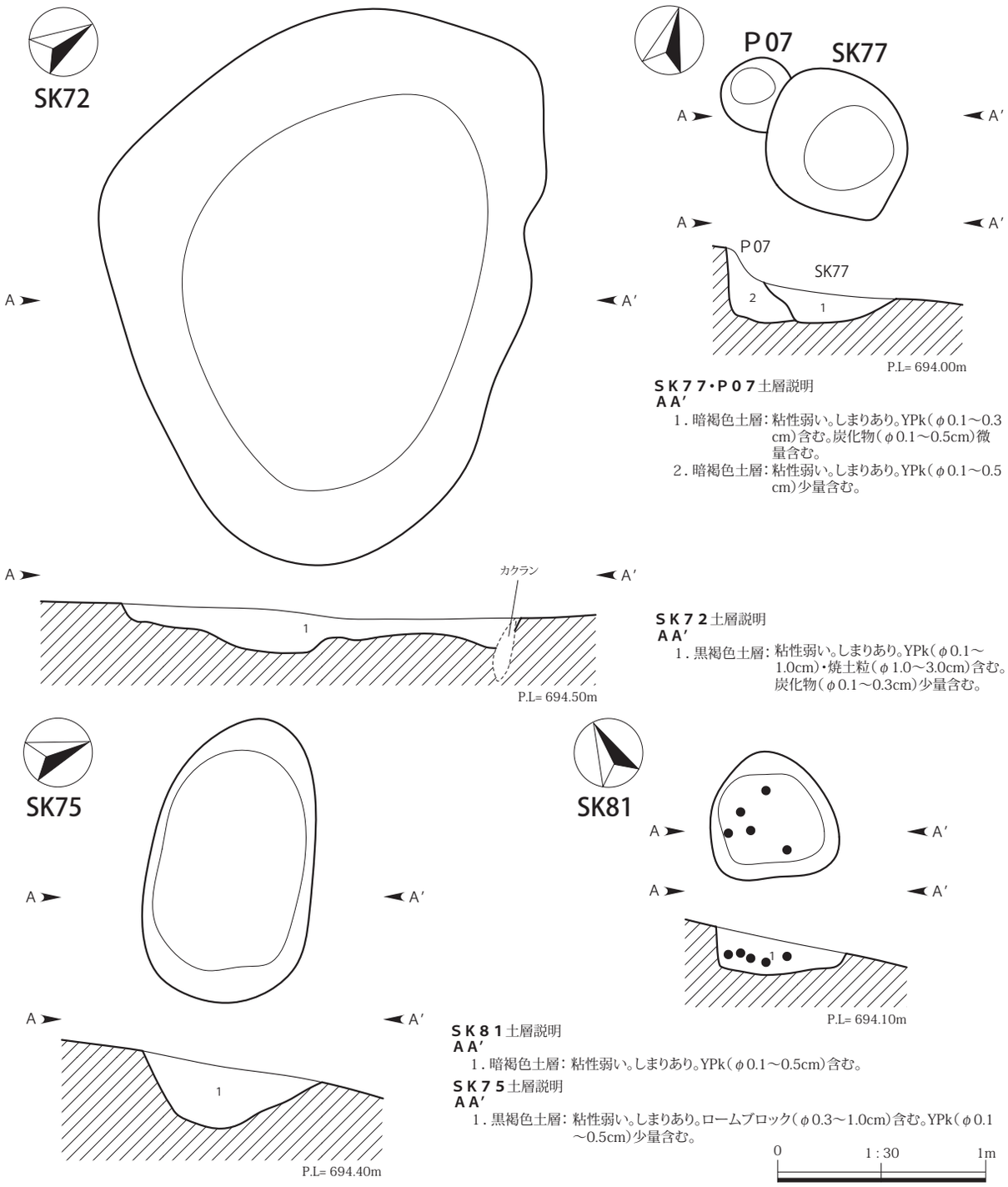
**ＳＫ６７**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～1.0cm）含む。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。

第12図　SK53・55・56・67実測図（1/30）

**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 129㎝、短軸 95㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－69°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が 15 点、安山岩の剥片が 1 点出土しているが、SK47 出土の土器と接合した土器片（第 14 図 17）の他は、小破片のため図示しなかった。　**備考**　出土遺物から縄文時代晩期から弥生時代前期と考えられる。

SK72（第 13 図）

**位置**　4－13区M－9　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 270㎝、短軸 210㎝、深さ 20㎝。　**主軸方位**　N－37°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が 86 点出土しているが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　出土遺物から縄文時代と考えられる。




**ＳＫ７７・Ｐ０７**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）含む。炭化物（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＫ７２**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）・焼土粒（φ1.0～3.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＫ８１**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）含む。

**ＳＫ７５**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

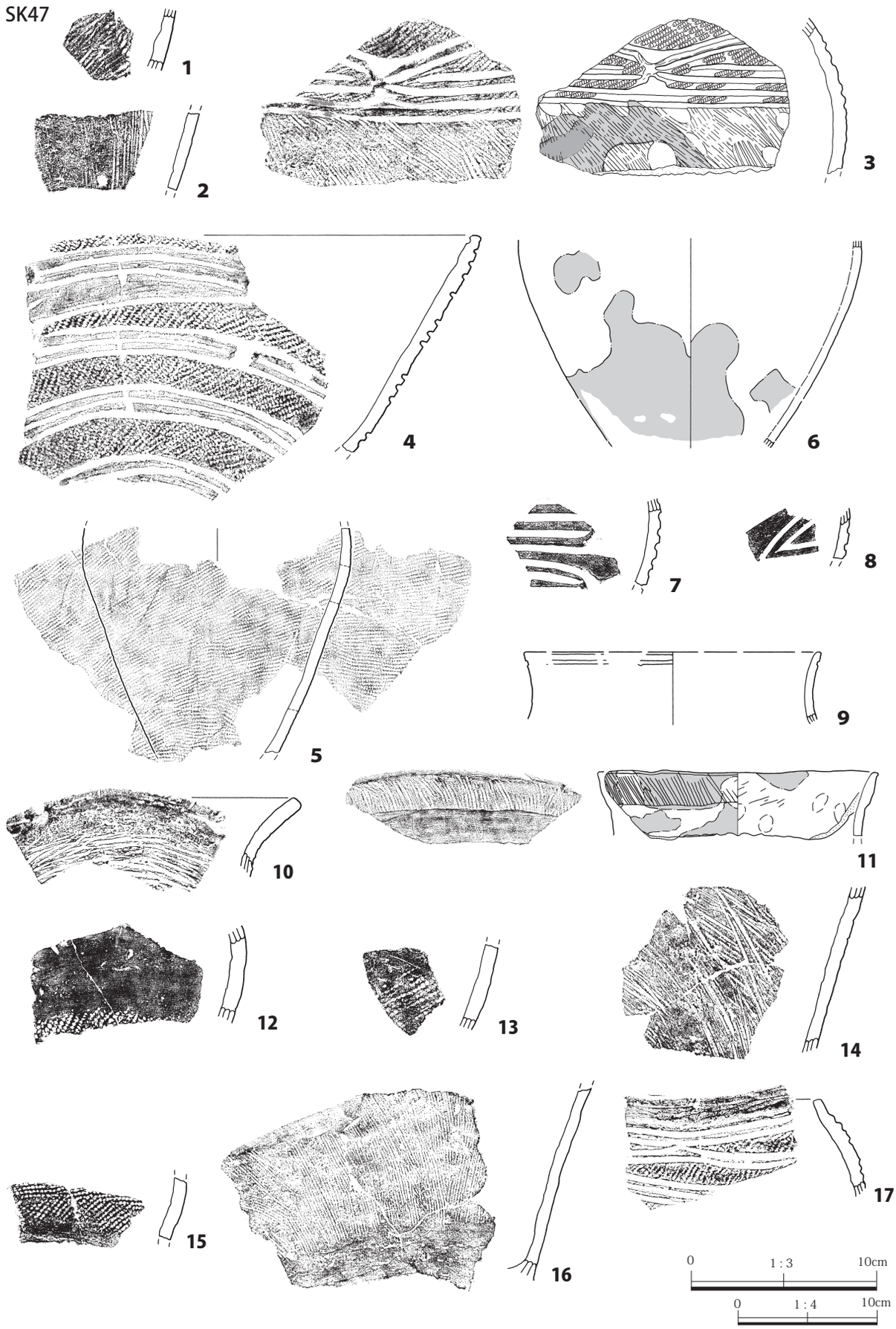
第13図　SK72・75・77・Ｐ07・SK81実測図（1/30）

SK75（第 13 図）

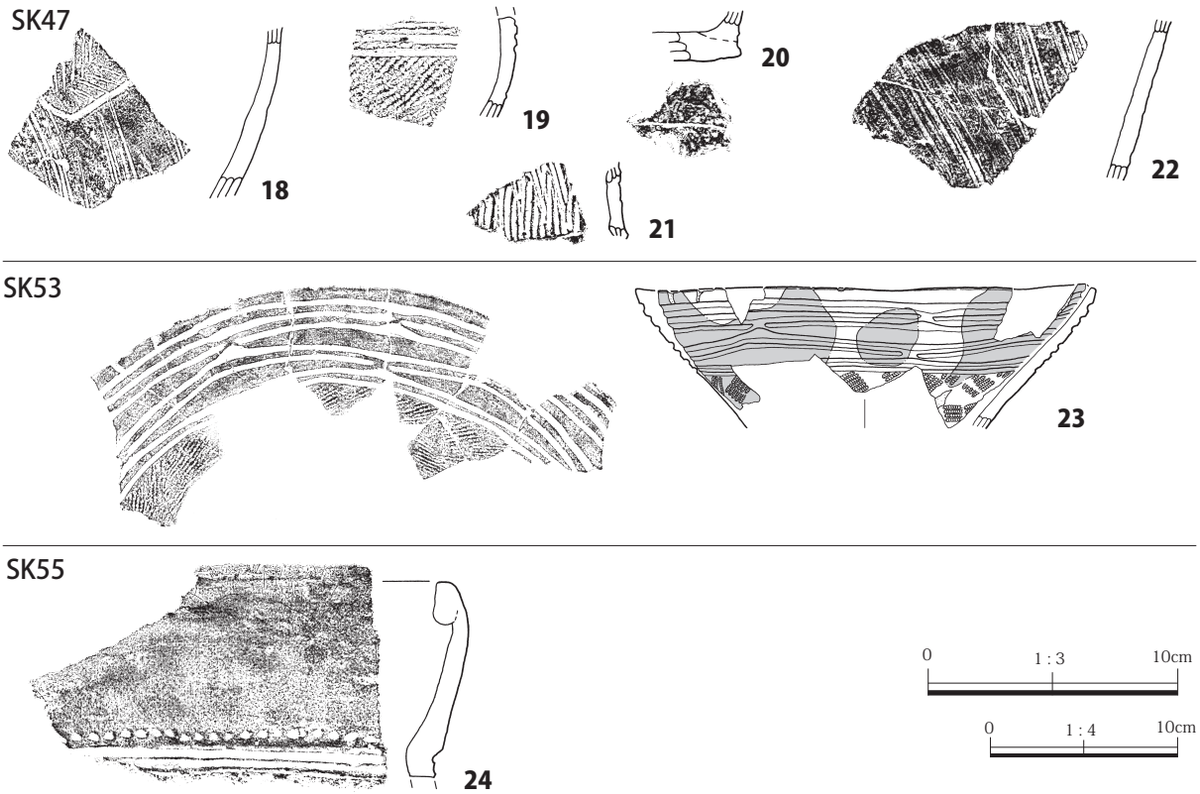
**位置**　４－13区Ｎ－11　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 138㎝、短軸 76㎝、深さ 30㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 58°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片、黒曜石の剥片が 1 点ずつ出土しているが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　出土遺物から縄文時代と考えられる。

SK77（第 13 図）

**位置**　４－ 13 区Ｎ－ 10　**重複関係**　Ｐ 07 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**




第14図　縄文・弥生時代土坑出土遺物実測図①（1/3・1/4）




第15図　縄文・弥生時代土坑出土遺物実測図②（1/3・1/4）

暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 80㎝、短軸 64㎝、深さ 16㎝。　**主軸方位**　N－41°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器片３点、黒曜石の剥片１点が出土しているが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　出土遺物から弥生時代と考えられる。

SK81（第 13 図）

**位置**　４－13区N－９　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整円形を呈する。規模は長軸 63㎝、短軸 48㎝、深さ 18㎝。　**主軸方位**　N－４°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦だが、一部に凹凸がある。　**遺物**　縄文土器片が 20 点出土しているが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　出土遺物から縄文時代と考えられる。

### （２）ピット（第 13 図／第５表）

縄文・弥生時代のピットはＰ 07 の１基のみ確認された。弥生前期と考えられる SK77 と重複し、SK77 より古い。遺物は縄文土器片が２点出土しているが、小破片のため図示しなかった。Ｐ 07 の平面形や規模などの情報は、第５表に記載した。

第５表　上野Ⅰ遺跡ピット観察表①

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模（㎝） | | | 覆土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸長 | 短軸長 | 深さ | | |
| P07 | ２－94区Ｄ－９ | 円形 | 40 | 35 | 6 | B | |

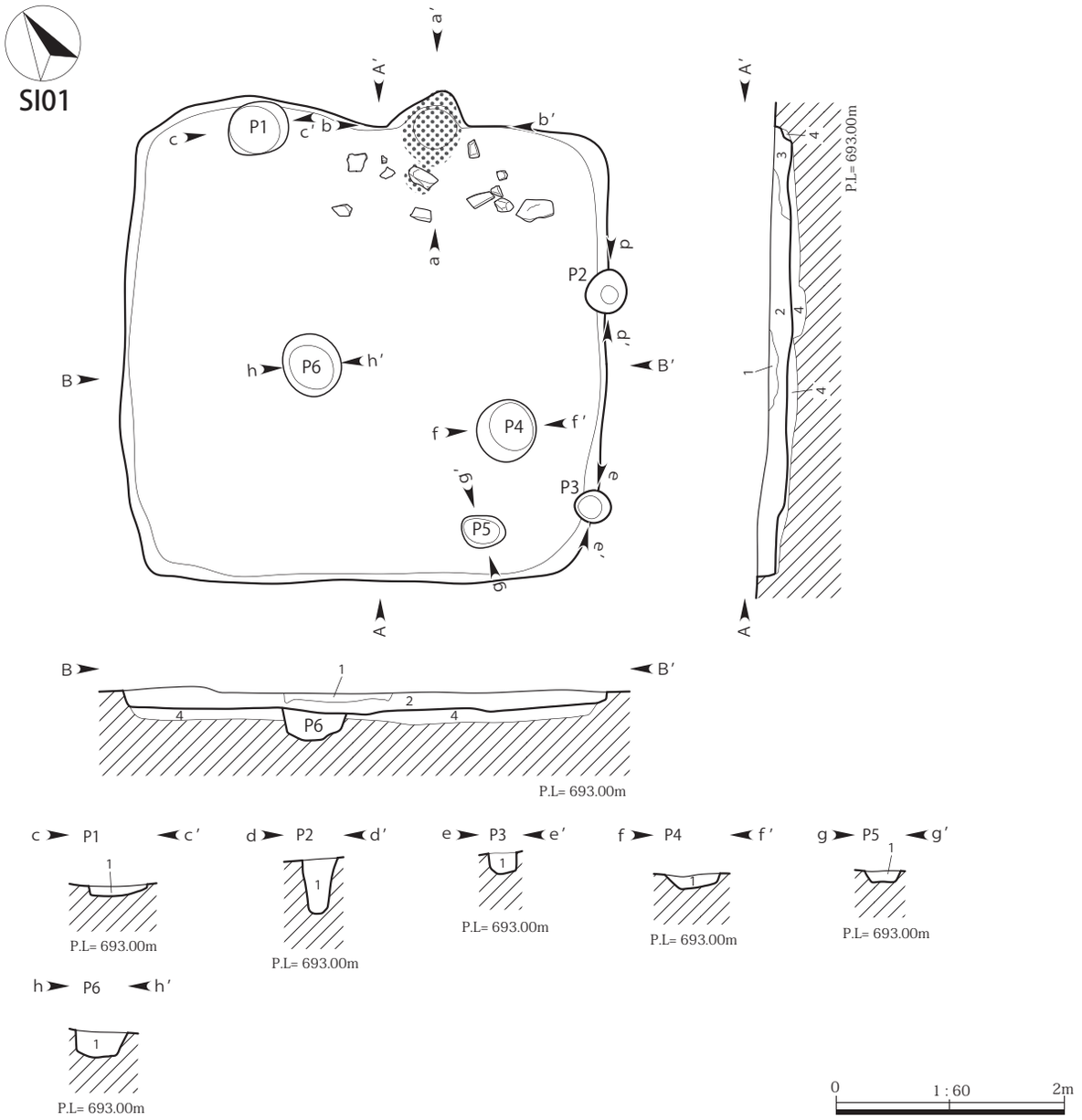
※Ａ：黒褐色土　Ｂ：暗褐色土

## 第３節　平安時代の遺構と遺物

### （１）竪穴住居跡

SI01（第 16 ～ 19 図／第６・12・13 表／ＰＬ３・７）

**位置**　４－14 区Ｂ－16　**重複関係**　なし。**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　ほぼ方形を呈する。主軸 4.06 m、副軸 4.04 m、深さは 19㎝、床面積は 15.5㎡。　**主**




**ＳＩ０１**土層説明
**ＡＡ′ＢＢ′**
1．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～0.5cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。
4．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・ロームブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。

**ＳＩ０１Ｐ１**土層説明
**ｃｃ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）含む。

**ＳＩ０１Ｐ２**土層説明
**ｄｄ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

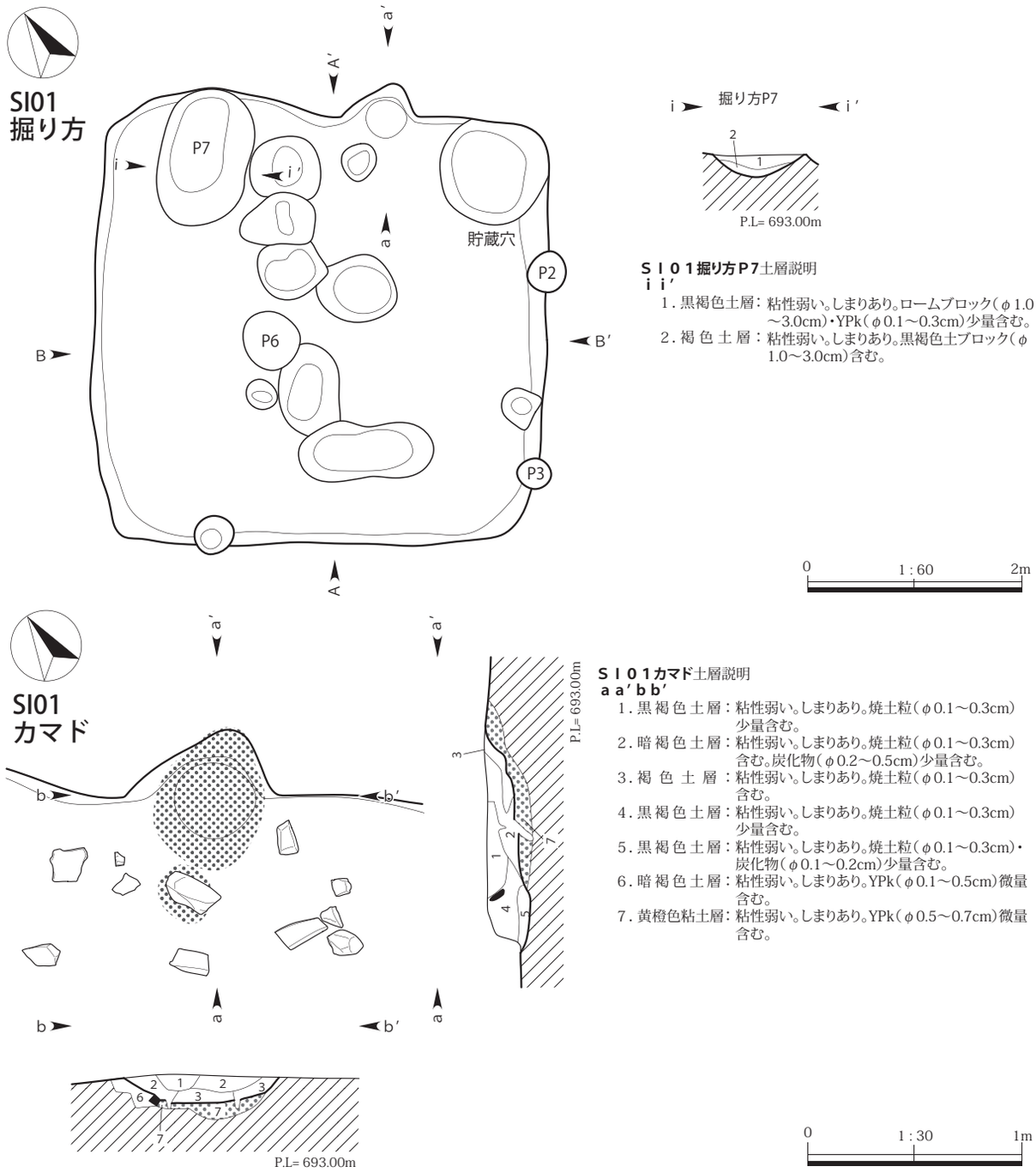
**ＳＩ０１Ｐ３**土層説明
**ｅｅ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０１Ｐ４**土層説明
**ｆｆ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＩ０１Ｐ５**土層説明
**ｇｇ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０１Ｐ６**土層説明
**ｈｈ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

第16図　SI01実測図（1/60）




**ＳＩ０１掘り方Ｐ7**土層説明
**ｉｉ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．褐色土層：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）含む。

**ＳＩ０１カマド**土層説明
**ａａ′ｂｂ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）含む。炭化物（φ0.2～0.5cm）少量含む。
3．褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）少量含む。
5．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.2cm）少量含む。
6．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
7．黄橙色粘土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～0.7cm）微量含む。

第17図　SI01掘り方（1/60）・カマド実測図（1/30）

第６表　SI01 ピット計測表

| | P1 | P2 | P3 | P4 | P5 | P6 | P7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 長軸長（cm） | 53 | 37 | 30 | 54 | 35 | 40 | 127 |
| 短軸長（cm） | 44 | 34 | 27 | 51 | 29 | 40 | 82 |
| 深　さ（cm） | 8 | 47 | 18 | 10 | 9 | 22 | 20 |

**軸方位**　N－32°－E　**壁・壁溝**　壁高は南北・西壁が 13 ～ 15 ㎝、東壁が 10㎝。ともに外傾する。壁溝は確認されなかった。　**床面**　直床だが貼床や踏み締りは確認されなかった。概ね平坦。　**柱穴**　Ｐ１～７まで確認され、床面でＰ１・４～６の４基、壁柱穴と見られるＰ２・３の２基、掘り方でＰ７を検出した。平面形は円形、楕円形を呈する。それぞれの規模は、第６表に記載する。　**カマド**　北壁のやや東寄りに位置する。袖や天井部は残存せず、周辺にはカマドの支持材と見られる石材が散在していた。全長は 104m、最大幅 72㎝。火床面は８㎝掘り込まれ、焼土部分の厚さは 7㎝を有する。　**その他の施設**　貯蔵穴が１基検出された。貯蔵穴は床面では検出でき

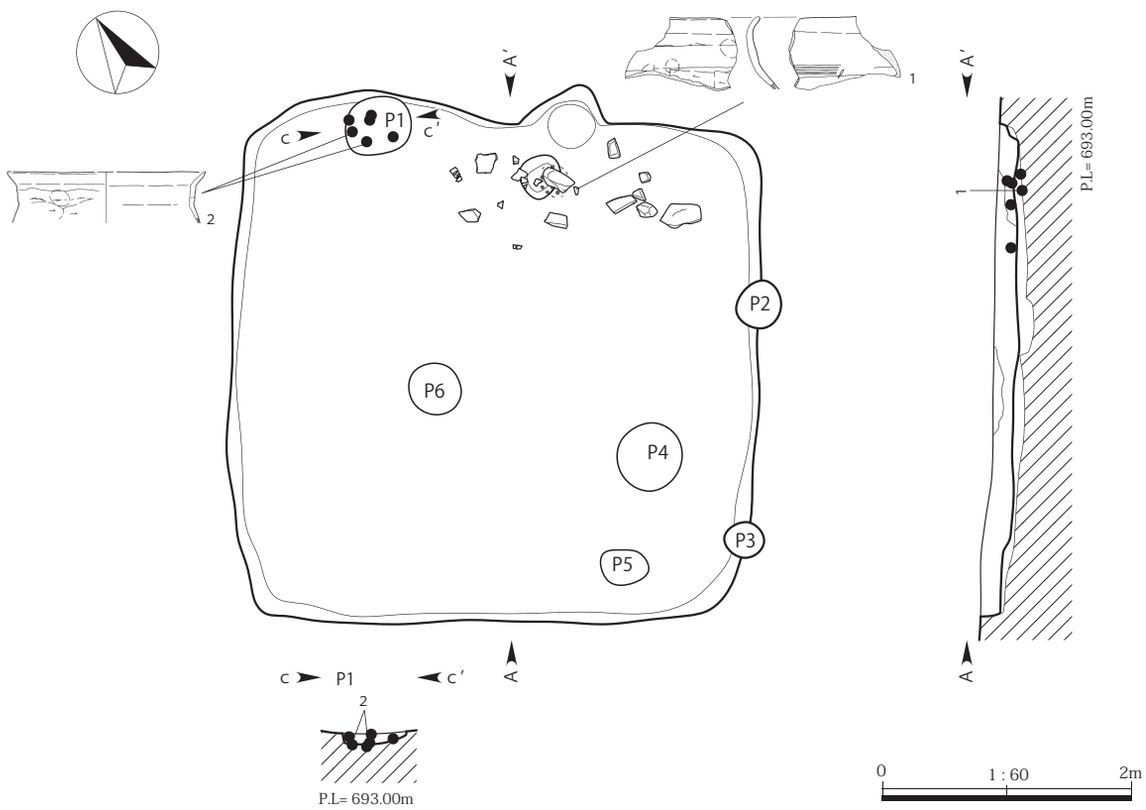
ず、掘り方で、カマド脇の北東隅で確認された。遺物は出土しておらず、平面形は円形、規模は長軸 101㎝、短軸 99㎝、深さ 8 ㎝。カマドとの位置関係から貯蔵穴とした。　**遺物検出状況**　全体に散在しているが、出土量は少ない。　**遺物**　土師器の甕片が 16 点、須恵器の杯が 2 点出土し、コの字状口縁甕の土師器 3 点、須恵器の杯 1 点を図示した。　**備考**　出土遺物から 9 世紀後半～ 10 世紀前半と考えられる。



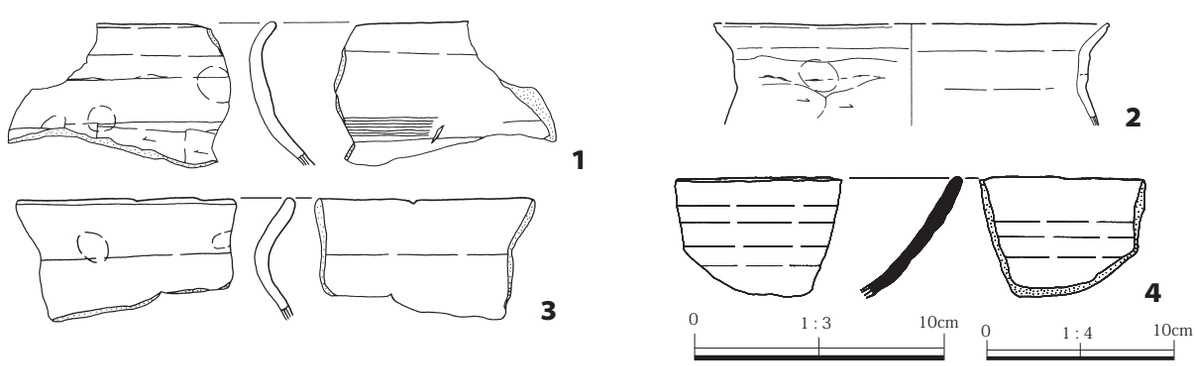
SI02（第 20 ～ 25 図／第 7・12・13 表／ＰＬ４・７）

**位置**　4 － 13 区Q－9　**重複関係**　SD07・SK51・54 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　表土掘削の段階で南側を削平してしまい、南壁は現存していない。SD07 によって北壁・東壁の一部が壊されている。

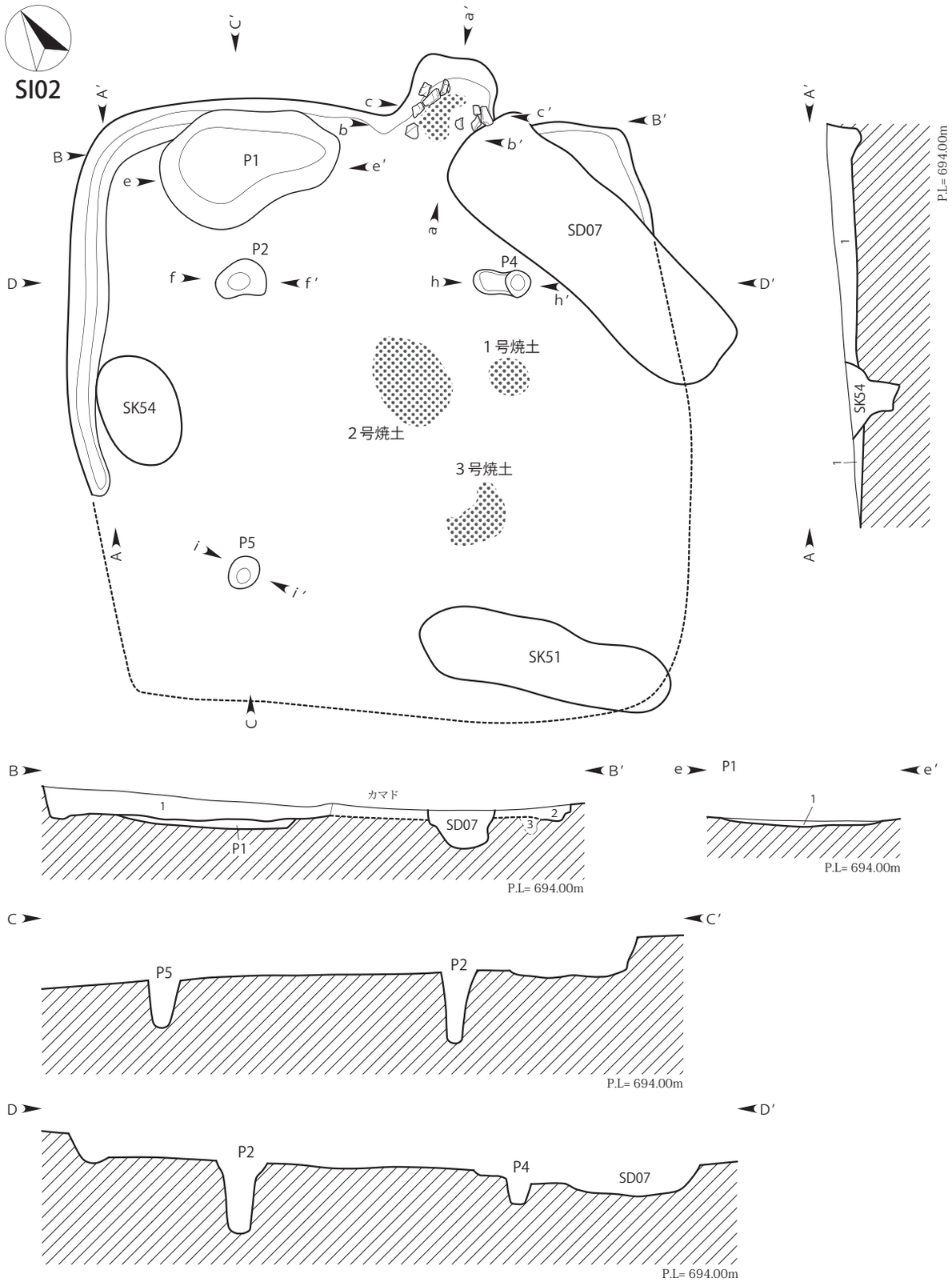
**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　南側はないが、方形を呈すると推定される。主軸 4.92 m以上、副軸 5.83 m、深さは 24㎝、床面積は推定 33.56㎡。　**主軸方位**　N － 31°－ E　**壁・壁溝**　壁高は西・北壁で 28 ～ 29㎝。ともに外傾する。壁溝は北から西側で確認された。溝幅 25 ～ 40㎝、床面からの深さは 6 ～ 10㎝。　**床面**　直床だが貼床や踏み締りは確認されなかった。概ね平坦である。　**柱穴**




第18図　SI01遺物出土状況図（1/60）



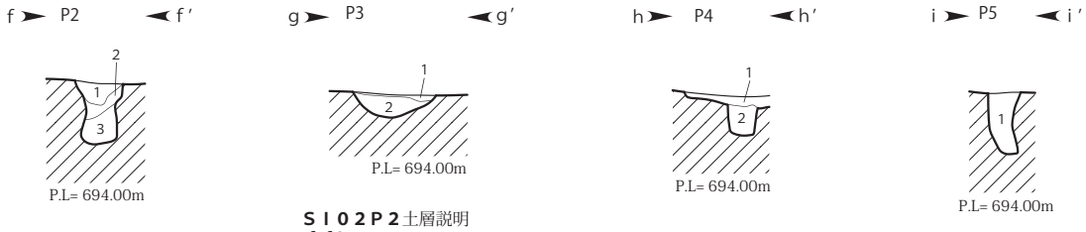

第19図　SI01出土遺物実測図（1/3・1/4）




**ＳＩ０２**土層説明
**ＡＡ′ＢＢ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）含む。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～1.0cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
**ＳＩ０２Ｐ１**土層説明
**ｅｅ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。炭化物（φ0.1～1.0cm）微量含む。

0　1：60　2m

第20図　SI02実測図（1/60）

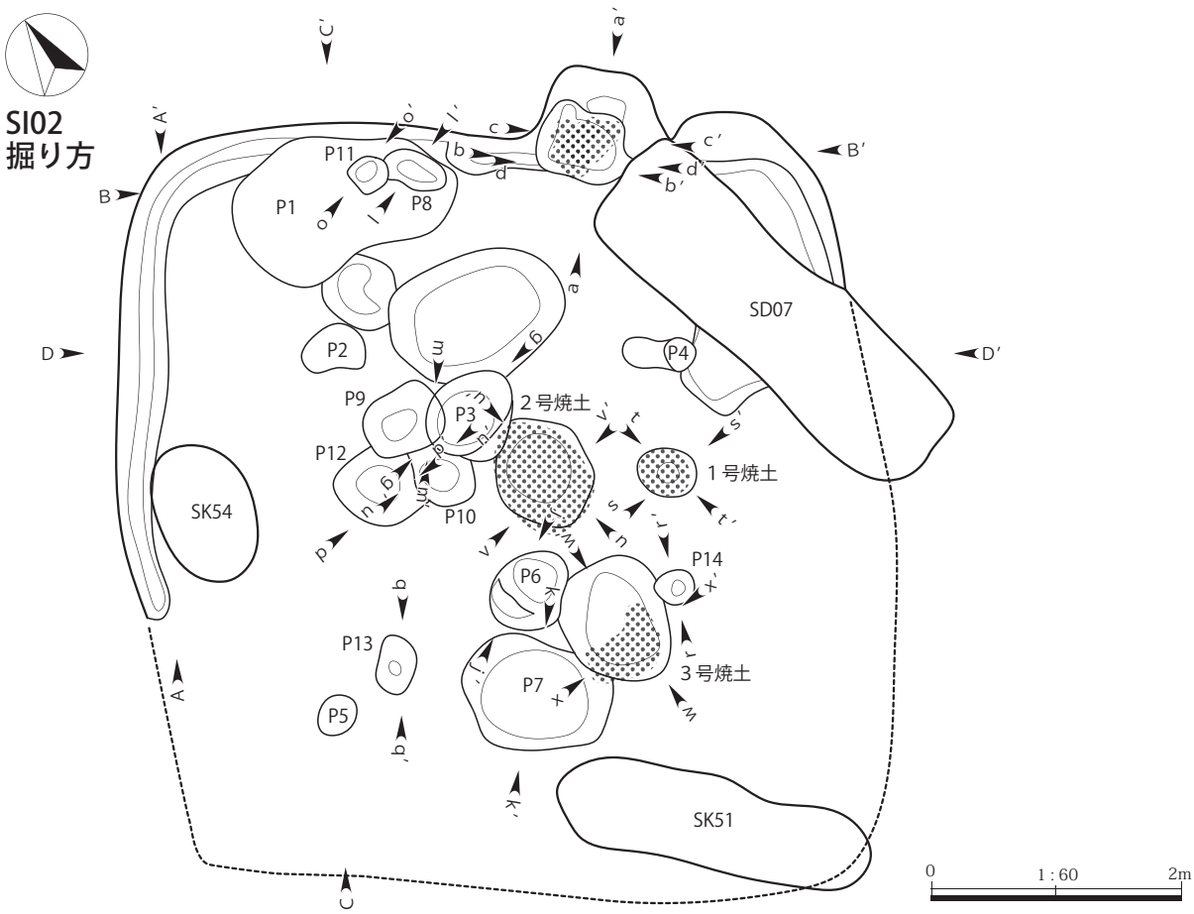



**ＳＩ０２Ｐ２**土層説明
**ｆｆ′**
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）微量含む。
2．暗 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～1.0cm）含む。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）少量含む。
3．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.3～0.5cm）含む。

**ＳＩ０２Ｐ３**土層説明
**ｇｇ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ5.0cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。

**ＳＩ０２Ｐ４**土層説明
**ｈｈ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０２Ｐ５**土層説明
**ｉｉ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

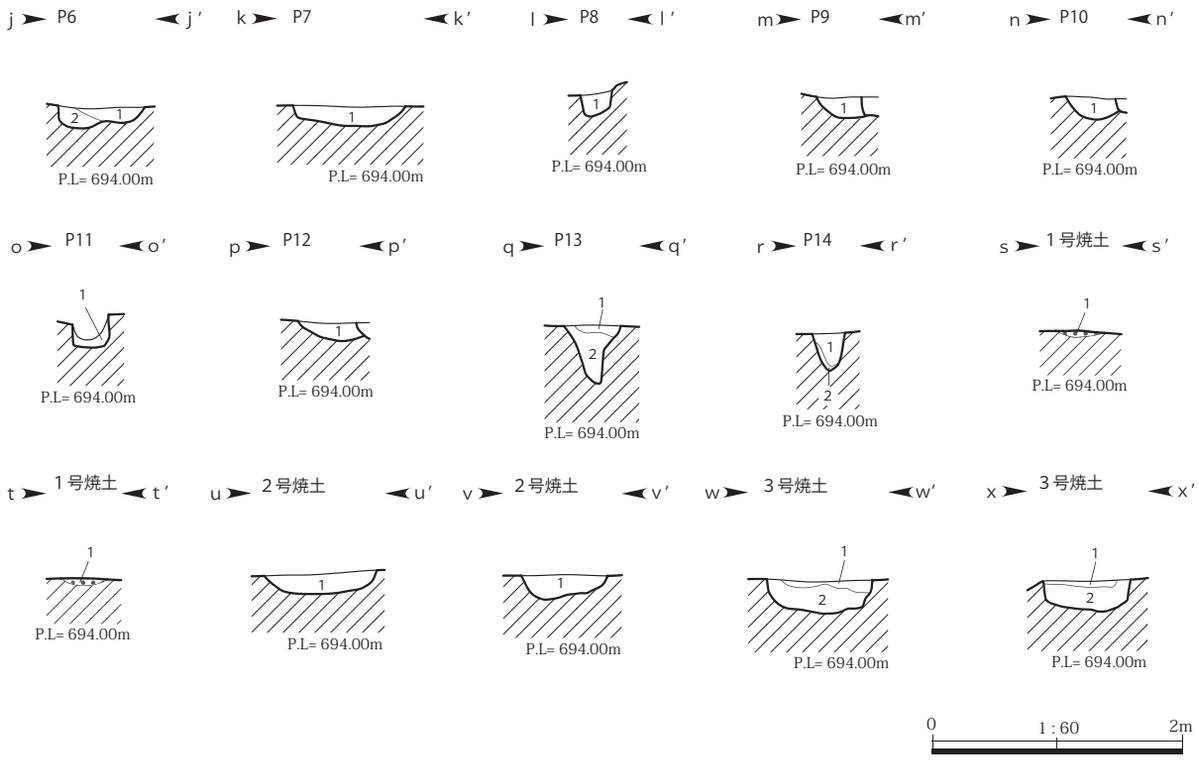



第21図　SI02断面図・掘り方実測図（1/60）

第７表　SI02 ピット・焼土計測表

| | P1 | P2 | P3 | P4 | P5 | P6 | P7 | P8 | P9 | P10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 長軸長（cm） | 180 | 50 | 78 | 26 | 34 | 67 | 103 | 62 | 65 | (52) |
| 短軸長（cm） | 115 | 35 | 55 | 23 | 29 | 55 | 87 | 28 | 51 | 47 |
| 深　さ（cm） | 6 | 48 | 18 | 22 | 48 | 15 | 15 | 16 | 16 | 17 |

| | P11 | P12 | P13 | P14 | 1号焼土 | 2号焼土 | 3号焼土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 長軸長（cm） | 29 | (61) | 43 | 32 | 41 | (85) | 103 |
| 短軸長（cm） | 28 | 64 | 31 | 26 | 37 | 79 | 85 |
| 深　さ（cm） | 24 | 13 | 46 | 29 | 5 | 19 | 25 |




**ＳＩ０２Ｐ６**土層説明
**ｊｊ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０２Ｐ７**土層説明
**ｋｋ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）・焼土粒（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０２Ｐ８**土層説明
**ｌｌ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～3.0cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＩ０２Ｐ９**土層説明
**mm′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.2～0.5cm）・YPk（φ0.2～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０２Ｐ１０**土層説明
**ｎｎ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・ロームブロック（φ0.5～3.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＩ０２Ｐ１１**土層説明
**ｏｏ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０２Ｐ１２**土層説明
**ｐｐ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.2～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～0.3cm）・黒褐色土ブロック（φ0.5～1.0cm）少量含む。炭化物（φ0.3～0.5cm）微量含む。

**ＳＩ０２Ｐ１３**土層説明
**ｑｑ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

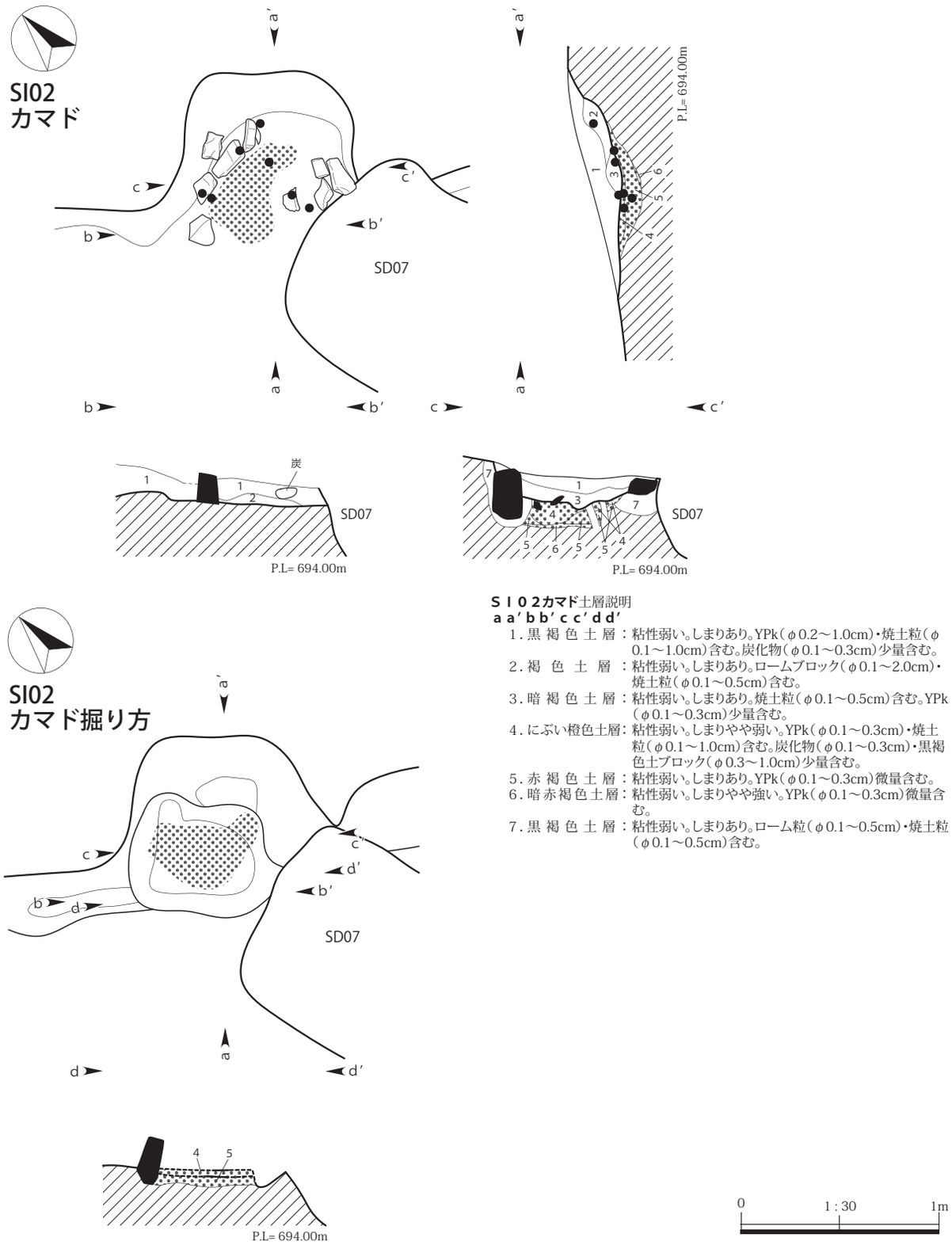
**ＳＩ０２Ｐ１４**土層説明
**ｒｒ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０２１号焼土**土層説明
**ｓｓ′ｔｔ′**
1．明赤褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）含む。

**ＳＩ０２２号焼土**土層説明
**ｕｕ′ｖｖ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＩ０２３号焼土**土層説明
**ｗｗ′ｘｘ′**
1．褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～1.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

第22図　SI02掘り方断面図（1/60）



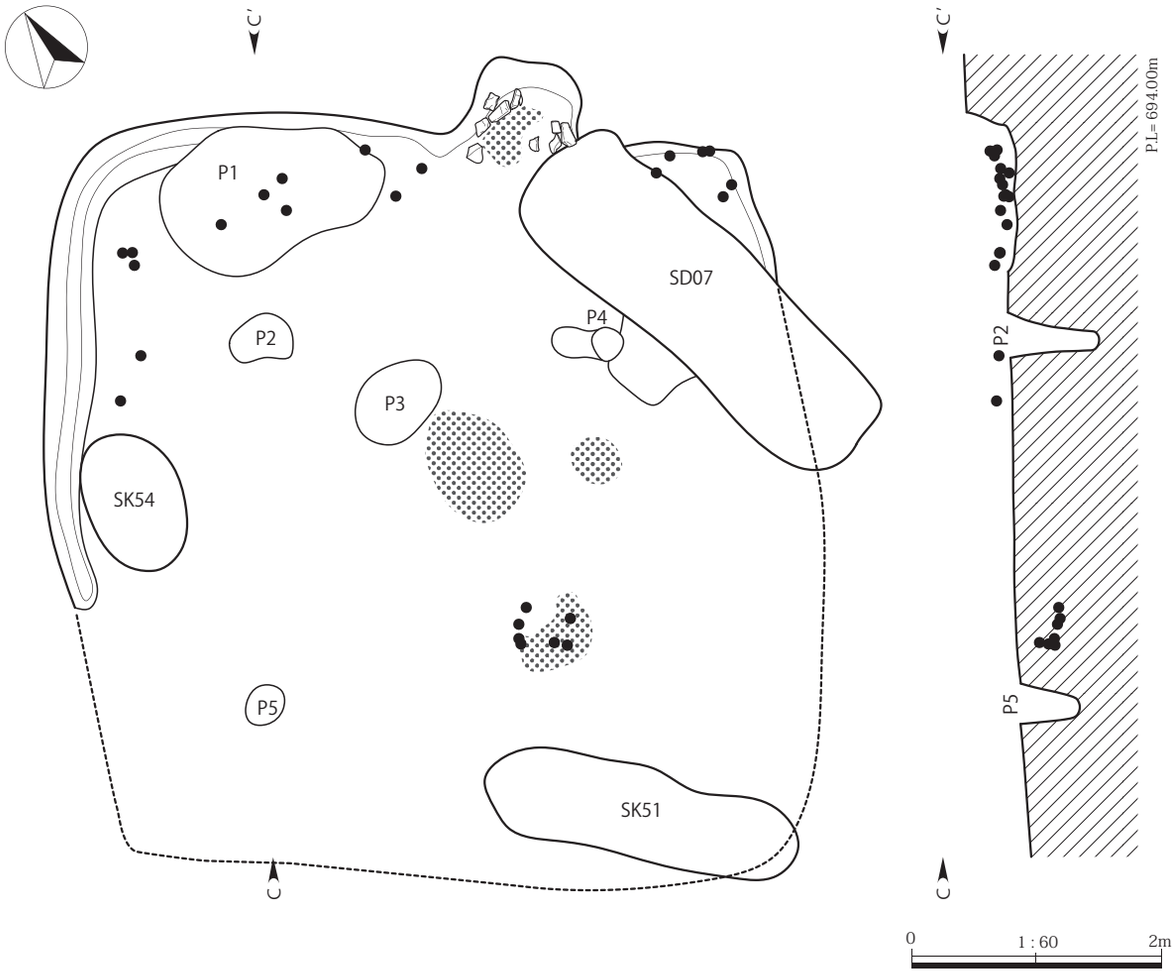

**ＳＩ０２カマド**土層説明
**ａａ′ｂｂ′ｃｃ′ｄｄ′**

1. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）・焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2. 褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～2.0cm）・焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。
3. 暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
4. にぶい橙色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）・焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）・黒褐色土ブロック（φ0.3～1.0cm）少量含む。
5. 赤褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
6. 暗赤褐色土層：粘性弱い。しまりやや強い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
7. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。

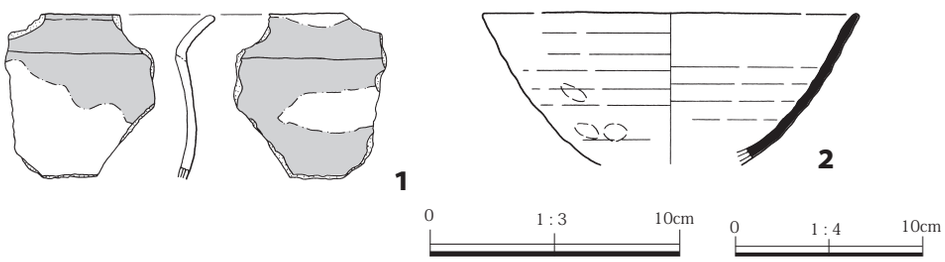
0　1：30　1m

第23図　SI02カマド・カマド掘り方実測図（1/30）

Ｐ１～14まで確認され、Ｐ３・６～14は掘り方で確認された。Ｐ２・４・５は住居中央の北西・北東・南西に均等に配置されており、主柱穴と考えられる。平面形は円形、楕円形を呈する。それぞれの規模は第７表に記載する。　**カマド**　北壁の東寄りに位置する。天井部は残存していない。ロームを含む黒褐色土で外形を造り、支持材と見られる切石が散在していた。全長は117㎝、最大幅99㎝。火床面は４㎝掘り込まれ、焼

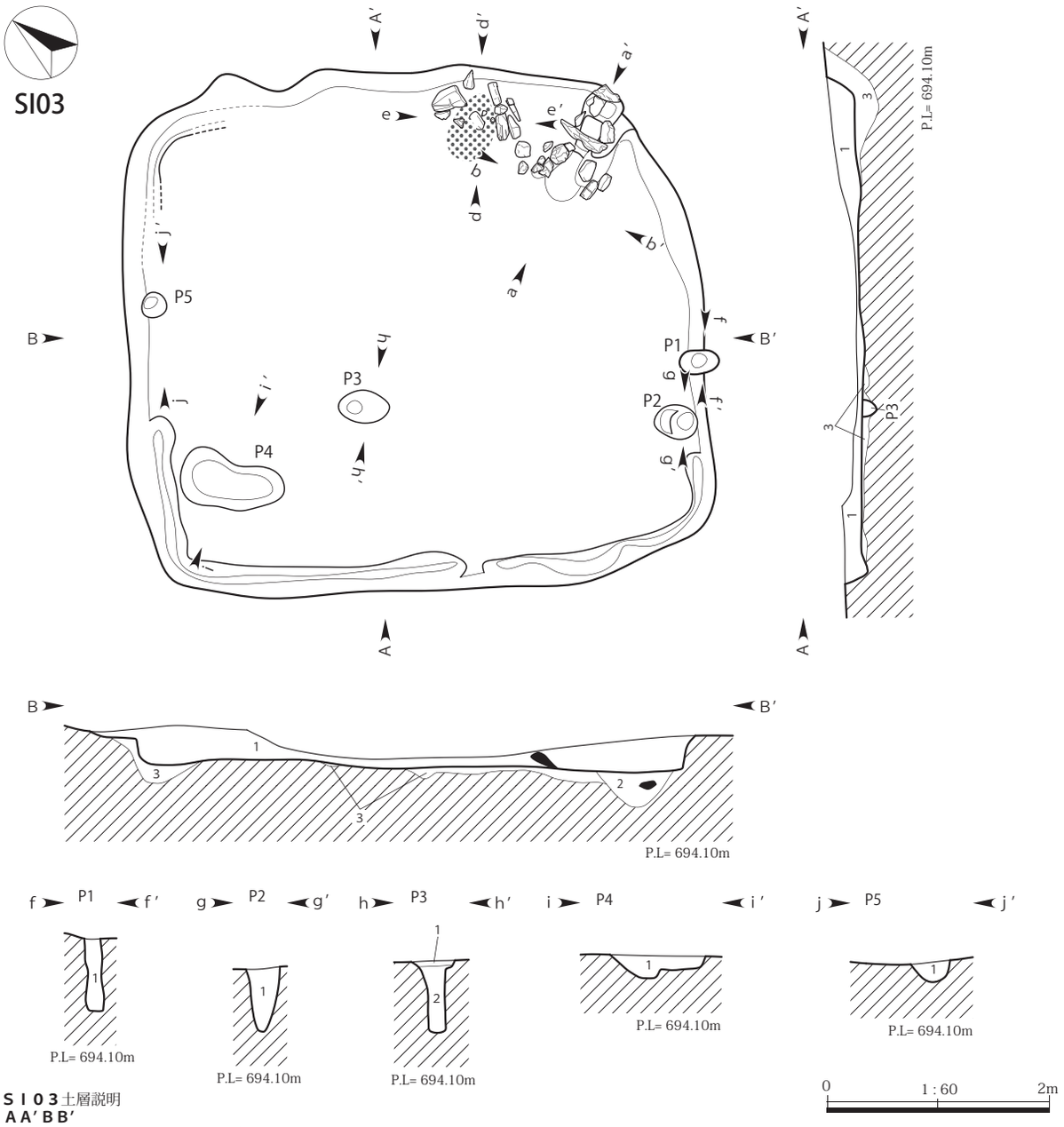



第24図　SI02遺物出土状況図（1/60）




第25図　SI02出土遺物実測図（1/3・1/4）

土部分の厚さは12㎝を有する。　**その他の施設**　1号～3号焼土を検出した。1号焼土は床面が被熱しており、鍛冶関連の施設を伴う可能性が考えられたが、採取した焼土からは鍛造剥片や粒状滓は確認できなかった。2・3号焼土は焼土を多量含む黒褐色、褐色土が堆積しており、掘り方の一部と考えられる。　**遺物検出状況**　全体に散在し、小破片が多い。住居を壊しているSD07内からは住居に伴うと見られる遺物が出土した。　**遺物**　土師器の甕117点、杯8点、須恵器の甕7点、杯3点が出土し、土師器の小型甕1点、須恵器の杯1点を図示した。　**備考**　主柱穴は3基検出されているが、南東部からは検出されていない。南側は削平してしまったため、明確な重複関係は不明だが、南東側に位置するSK51によって主柱穴が削平されている可能性がある。出土遺物から9世紀後半～10世紀前半と考えられる。




**ＳＩ０３**土層説明
**ＡＡ′ＢＢ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）少量含む。YPk（φ0.2～1.0cm）含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０３Ｐ１**土層説明
**ｆｆ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０３Ｐ２**土層説明
**ｇｇ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０３Ｐ３**土層説明
**ｈｈ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

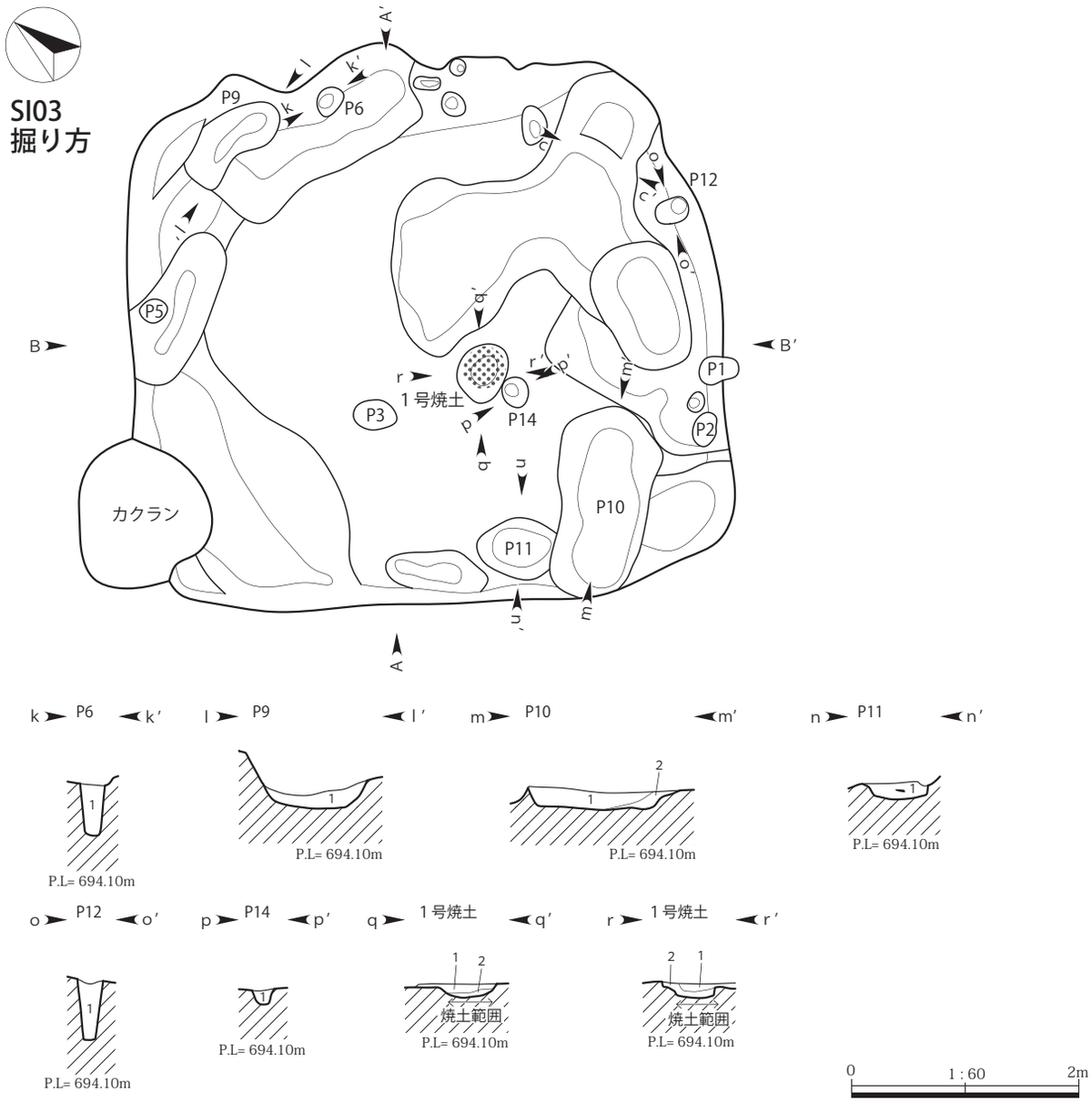
**ＳＩ０３Ｐ４**土層説明
**ｉｉ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）・炭化物（φ0.1～1.0cm）含む。

**ＳＩ０３Ｐ５**土層説明
**ｊｊ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）含む。

第26図　SI03実測図（1/60）




**ＳＩ０３Ｐ６**土層説明
**ｋｋ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０３Ｐ９**土層説明
**ｌｌ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０３Ｐ１０**土層説明
**mm′**
1．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）含む。焼土粒（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

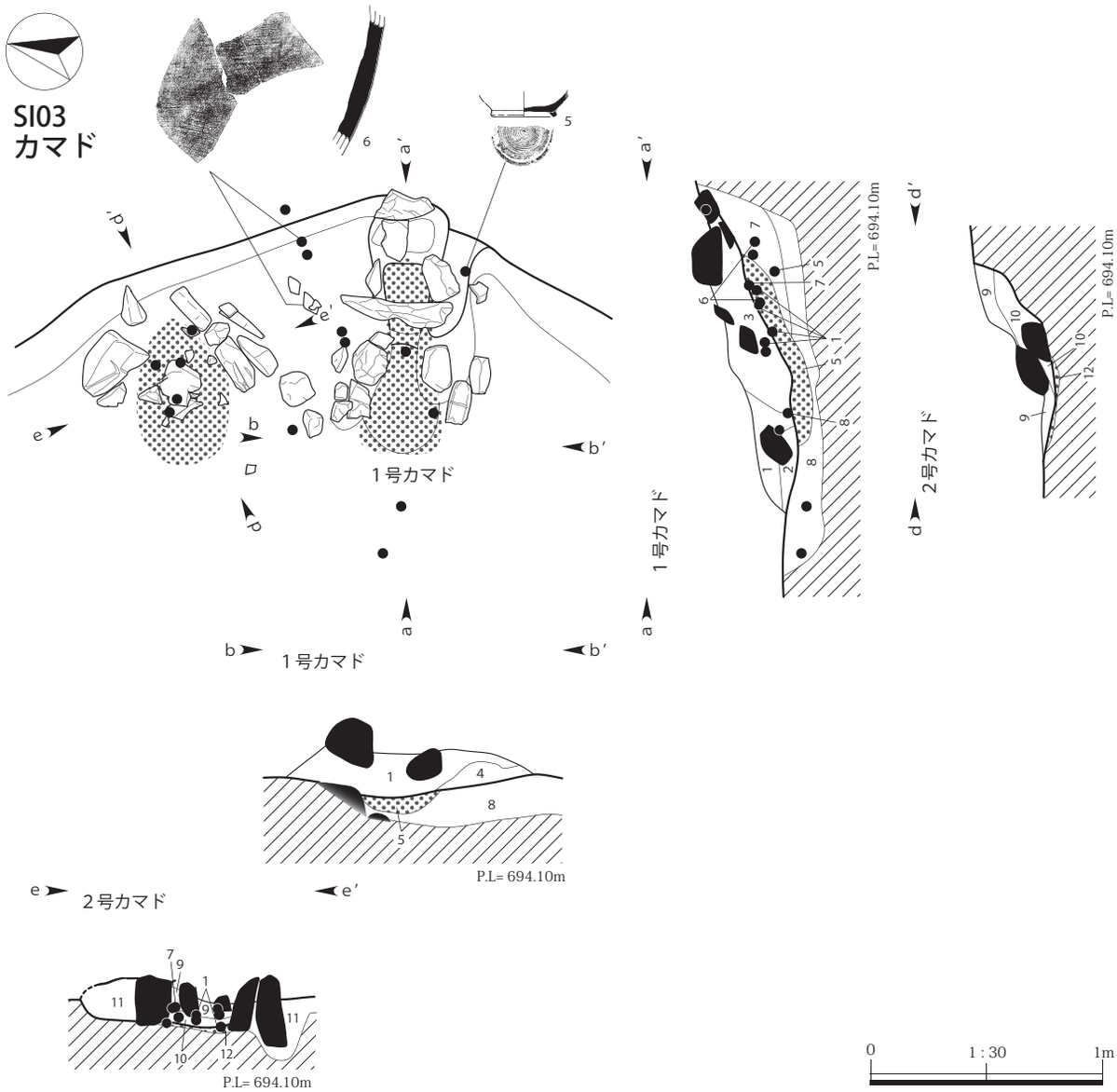
**ＳＩ０３Ｐ１１**土層説明
**ｎｎ′**
1．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。焼土粒（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０３Ｐ１２**土層説明
**ｏｏ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）含む。

**ＳＩ０３Ｐ１４**土層説明
**ｐｐ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０３ １号焼土**土層説明
**ｑｑ′ｒｒ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）含む。ロームブロック（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.2～1.0cm）少量含む。

第27図　SI03掘り方実測図（1/60）



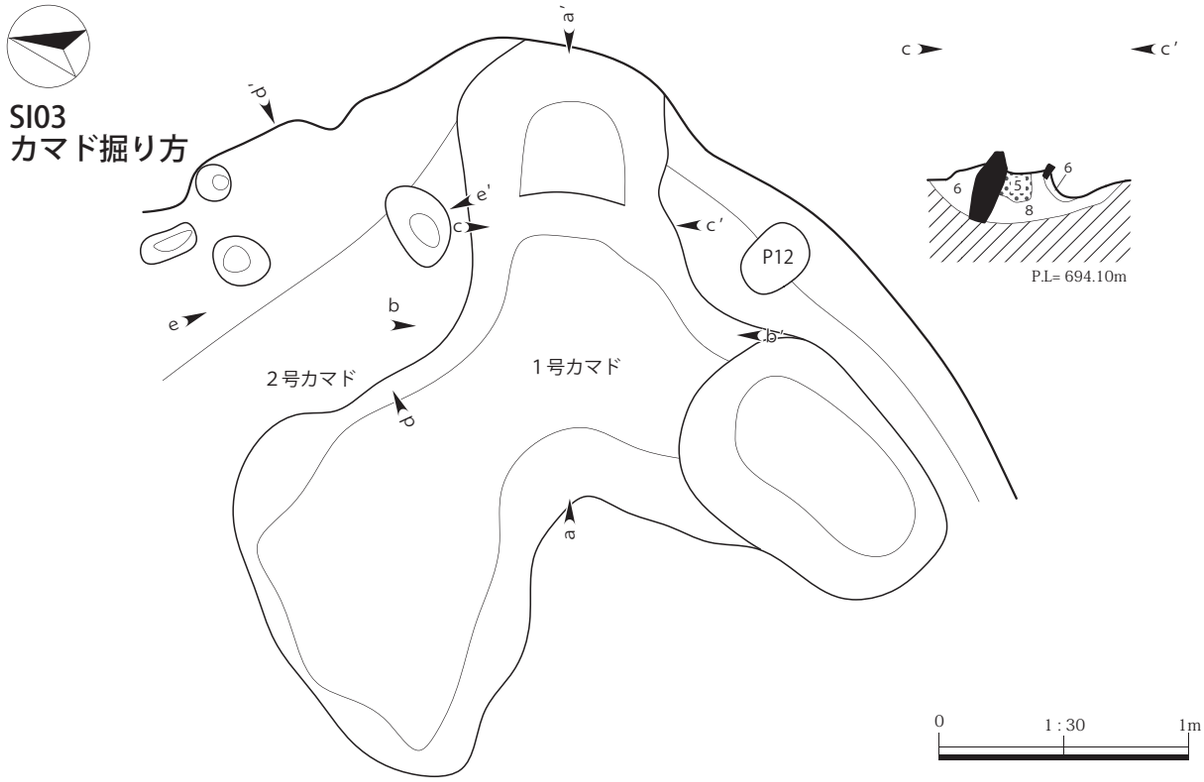

**ＳＩ０３カマド**土層説明
**ａａ′ｂｂ′ｃｃ′ｄｄ′ｅｅ′**

1．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。焼土ブロック（φ5.0cm大）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）・焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。
5．赤褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）少量含む。
6．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
7．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～0.3cm）少量含む。
8．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～0.5cm）少量含む。
9．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
10. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
11. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
12. 赤褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。

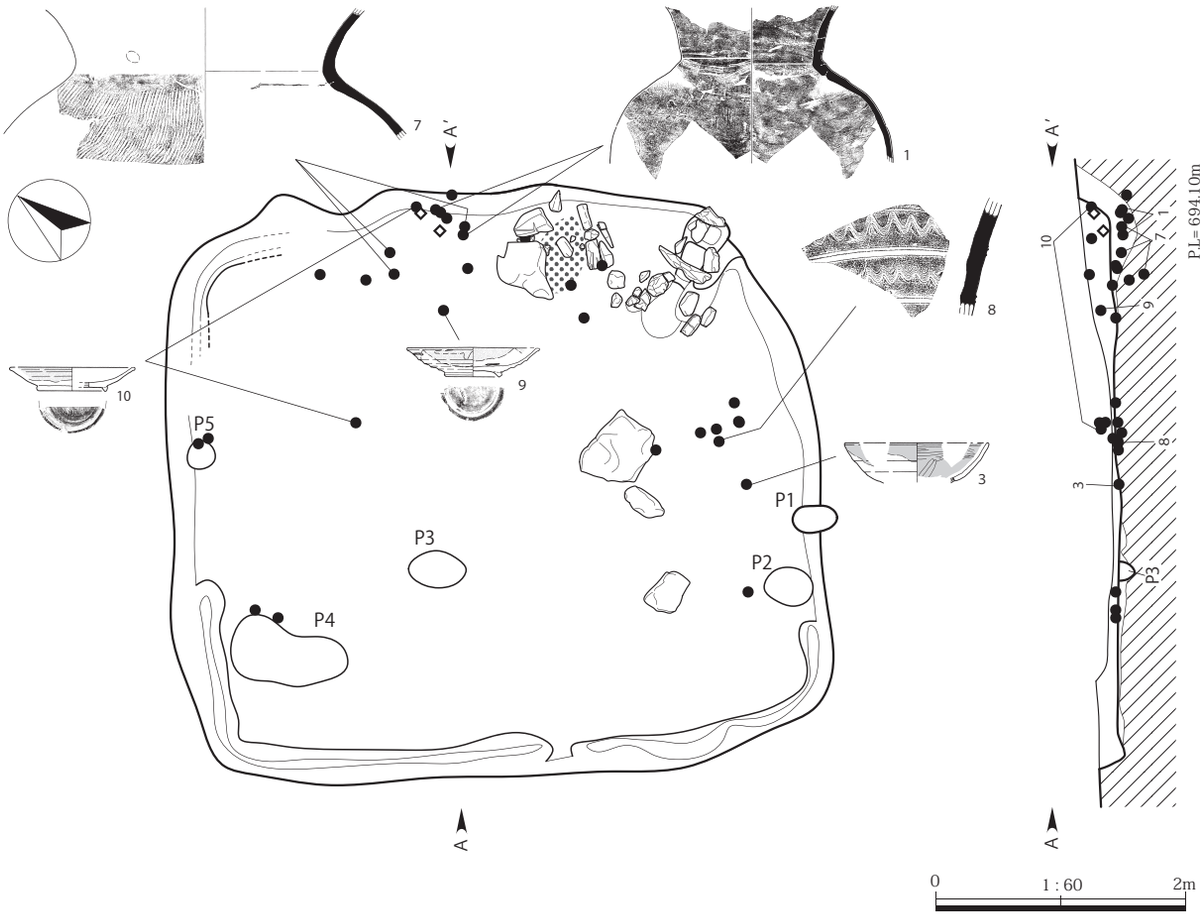
第28図　SI03カマド実測図（1/30）

SI03（第 26 ～ 31 図／第８・12・13 表／ＰＬ３・４・８）

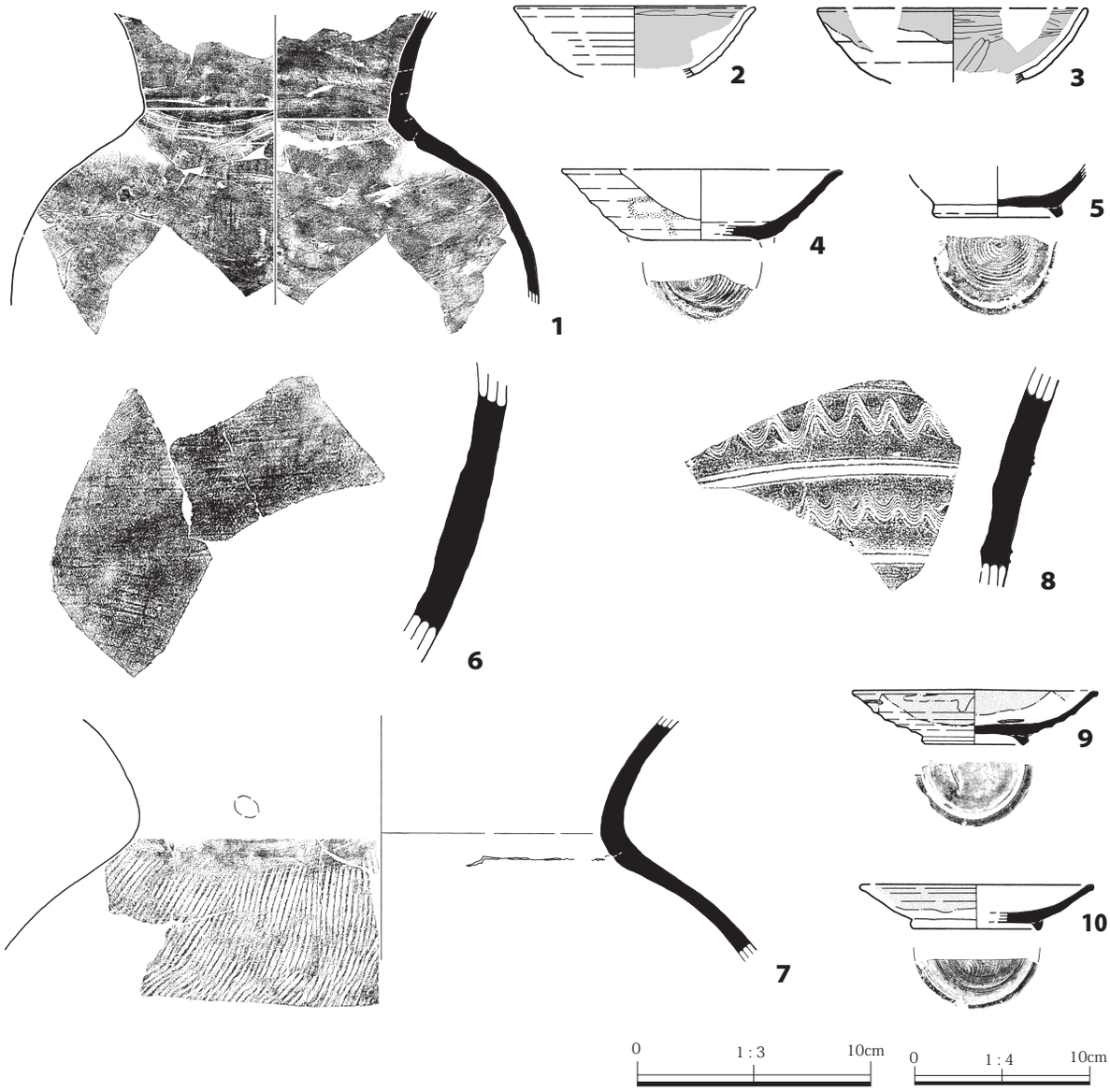
**位置**　４－13 区Ｑ－８　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　方形を呈する。主軸 4.7 m、副軸 5.19 m、深さは 28㎝、床面積は 20.16㎡。　**主軸方位**　Ｎ－ 50°－Ｅ　**壁・壁溝**　壁高は、南北・西壁で 17 ～ 21㎝、東壁で 27㎝。ともに外傾する。壁溝は溝幅 17 ～ 22㎝、床面からの深さは５～ 12㎝。　**床面**　直床で中央部に踏み締りあり。概ね平坦。　**柱穴**　床面でＰ１～５まで確認され、Ｐ６～P14 は掘り方で確認された。Ｐ２・３・６・12 は掘り込みが深く、均等に配置されており、主柱穴と考えられる。Ｐ７・８・13 は掘り方の一部と考え欠番とした。それぞれの規模




第29図　SI03カマド掘り方実測図（1/30）




第30図　SI03遺物出土状況図（1/60）



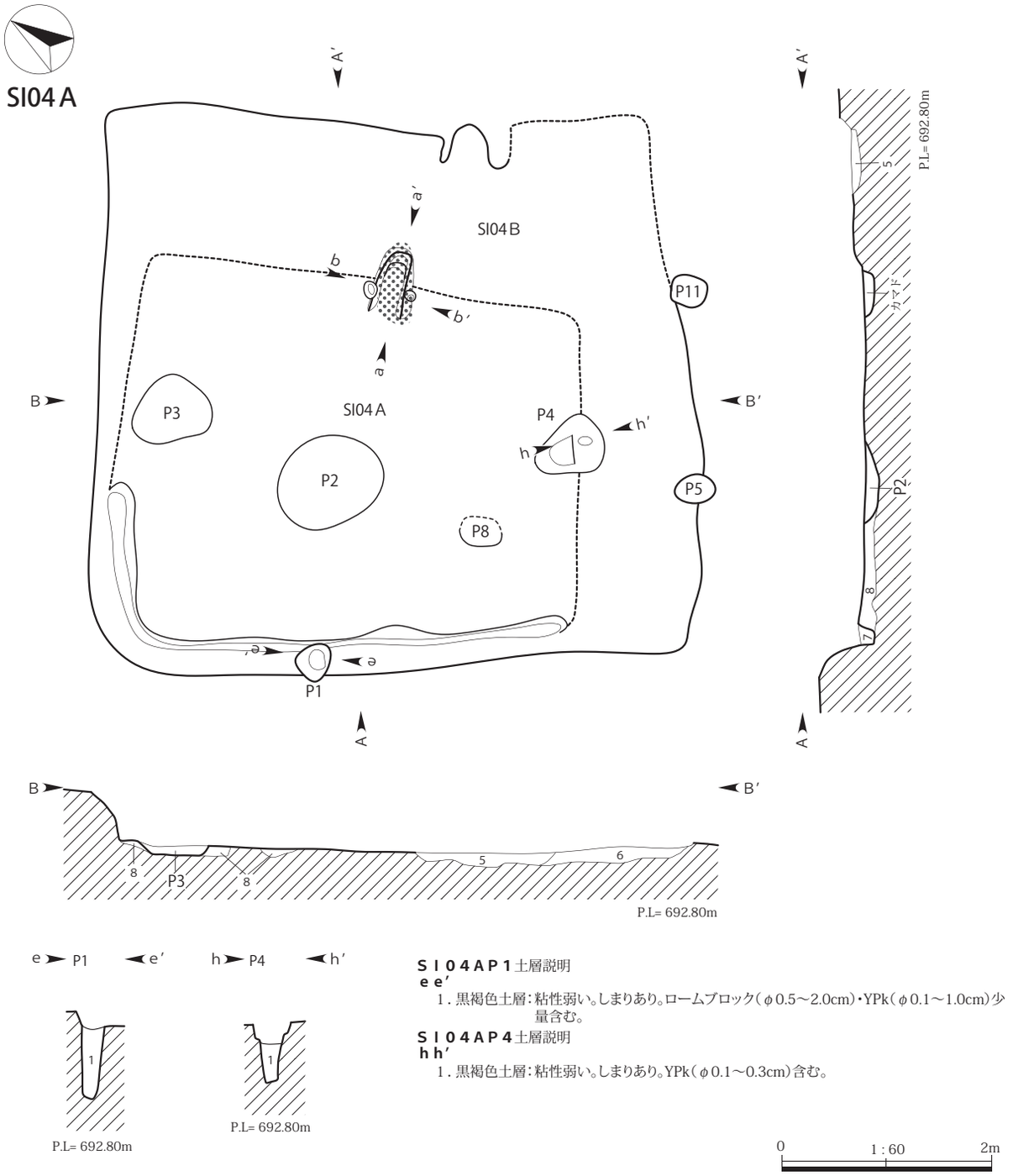

第31図　SI03出土遺物実測図（1/3・1/4）

第８表　SI03 ピット・焼土計測表

| | P1 | P2 | P3 | P4 | P5 | P6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 長軸長（㎝） | 35 | 37 | 43 | 93 | 22 | 25 |
| 短軸長（㎝） | 20 | 29 | 29 | 51 | 21 | 20 |
| 深　さ（㎝） | 64 | 55 | 64 | 19 | 18 | 43 |

| | P9 | P10 | P11 | P12 | P14 | １号焼土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 長軸長（㎝） | 96 | (169) | (65) | 30 | 27 | 51 |
| 短軸長（㎝） | 36 | 90 | 55 | 21 | 25 | 43 |
| 深　さ（㎝） | 16 | 16 | 14 | 50 | 11 | 10 |

は第８表に記載する。　**カマド**　カマドは２基検出された。１号カマドは北東隅に位置する。全長は 135㎝、最大幅 31㎝。火床面は６㎝掘り込まれ、焼土部分の厚さは９㎝を有する。ロームを含む黒色土～黒褐色土で外形を造り、支持材として切石・自然石が使用されていた。２号カマドは北壁中央やや東寄りに位置する。全長は 135㎝、最大幅 31㎝。火床面は２㎝掘り込まれ、焼土部分の厚さは１㎝を有する。周辺には切石・自然石が散在し、支持材として使用されていた切石が残存していた。　**その他の施設**　床面中央部に１号焼土が検出された。鍛冶関連の施設を伴う可能性が考えられたが、採取した焼土からは鍛造剥片や粒状滓は確認できなかった。　**遺物検出状況**　全体に散在し、小破片が多い。　**遺物**　土師器の甕 23 点、杯 10 点、土師質土器２点、須恵器の甕 29 点、杯 15 点、灰釉陶器の皿２点、鉄滓１点、刀子片１点が出土し、土師質土器の杯２点、須恵器の甕４点、杯２点、灰釉陶器の皿２点を図示した。須恵器の杯では「中」

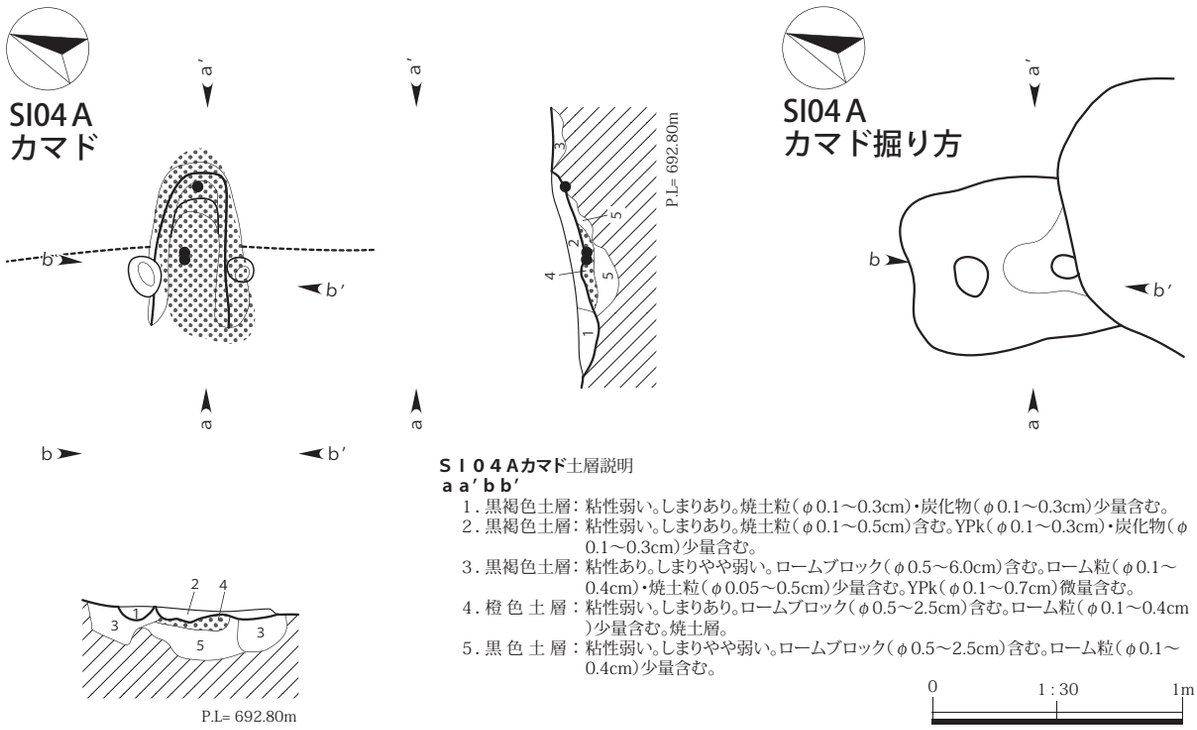



第32図　SI04A実測図（1/60）

と墨書された土器が１点出土している。　**備考**　出土遺物から９世紀後半～ 10 世紀前半と考えられる。

SI04A（第 32・33・36 ～ 38 図／第 9・12 表／ＰＬ５・８）

**位置**　４－ 14 区Ａ－ 11　**重複関係**　SI04B と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上部が削平されている。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　方形を呈する。主軸推定 4.0 m、副軸推定 4.66 m、深さは 40㎝、床面積は推定 15.04㎡。　**主軸方位**　Ｎ－ 54°－Ｅ　**壁・壁溝**　壁高は北壁 53㎝、西壁 37㎝。ともに外傾する。壁溝は西から南側で確認された。　**床面**　直床だが貼床や踏み締りは確認されなかった。概ね平坦。　**柱穴**　Ｐ１・Ｐ４が確認された。Ｐ１は西壁の中央、Ｐ４は南壁の中央で検出




**ＳＩ０４Ａカマド**土層説明
**ａａ′ｂｂ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～6.0cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・焼土粒（φ0.05～0.5cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.7cm）微量含む。
4．橙色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.5cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.4cm）少量含む。焼土層。
5．黒色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.5cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.4cm）少量含む。

0　1：30　1m

第33図　SI04Aカマド・カマド掘り方実測図（1/30）

され、壁柱穴の可能性がある。それぞれの規模は第９表に記載する。　**カマド**　東壁中央に位置する。天井部、袖は残っておらず全長は95㎝、最大幅41㎝。火床面は８㎝掘り込まれ、焼土部分の厚さは５㎝を有する。　**その他の施設**　なし。　**遺物検出状況**　なし。　**遺物**　なし。　**備考**　SI04Bとの関連性から９世紀後半～10世紀前半と考えられる。

第９表　SI04A ピット計測表

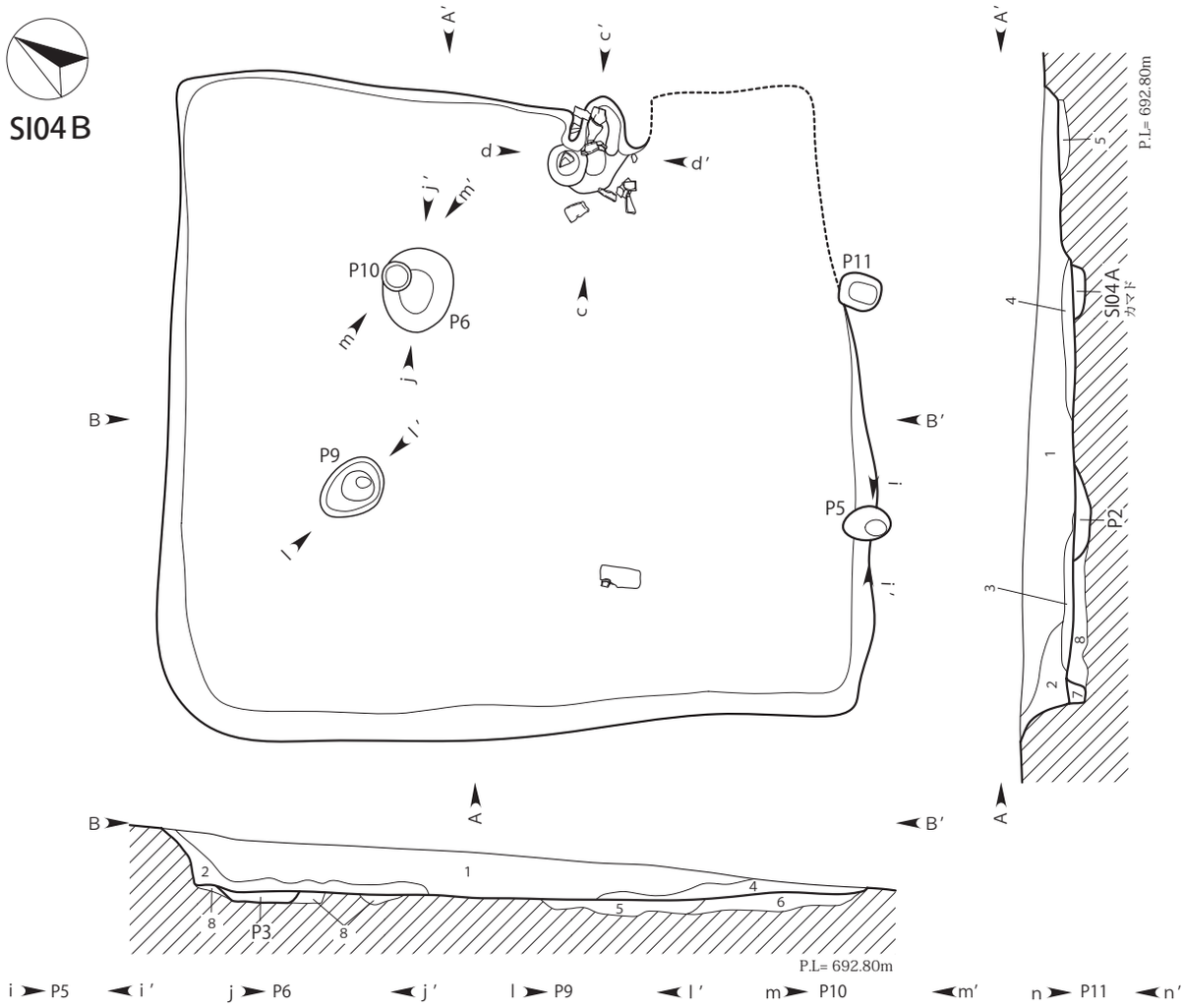
| | P1 | P4 |
|---|---|---|
| 長軸長（㎝） | 36 | 69 |
| 短軸長（㎝） | 32 | 54 |
| 深　さ（㎝） | 65 | 35 |

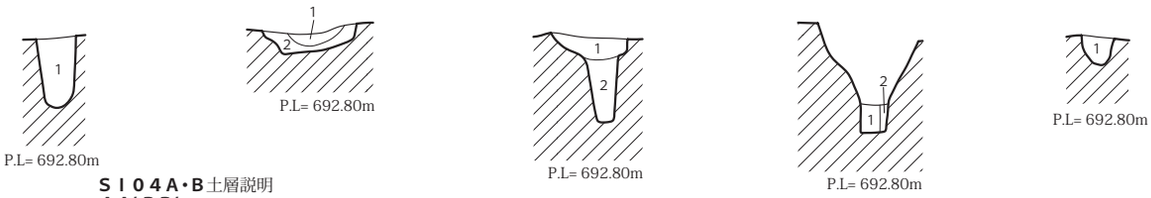
SI04B（第34～38図／第10・12・13表／ＰＬ５・８）

**位置**　４－14区Ａ－11　**重複関係**　SI04A、SK80と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　北東側は削平され、壁は現存していない。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　方形を呈する。主軸5.43 m、副軸5.77 m、深さ26㎝、床面積は26.39㎡。　**主軸方位**　Ｎ－57°－Ｅ　**壁・壁溝**　壁高は東壁４㎝、西壁40㎝、南壁37㎝、北壁10㎝。ともに外傾する。壁溝は確認されなかった。　**床面**　貼床で中央部に踏み締りあり。概ね平坦。　**柱穴**　Ｐ２・３・５・６・８～11の８基が確認された。Ｐ５・９～11は掘り込みが深く、均等に配置されており、主柱穴と考えられる。Ｐ２・Ｐ３は楕円形を呈し、掘り込みも浅く、床下土坑と考えられる。Ｐ６は斜めに掘り込まれ、主柱穴Ｐ10の抜き取り穴と考えられる。Ｐ８は平石が埋設されており、礎石と考えられたが、別の平石は検出されず、他の目的で設置したと見られる。Ｐ７は掘り方の一部と考え、欠番とした。それぞれの規模は第10表に記載する。　**カマド**　東壁中央やや南寄りに位置する。ロームを含む黒褐色土で外形を造り、支持材として使用された切石・自然石が散在していた。全長は135㎝、最大幅53㎝。火床面は８㎝掘り込まれ、焼土部分の厚さは１㎝を有する。　**その他の施設**　なし。　**遺物検出状況**　全体に散在し、小破片が多い。　**遺物**　土師器の甕242点、杯４点、土師質土器の杯１点、須恵器の甕16点、杯５点が出土し、土師器の甕３点、土師質土器の杯１点、須恵器の杯３点を図示した。須恵器の杯では「地」

第10表　SI04B ピット計測表

| | P2 | P3 | P5 | P6 | P8 | P9 | P10 | P11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 長軸長（㎝） | 103 | 74 | 39 | 68 | 41 | 57 | 23 | 36 |
| 短軸長（㎝） | 83 | 61 | 27 | 56 | （11） | 32 | 23 | 30 |
| 深　さ（㎝） | 23 | 16 | 55 | 16 | 9 | 65 | 74 | 21 |




**ＳＩ０４Ａ・Ｂ**土層説明

**ＡＡ′ＢＢ′**

1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～1.0cm）少量含む。
3．暗 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）多量含む。YPk（φ0.3～1.0cm）少量含む。
4．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）含む。焼土粒（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.2～1.0cm）少量含む。
5．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
6．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
7．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.1～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
8．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＩ０４ＢＰ５**土層説明

**ｉｉ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０４ＢＰ６**土層説明

**ｊｊ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＩ０４ＢＰ９**土層説明

**ｌｌ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・炭化物（φ0.3～1.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＩ０４ＢＰ１０**土層説明

**ｍｍ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.2～0.5cm）少量含む。

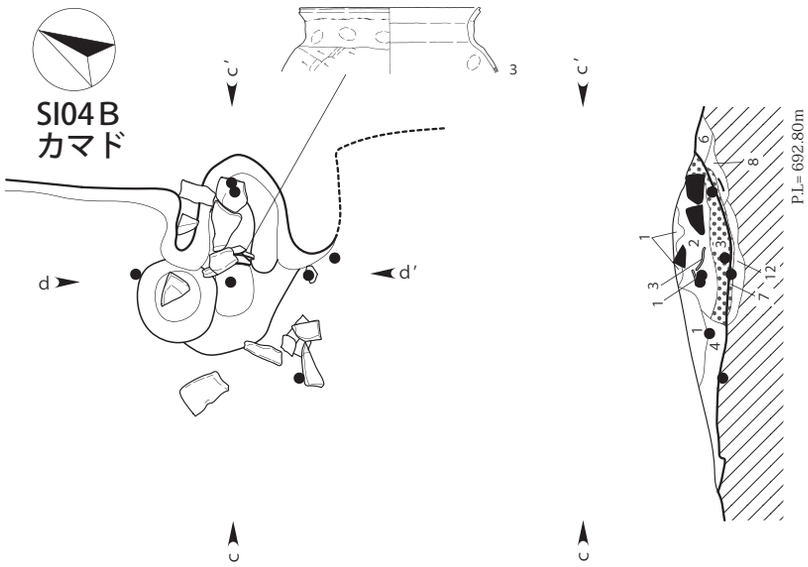
**ＳＩ０４ＢＰ１１**土層説明

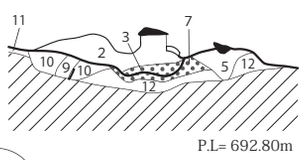
**ｎｎ′**

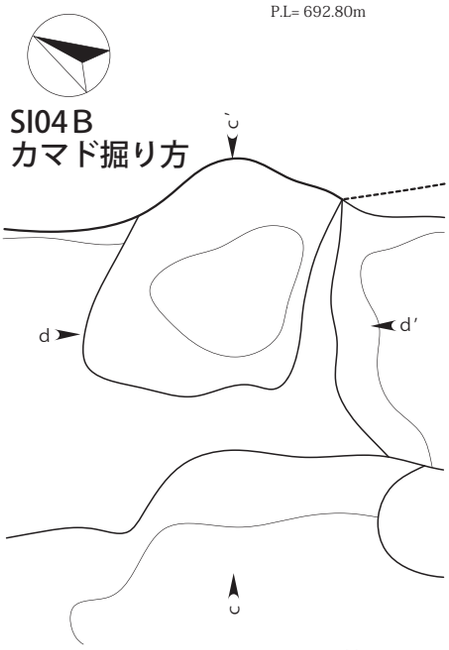
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～0.5cm）少量含む。

0　1：60　2m

第34図　SI04B実測図（1/60）




**ＳＩ０４Ｂカマド**土層説明
**ｃｃ′ｄｄ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～2.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～0.3cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
4．橙色土層：粘性なし。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）・黒褐色土ブロック（φ0.5～2.0cm）含む。
5．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～1.5cm）含む。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・砂礫（φ0.3～6.0cm）少量含む。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.7cm）微量含む。
6．褐灰色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。ローム粒（φ0.03～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・YPk（φ0.1～0.4cm）・砂礫（φ0.1～0.7cm）微量含む。
7．橙色土層：粘性なし。しまりやや強い。ロームブロック（φ0.5～9.5cm）多量含む。ローム粒（φ0.05～0.1cm）・YPk（φ0.1～0.7cm）微量含む。焼土層。
8．橙色土層：粘性弱い。しまりあり。黒色土ブロック（φ0.5～7.5cm）含む。ロームブロック（φ0.5cm）少量含む。ローム粒（φ0.05～0.1cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。焼土層。
9．灰褐色土層：粘性あり。しまりあり。砂礫（φ0.5～1.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。焼土層。
10．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.05～0.1cm）少量含む。焼土粒（φ0.1～0.6cm）・炭化物（φ0.1～0.6cm）・砂礫（φ0.1～0.5cm）微量含む。
11．灰褐色土層：粘性あり。しまりあり。砂礫（φ0.1～0.4cm）少量含む。
12．褐灰色土層：粘性なし。しまりあり。

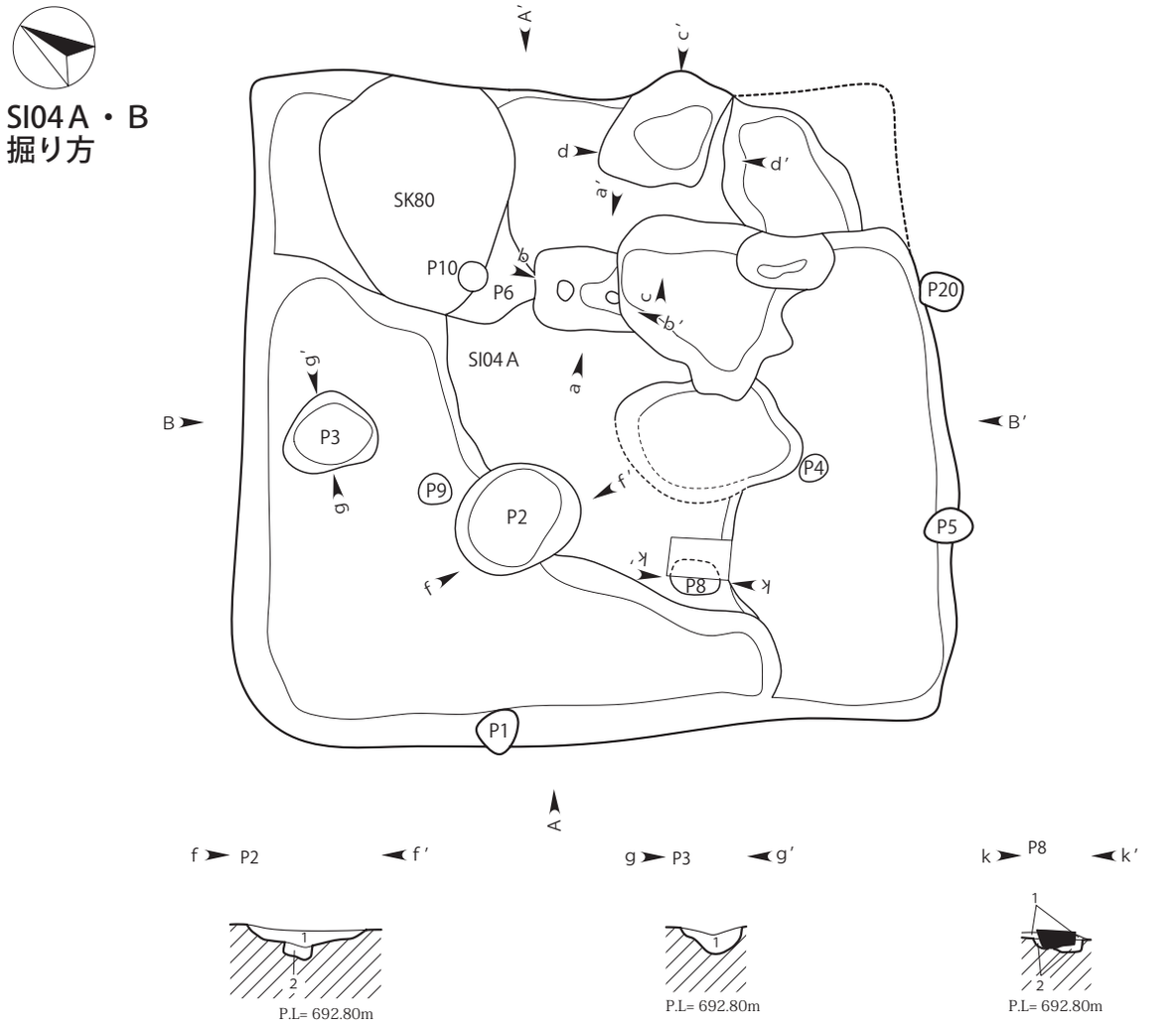
0　1：30　1m

第35図　SI04Bカマド・カマド掘り方実測図（1/30）

と墨書された土器が1点出土している。　**備考**　SI04Aとは南・西壁を共有しており、別の住居ではなく、古いSI04Aを拡張した可能性が高い。出土遺物から9世紀後半～10世紀前半と考えられる。

## （2）陥し穴

陥し穴は上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する形態を持つものについては、平安時代に帰属すると考えられる。




**ＳＩ０４Ａ・Ｂ掘り方Ｐ２**土層説明
**ｆｆ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。炭化物（φ0.1～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。

**ＳＩ０４Ａ・Ｂ掘り方Ｐ３**土層説明
**ｇｇ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＩ０４Ａ・Ｂ掘り方Ｐ８**土層説明
**ｋｋ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

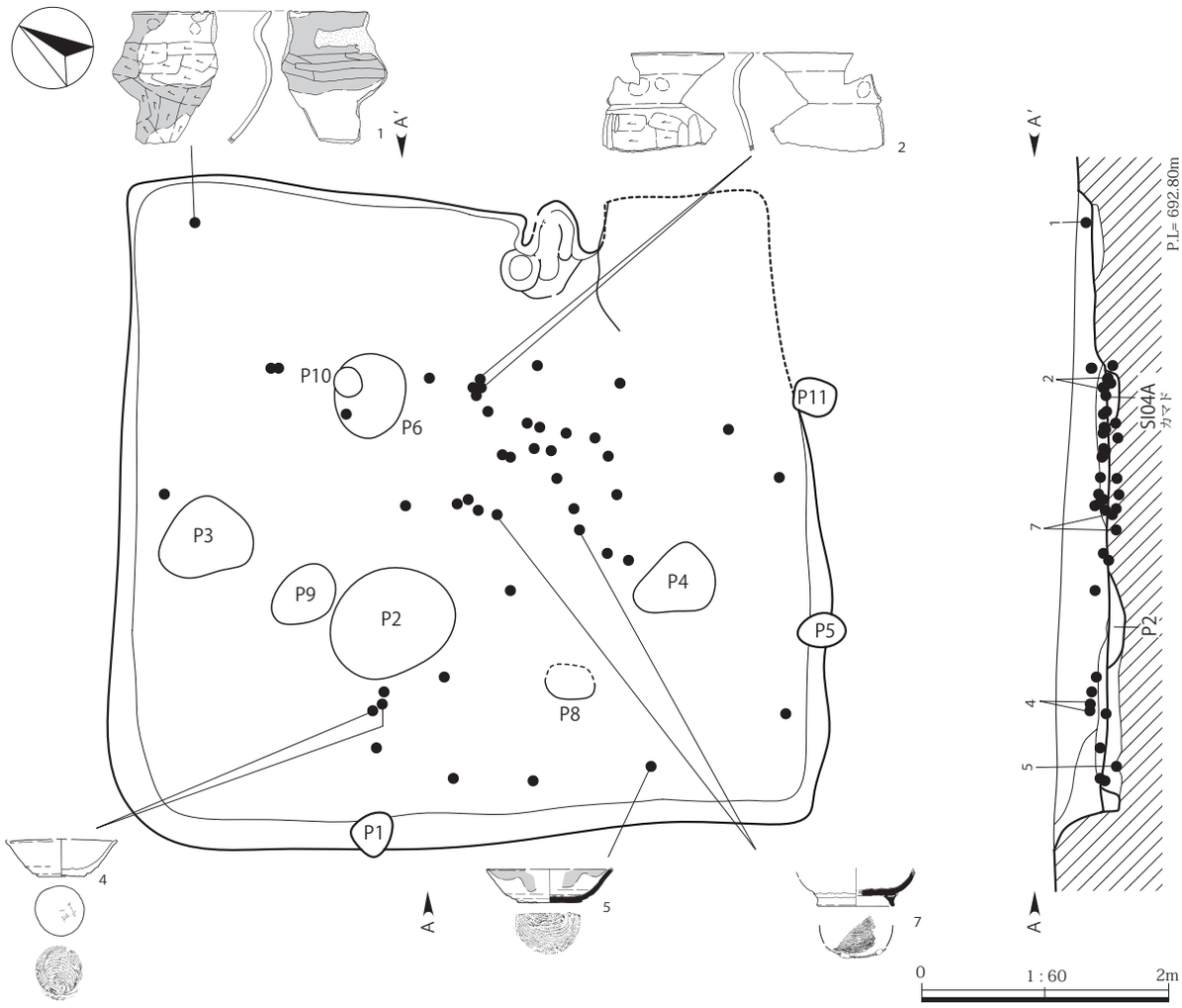
第36図　SI04A・B掘り方実測図（1/60）

SK01（第 39 図）

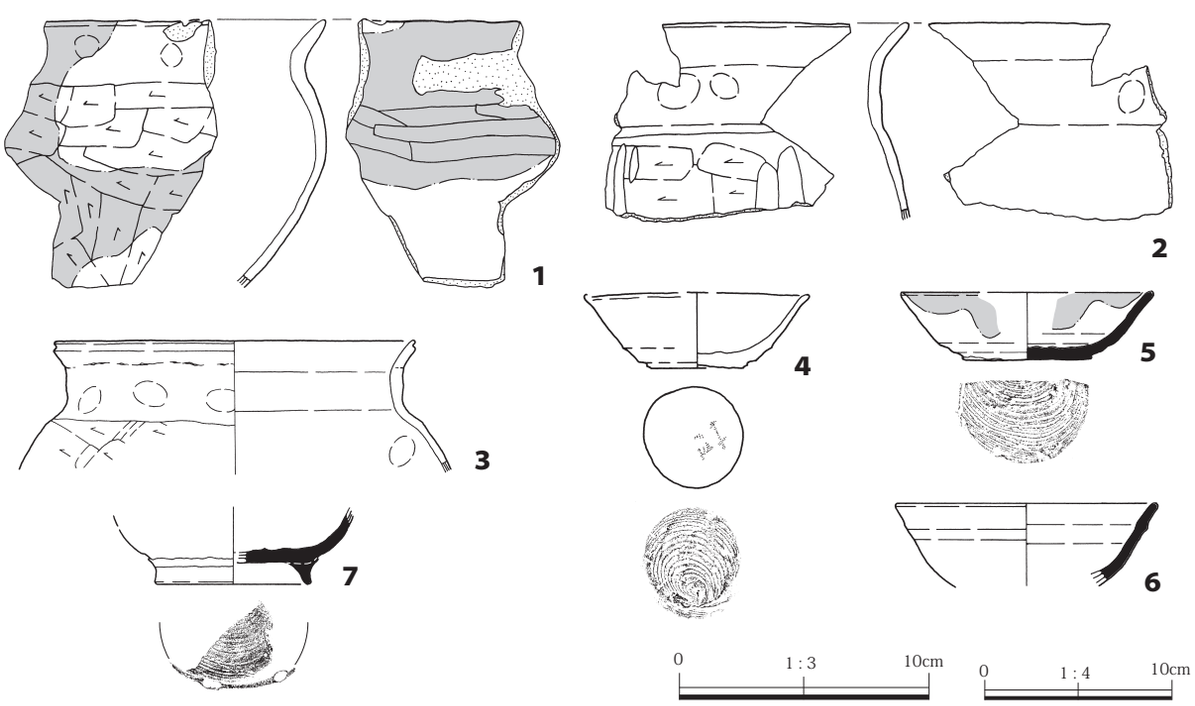
**位置**　４－24 区Ｆ－５　**重複関係**　SD01 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　SD01 によって上部が一部削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 184㎝、短軸 121㎝、深さ 125㎝。　**主軸方位**　Ｎ－60°－Ｅ　**壁面**　下位は外傾して立ち上がり、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK04（第 39 図）

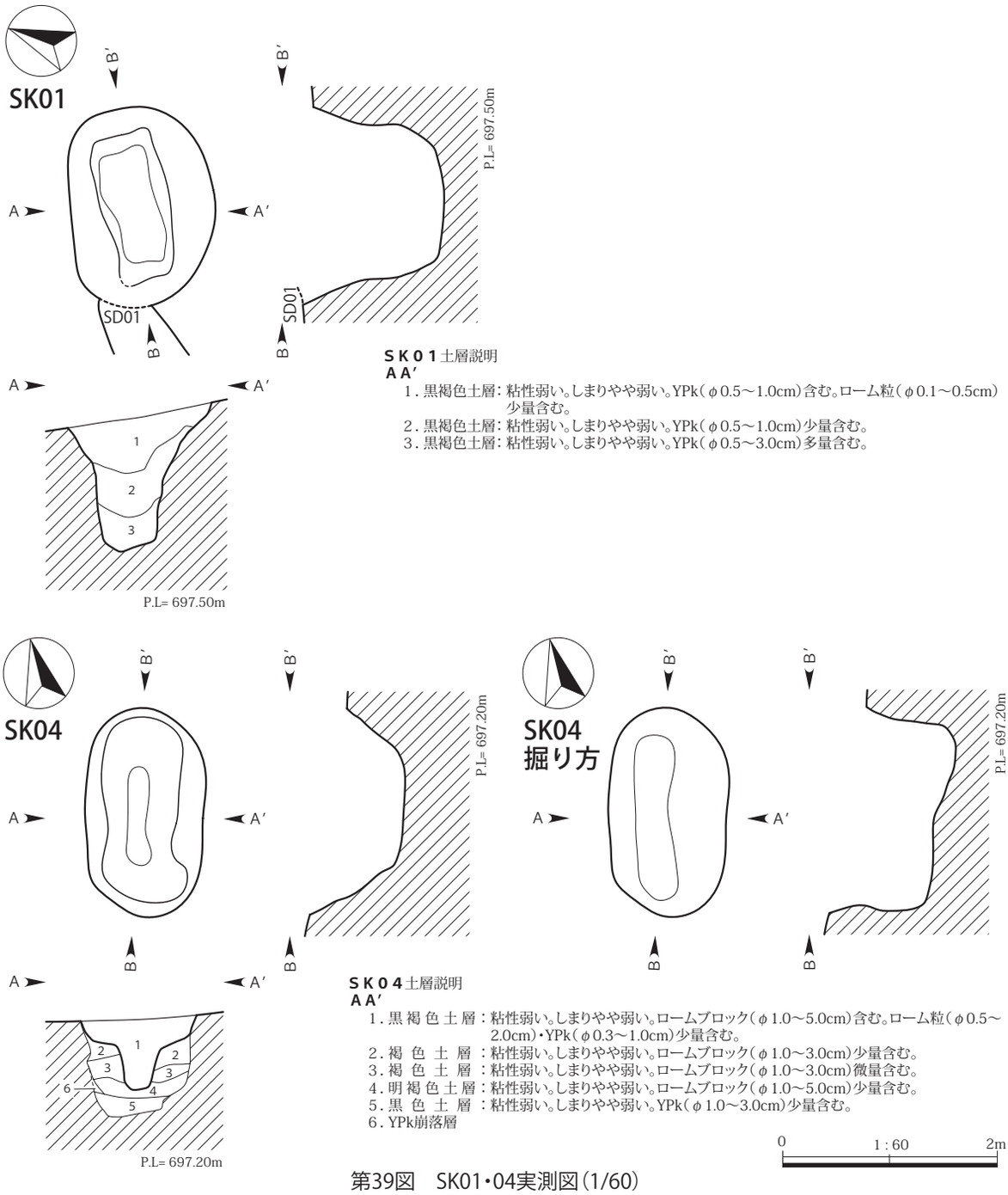
**位置**　４－24 区Ｆ－４　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層に黒褐色土、貼壁の中層に褐色土、下層に黒褐色土が堆積する。人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈




第37図　SI04遺物出土状況図（1/60）




第38図　SI04出土遺物実測図（1/3・1/4）

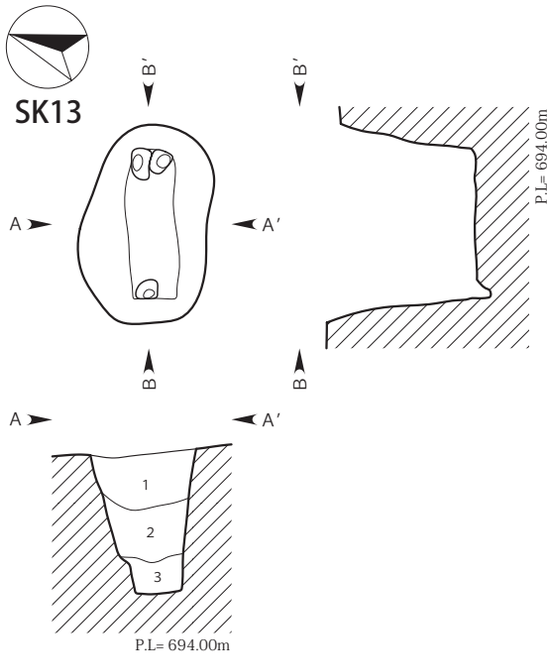



第39図　SK01・04実測図（1/60）

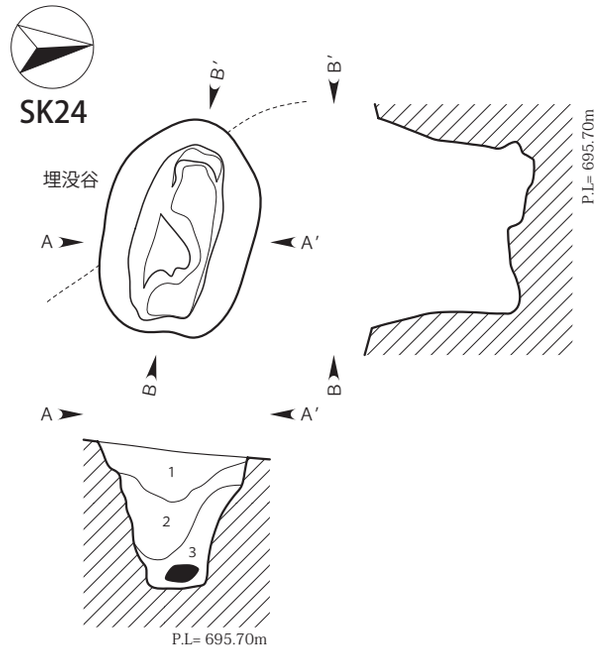
する。規模は長軸 195㎝、短軸 108㎝、深さ 90㎝。　**主軸方位**　N－14°－E　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　壁際や下位で貼壁が認められる。

SK13（第 40 図）

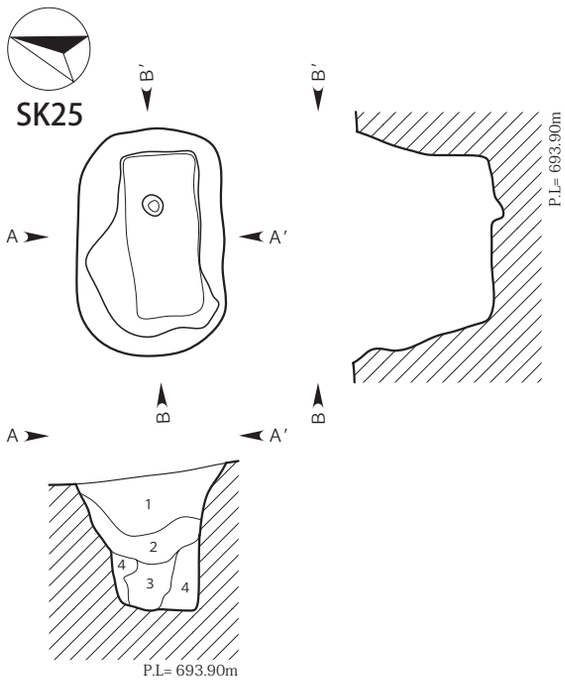
**位置**　4－14区C－19　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 158㎝、短軸 95㎝、深さ 110㎝。　**主軸方位**　N－71°－E　**壁面**　下位から上位にかけて外傾する。　**底面**　端部に凹凸あり。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。



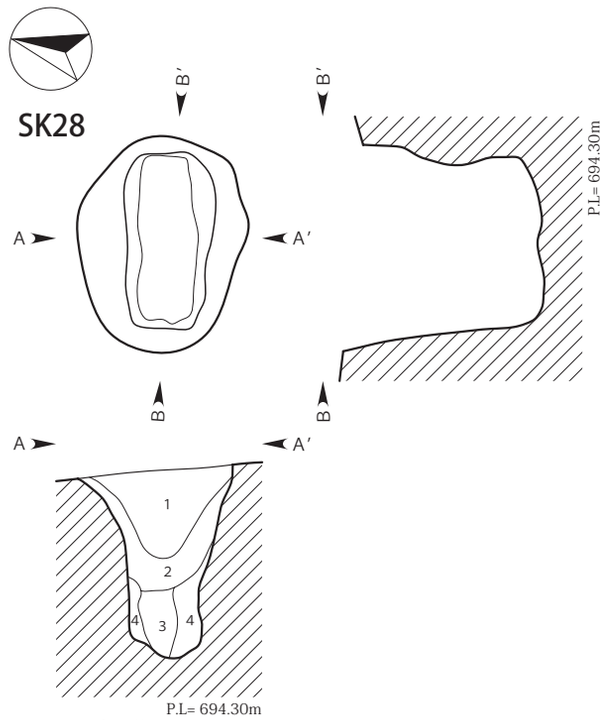

**ＳＫ１３**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.2～0.5cm）・礫（φ0.5～2.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.2～1.0cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～1.0cm）含む。




**ＳＫ２４**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.3～2.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。



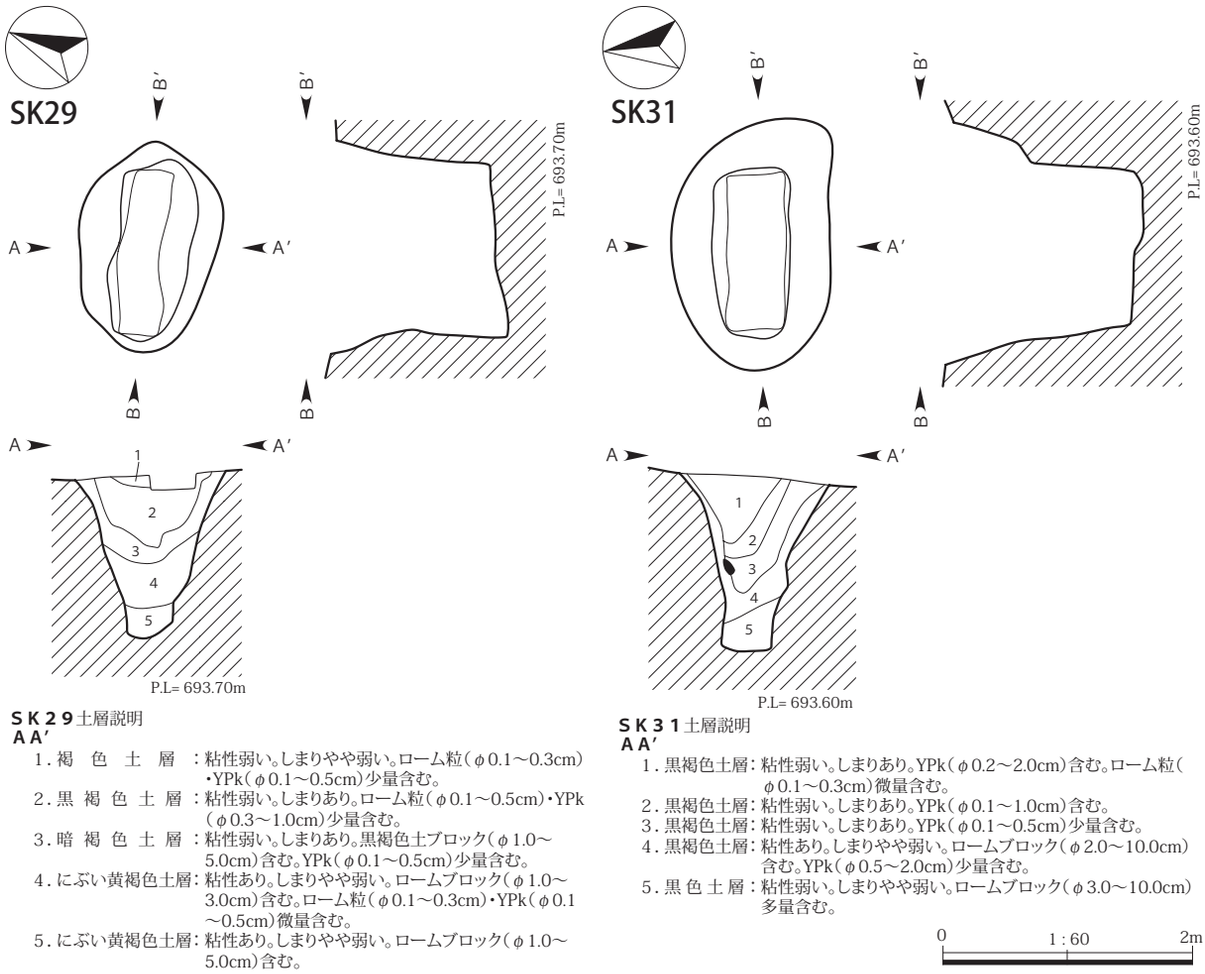

**ＳＫ２５**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.3～2.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
3．にぶい黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。
4．にぶい黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。黒褐色土ブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。




**ＳＫ２８**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）含む。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。
3．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～1.0cm）少量含む。
4．暗褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.2～0.5cm）含む。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。

0　1：60　2m

第40図　SK13・24・25・28実測図（1/60）




**ＳＫ２９**土層説明
**ＡＡ′**

1．褐　色　土　層　：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒　褐　色　土　層　：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.3～1.0cm）少量含む。
3．暗　褐　色　土　層　：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～5.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
4．にぶい黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
5．にぶい黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）含む。

**ＳＫ３１**土層説明
**ＡＡ′**

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～2.0cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
4．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ2.0～10.0cm）含む。YPk（φ0.5～2.0cm）少量含む。
5．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ3.0～10.0cm）多量含む。

第41図　SK29・31実測図（1/60）

SK24（第 40 図）

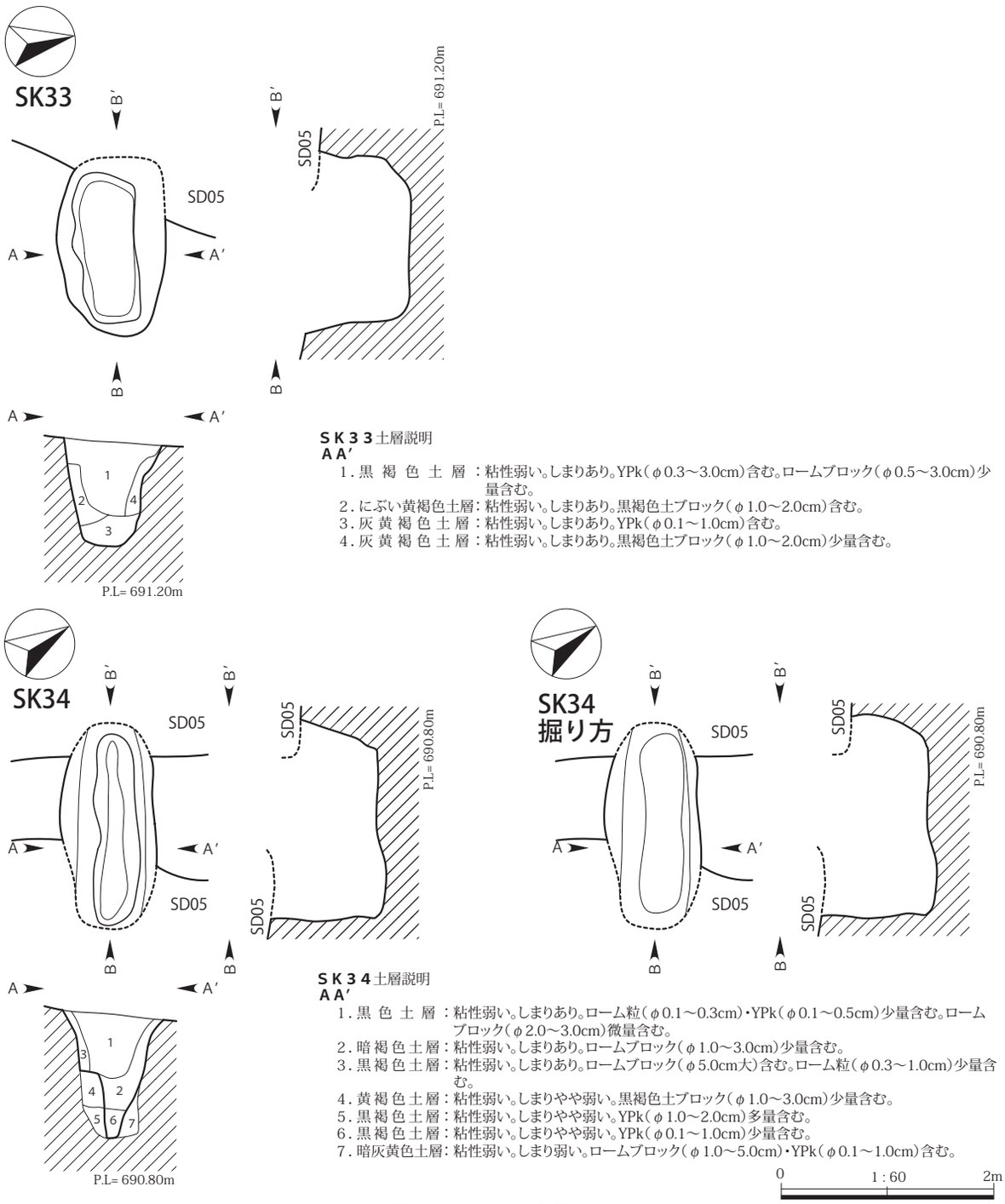
**位置**　4－24 区Ｄ－２　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層に暗褐色土が堆積する。人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 174㎝、短軸 102㎝、深さ 110㎝。　**主軸方位**　N－73°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　部分的に凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK25（第 40 図）

**位置**　4－14 区Ｄ－19　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層ににぶい黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 180㎝、短軸 118㎝、深さ 110㎝。　**主軸方位**　N－70°－E　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦で、坑底ピットと見られる窪みが確認出来る。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK28（第 40 図）

**位置**　4－14区Ｄ－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 170㎝、短軸 124㎝、深さ 140㎝。　**主軸方位**　N－70°－E　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。




**ＳＫ３３**土層説明
**ＡＡ′**

1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～3.0cm）含む。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）少量含む。
2．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～2.0cm）含む。
3．灰 黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。
4．灰 黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～2.0cm）少量含む。

**ＳＫ３４**土層説明
**ＡＡ′**

1．黒 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。ロームブロック（φ2.0～3.0cm）微量含む。
2．暗 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。
3．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ5.0cm大）含む。ローム粒（φ0.3～1.0cm）少量含む。
4．黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。
5．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ1.0～2.0cm）多量含む。
6．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
7．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）含む。

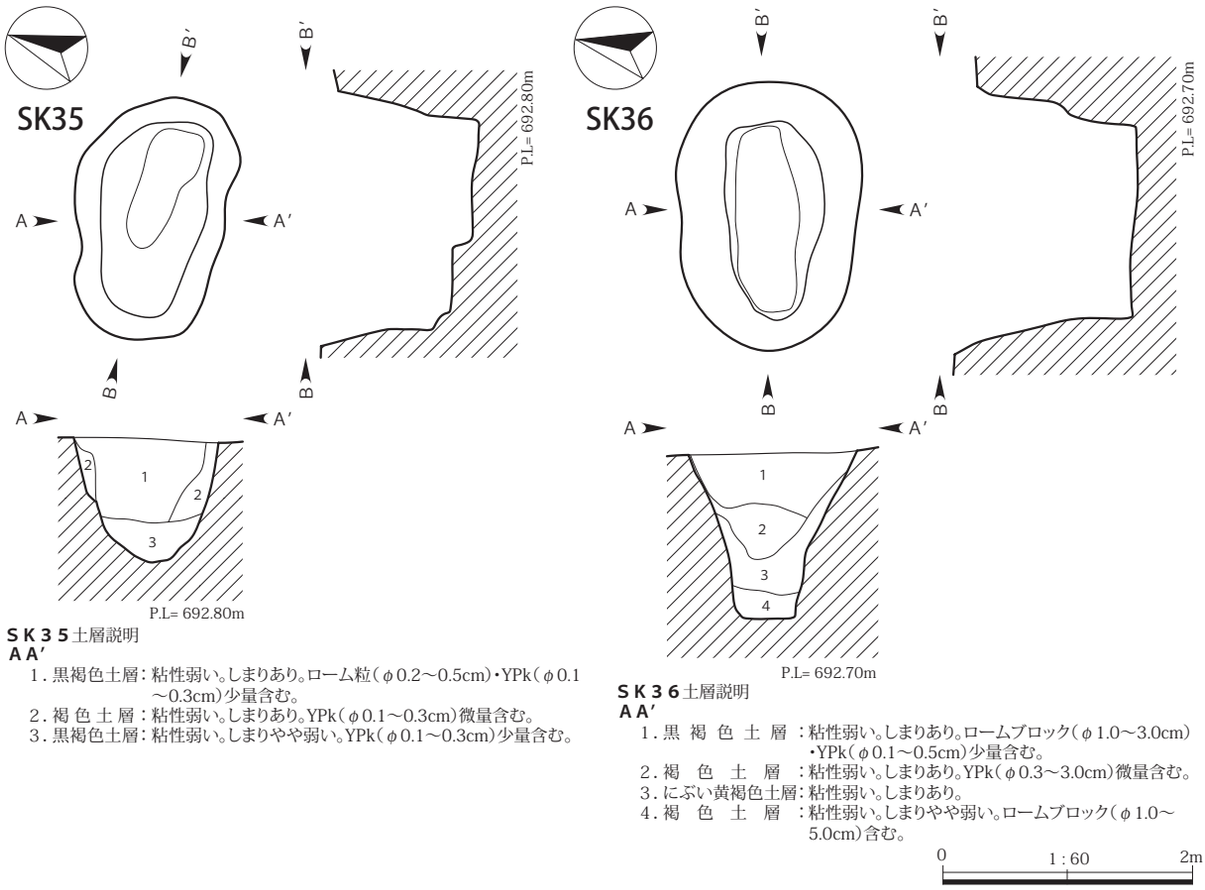
第42図　SK33・34実測図（1/60）

SK29（第 41 図／ＰＬ５）

**位置**　４－14区Ｇ－４　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層ににぶい黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 168㎝、短軸 104㎝、深さ 130㎝。　**主軸方位**　Ｎ－72°－Ｅ　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK31（第 41 図）

**位置**　４－14区Ｅ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。




**ＳＫ３５**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.2～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＫ３６**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～3.0cm）微量含む。
3．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。
4．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）含む。

第43図　SK35・36実測図（1/60）

**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 197㎝、短軸 127㎝、深さ 140㎝。
**主軸方位**　N－86°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。
**備考**　なし。

SK33（第 42 図）

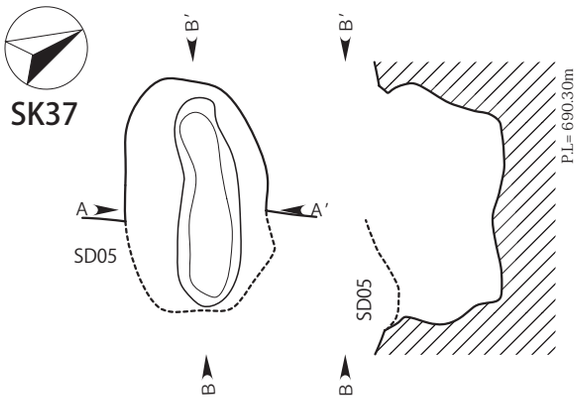
**位置**　4－14 区Ｅ－13　**重複関係**　SD05 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上部を SD05 によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層に灰黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。
**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸推定 168㎝、短軸 102㎝、深さ 95㎝。
**主軸方位**　N－81°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。
**備考**　なし。

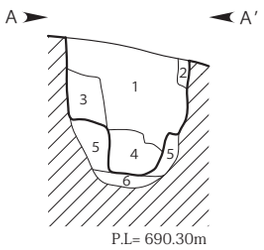
SK34（第 42 図）

**位置**　4－14 区Ｅ－12　**重複関係**　SD05 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上部を SD05 によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層に黒褐色土が堆積する。自然堆積を示す。
**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長楕円形を呈する。規模は長軸推定 194㎝、短軸 90㎝、深さ 115㎝。
**主軸方位**　N－59°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。
**備考**　壁際や下位に貼壁が認められる。

SK35（第 43 図）

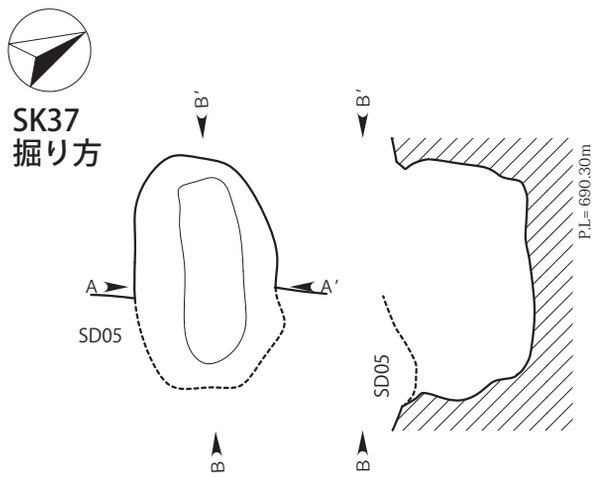
**位置**　4－14 区Ｃ・Ｄ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆

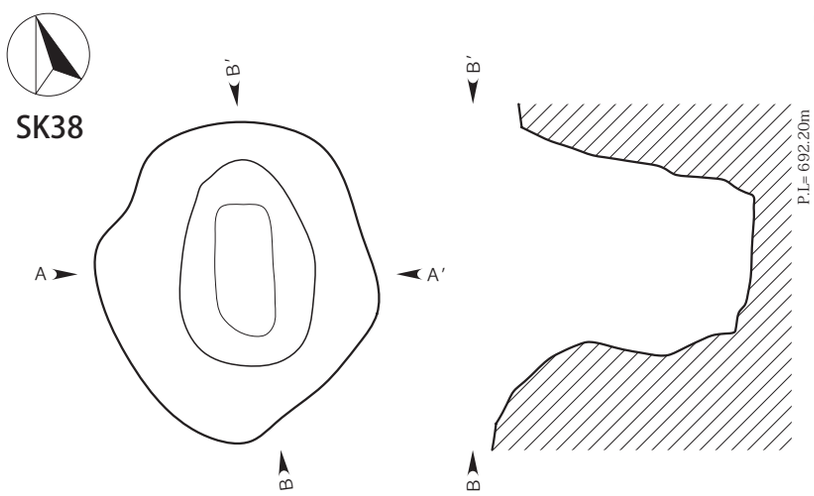


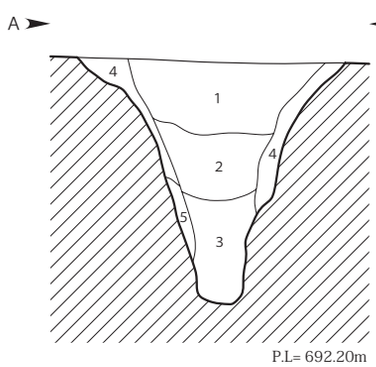




**ＳＫ３７**土層説明
**ＡＡ′**

1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）含む。
2．暗 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。
3．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
4．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.2cm）微量含む。
5．浅 黄 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）含む。
6．黒 褐 色 土 層 ：粘性なし。しまり弱い。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）含む。



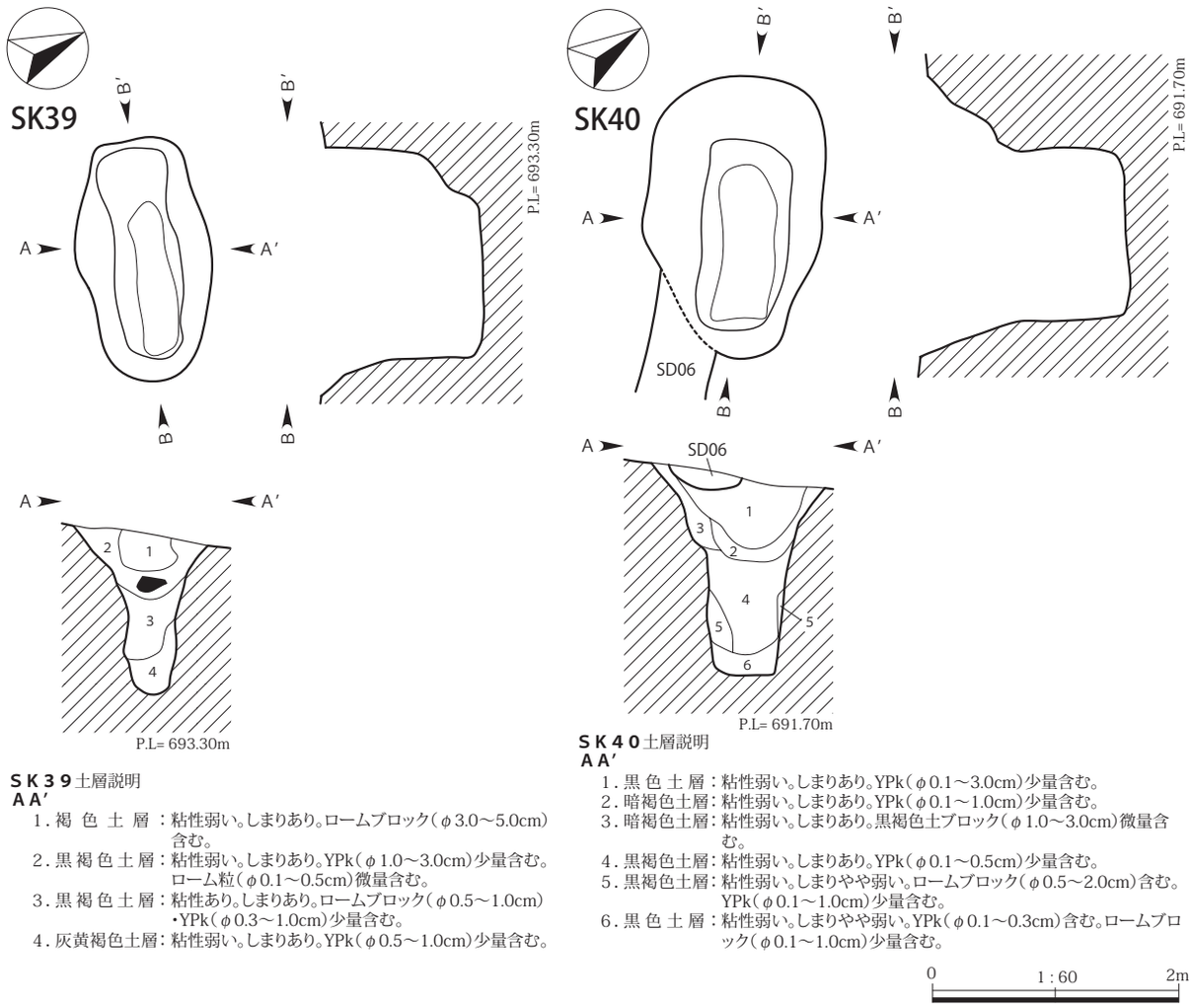




**ＳＫ３８**土層説明
**ＡＡ′**

1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～3.0cm）含む。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）微量含む。
2．暗 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～2.0cm）少量含む。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）微量含む。
3．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.3～3.0cm）微量含む。
4．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。
5．灰 黄 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）含む。

0　1：60　2m

第44図　SK37・38実測図（1/60）




**ＳＫ３９**土層説明
**ＡＡ′**
1．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ3.0～5.0cm）含む。
2．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ1.0～3.0cm）少量含む。ローム粒（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3．黒 褐 色 土 層：粘性あり。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）・YPk（φ0.3～1.0cm）少量含む。
4．灰黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～1.0cm）少量含む。

**ＳＫ４０**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～3.0cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）微量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
5．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
6．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）含む。ロームブロック（φ0.1～1.0cm）少量含む。

第45図　SK39・40実測図（1/60）

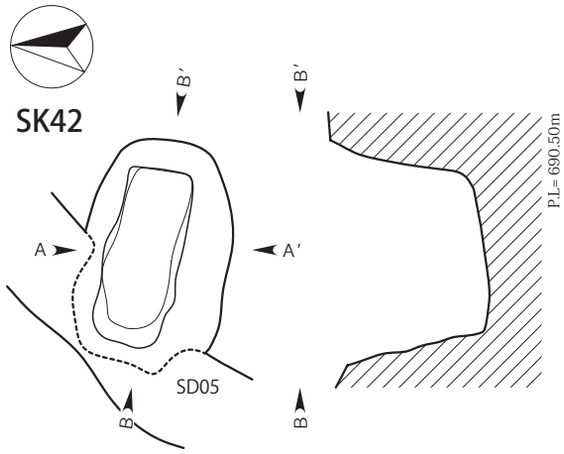
積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 196㎝、短軸 122㎝、深さ 100㎝。　**主軸方位**　N－84°－E　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器が１点出土しているが、小破片で遺構には伴わないと判断し、図示しなかった。　**備考**　なし。

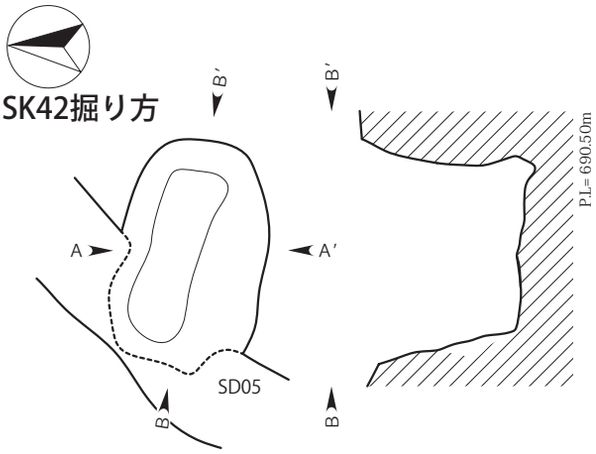
SK36（第 43 図）

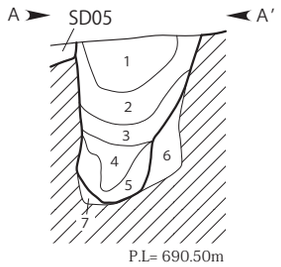
**位置**　４－14 区Ｃ－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層ににぶい黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 214㎝、短軸 150㎝、深さ 130㎝。　**主軸方位**　N－77°－E　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK37（第 44 図）

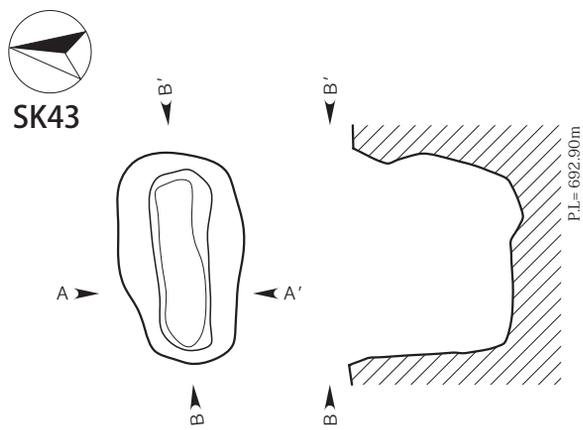
**位置**　４－14 区Ｅ－12　**重複関係**　SD05 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上層を SD05 によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層ににぶい黄褐色土が堆積する。人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸推定 184㎝、短軸 112㎝、深さ 100㎝。　**主軸方位**　N－66°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位はほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　壁際や下位に貼壁が認められる。

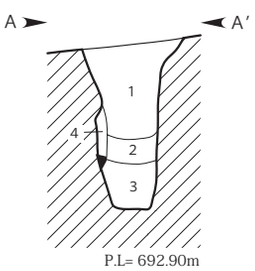


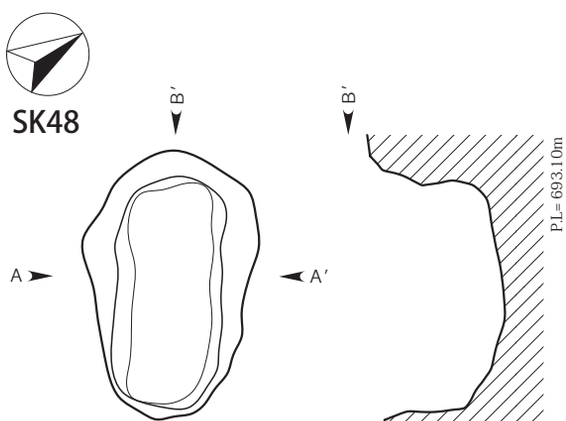



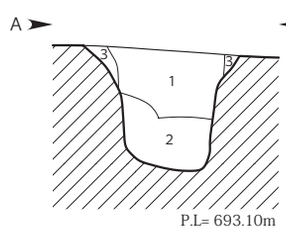




**ＳＫ４２**土層説明
**ＡＡ′**
1．黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～2.0cm）含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。
4．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。
5．黒褐色土層：粘性強い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
6．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
7．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.1～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。



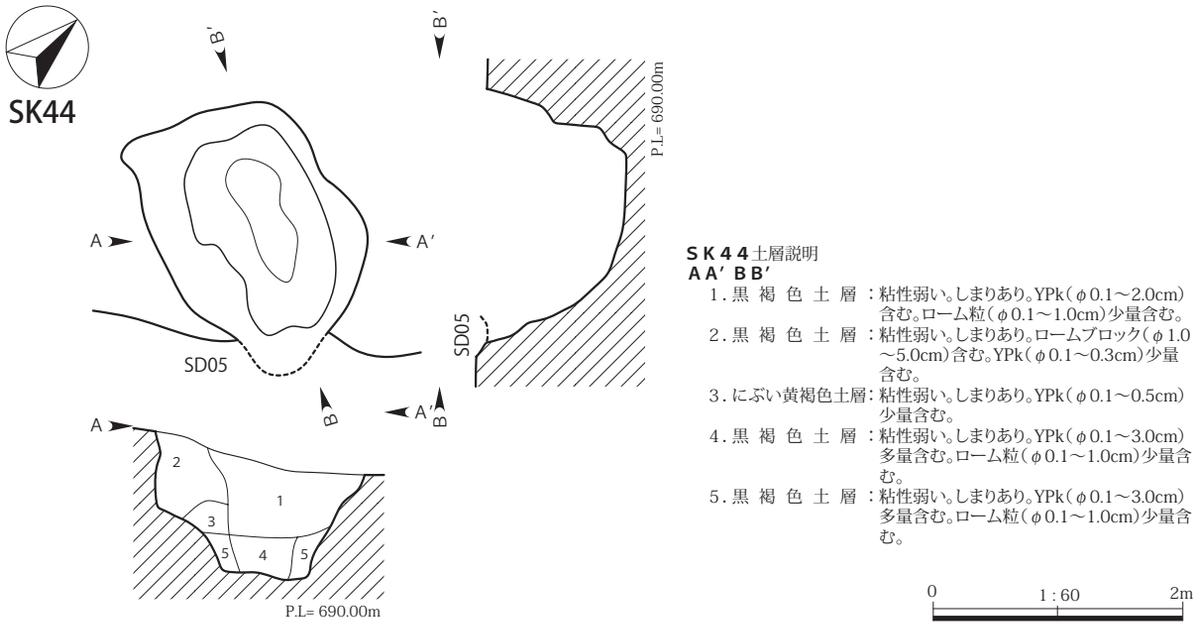




**ＳＫ４３**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。礫（φ1.0～5.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.1～3.0cm）少量含む。
4．暗褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）含む。

**ＳＫ４８**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～2.0cm）・炭化物（φ0.1～1.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。

0　1：60　2m

第46図　SK42・43・48実測図（1/60）




第47図　SK44実測図（1/60）

SK38（第 44 図）

**位置**　4－14 区C－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層ににぶい黄褐色土が堆積する。人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が不整円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 256㎝、短軸 224㎝、深さ 195㎝。　**主軸方位**　N－21°－E　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK39（第 45 図）

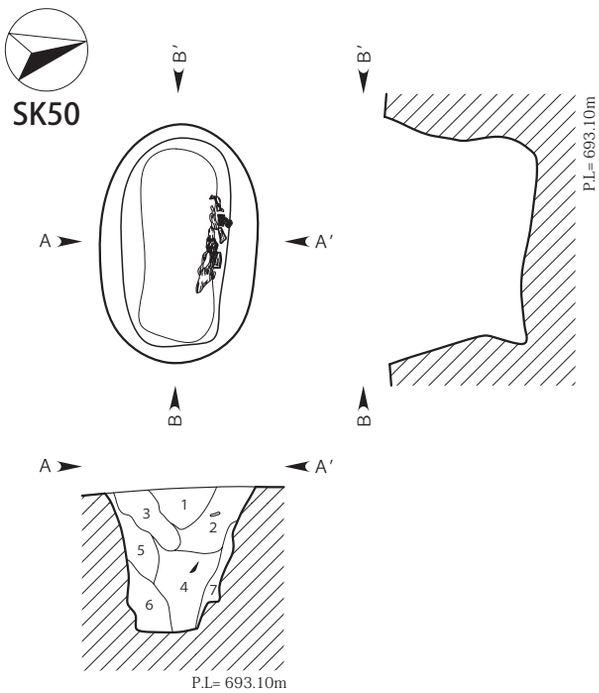
**位置**　4－14 区C－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層は、灰黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 194㎝、短軸 110㎝、深さ 130㎝。　**主軸方位**　N－73°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

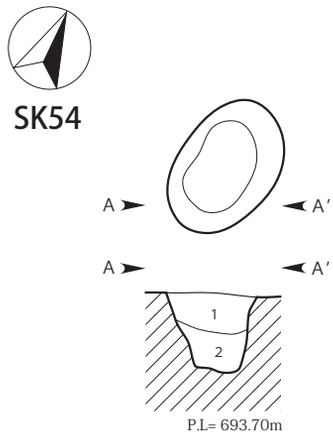
SK40（第 45 図）

**位置**　4－14 区C－13　**重複関係**　SD06 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上層を SD06 によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 228㎝、短軸 140㎝、深さ 140㎝。　**主軸方位**　N－50°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が 2 点、頁岩の剥片が 1 点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　なし。

SK42（第 46 図）

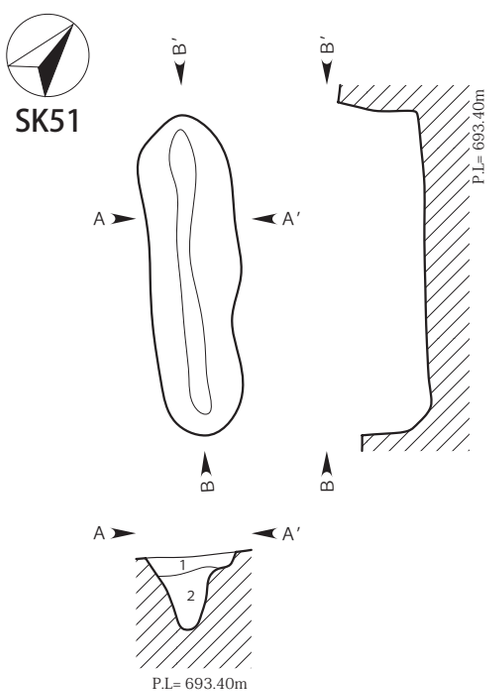
**位置**　4－14 区F－12　**重複関係**　SD05 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上層を SD05 によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、上層に黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸推定 188㎝、短軸 118㎝、深さ 130㎝。　**主軸方位**　N－83°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　壁際や下位に貼壁が認められる。

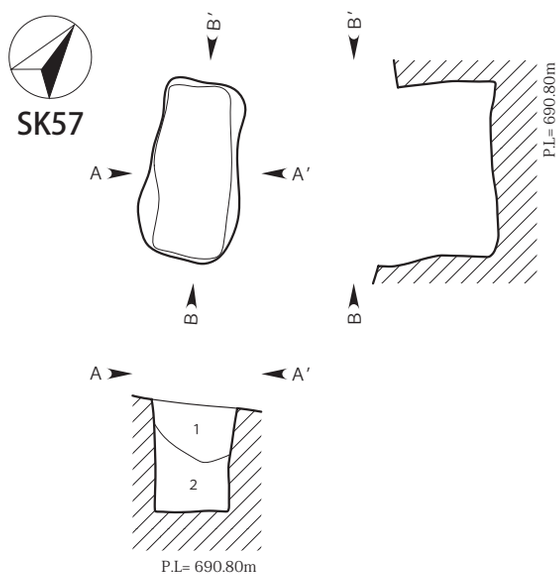



**ＳＫ５４**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～5.0cm）多量含む。

**ＳＫ５０**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。炭化物（φ0.5～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
3．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～1.0cm）・ロームブロック（φ1.0～3.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）・黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）含む。
4．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
5．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～2.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
6．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）含む。
7．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。



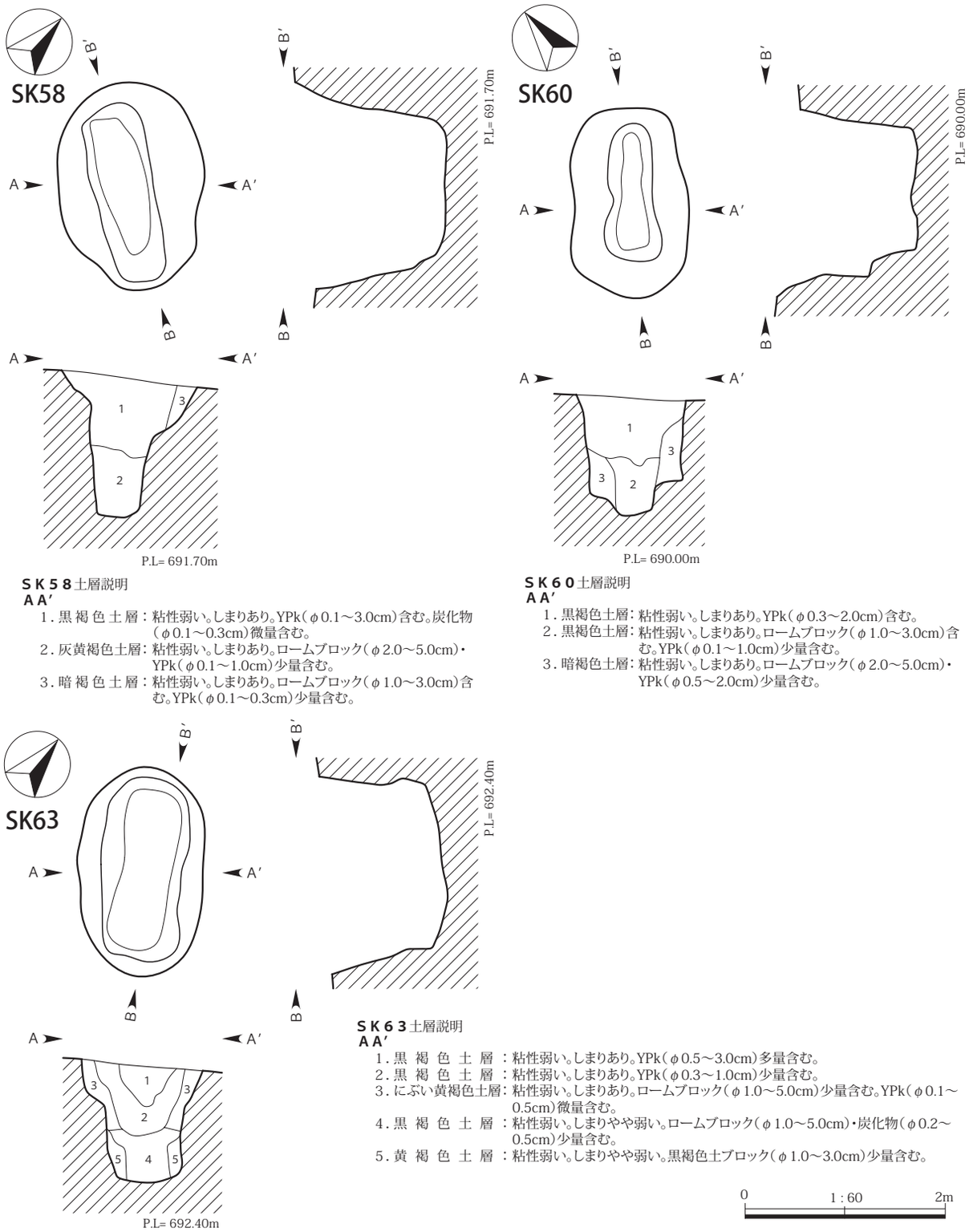




**ＳＫ５７**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～2.0cm）含む。ローム粒（φ0.1～2.0cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～2.0cm）少量含む。

**ＳＫ５１**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.2～0.5cm）少量含む。
2．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～0.5cm）少量含む。

0　1：60　2m

第48図　SK50・51・54・57実測図（1/60）




**ＳＫ５８**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～3.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．灰黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ2.0～5.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
3．暗 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＫ６０**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～2.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ2.0～5.0cm）・YPk（φ0.5～2.0cm）少量含む。

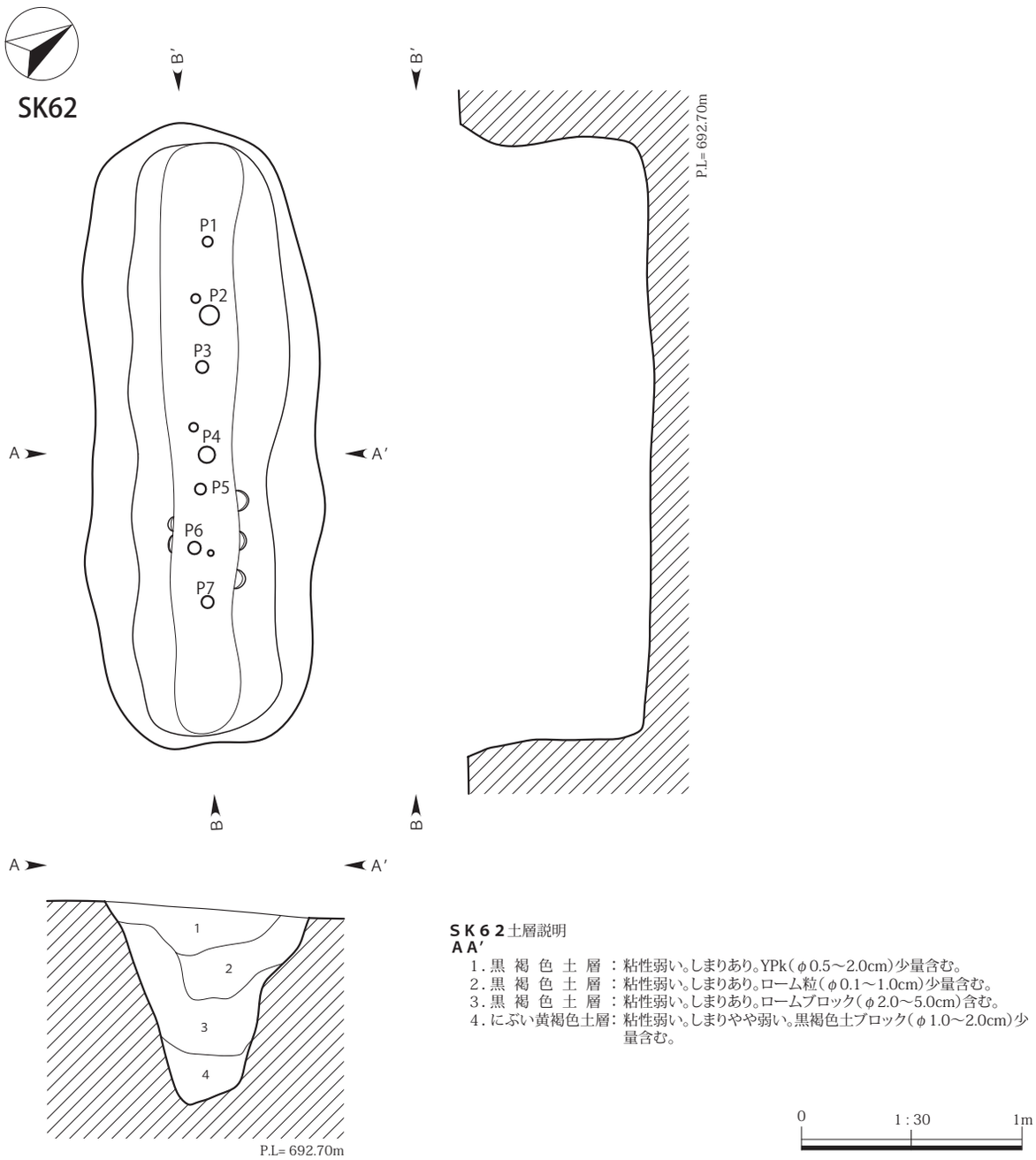
**ＳＫ６３**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～3.0cm）多量含む。
2．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～1.0cm）少量含む。
3．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）・炭化物（φ0.2～0.5cm）少量含む。
5．黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。

0　1：60　2m

第49図　SK58・60・63実測図（1/60）

SK43（第 46 図／ＰＬ５）

**位置**　４－14区Ｄ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 170㎝、短軸 102㎝、深さ 130㎝。　**主軸方位**　Ｎ－77°－Ｅ　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。壁の一部が崩落している。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器片が１点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**

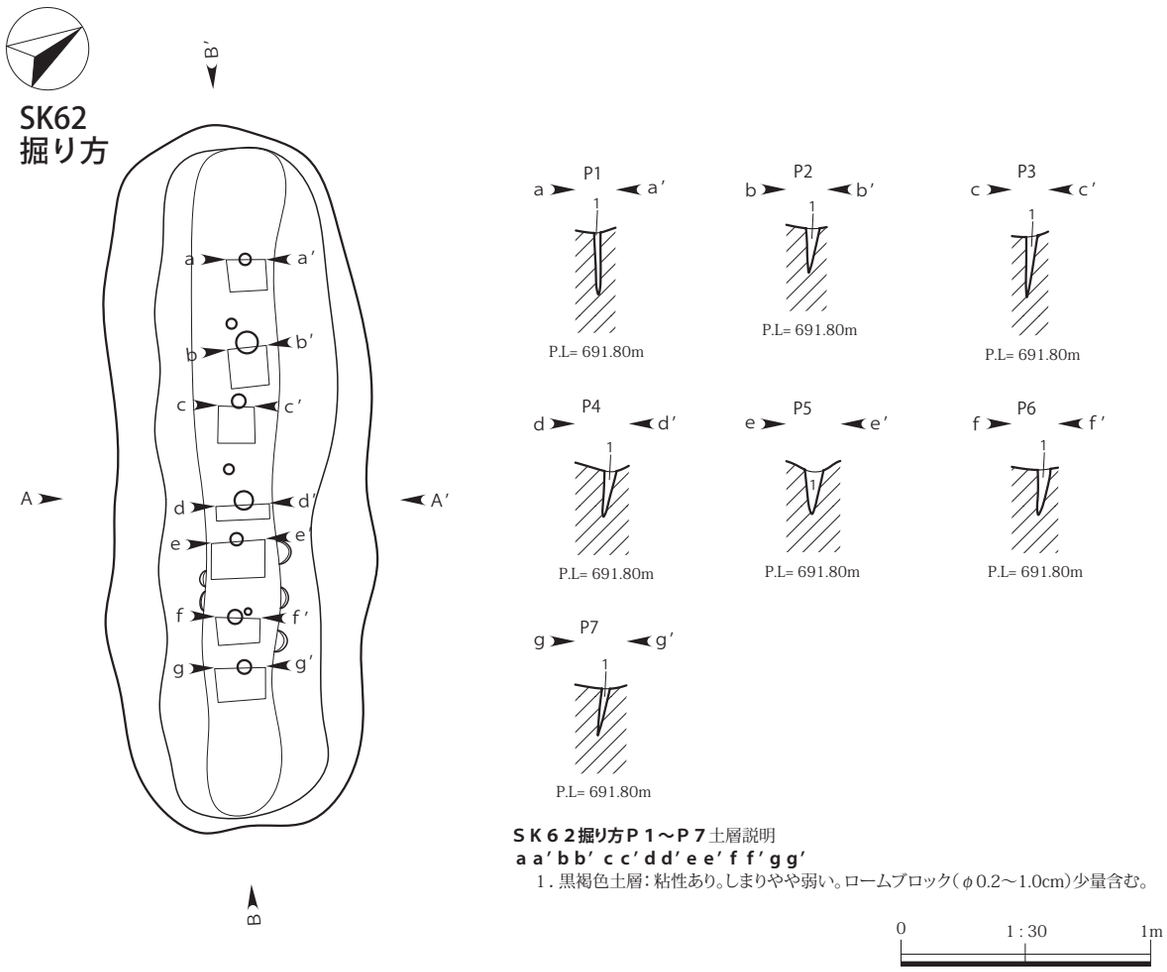



第50図　SK62実測図（1/30）

なし。

SK44（第 47 図）

**位置**　4－14 区 F－11　**重複関係**　SD05 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上層を SD05 によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が不整円形、下面形が楕円形を呈する。規模は長軸推定 221㎝、短軸 158㎝、深さ 88㎝。　**主軸方位**　N－68°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　検出時の平面形から 1 基の陥し穴としたが、別の土坑と重複した遺構の可能性がある。




第51図　SK62掘り方実測図（1/30）

SK48（第46図／ＰＬ５）

**位置**　４－13区Ｒ－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が不整楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸214㎝、短軸116㎝、深さ95㎝。　**主軸方位**　Ｎ－57°－Ｗ　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器が６点、黒曜石の剥片が１点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　なし。

SK50（第48図／ＰＬ６）

**位置**　４－13区Ｒ－11　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とし、一部にぶい黄褐色土が混入する。人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸190㎝、短軸126㎝、深さ115㎝。　**主軸方位**　Ｎ－80°－Ｗ　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が12点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　上層から炭化物塊が出土しているが人為的な埋戻しによる混入物と考えられる。

SK51（第48図）

**位置**　４－13区Ｒ－10　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層に黒褐色土、下層は褐色土が堆積する。人為的な堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が長楕円形、下面形は細楕円形を呈する。規模は長軸256㎝、短軸64㎝、深さ55㎝。　**主軸方位**　Ｎ－43°－Ｗ　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。

**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　底面に坑底ピットは見られないが、形態はSK62と類似しており、平安時代末～中世に帰属すると考えられる。

SK54（第48図）

**位置**　4－13区R－9　**重複関係**　SI02と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形に近い楕円形を呈する。規模は長軸118㎝、短軸76㎝、深さ60㎝。　**主軸方位**　N－7°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　上部が削平され、下部のみ残存している。

SK57（第48図）

**位置**　4－14区D－12　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層は暗褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸142㎝、短軸68㎝、深さ85㎝。　**主軸方位**　N－32°－W　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が2点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　平面形は長方形を呈し、上部が削平されているが、他の陥し穴の下面形の形状と類似していたため、陥し穴とした。

SK58（第49図／ＰＬ６）

**位置**　4－14区C－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸198㎝、短軸142㎝、深さ135㎝。　**主軸方位**　N－55°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器が11点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　なし。

SK60（第49図）

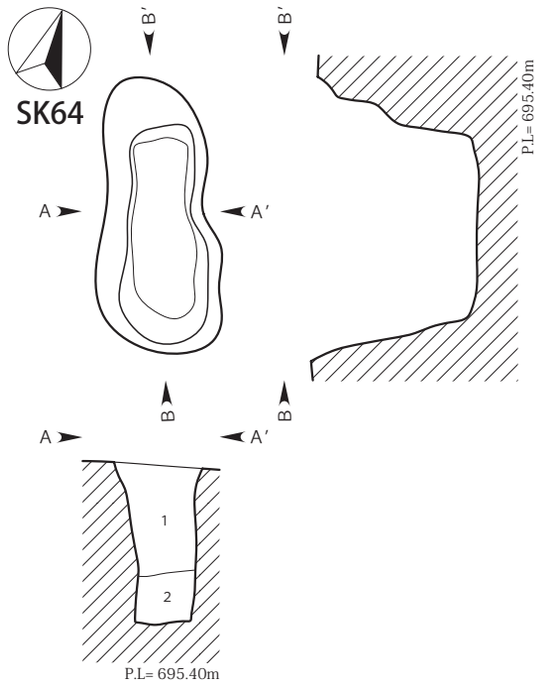
**位置**　4－14区E－11　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とし、下層の壁際に暗褐色土が混入する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸190㎝、短軸114㎝、深さ115㎝。　**主軸方位**　N－43°－E　**壁面**　下位は外傾し、上位はほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器が1点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　なし。

SK62（第50・51図／ＰＬ６）

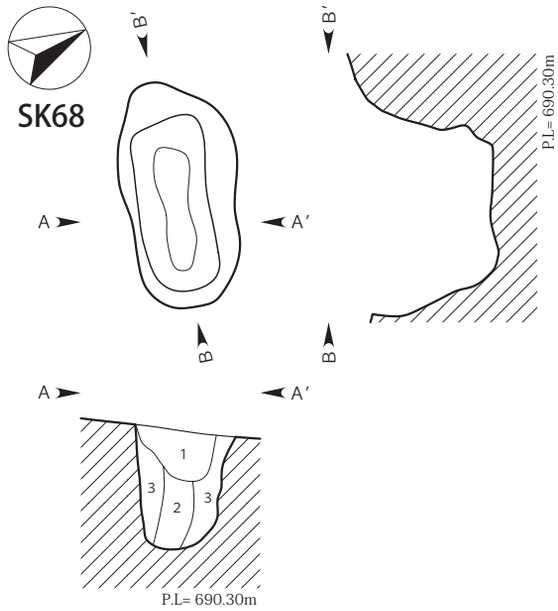
**位置**　4－13区T－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とし、下層はにぶい黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が長楕円形、下面形が細長方形を呈する。規模は長軸282㎝、短軸100㎝、深さ88㎝。　**主軸方位**　N－58°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。長軸方向の東西壁に工具痕が見られる。　**底面**　概ね平坦で、底面に直線状に7基の坑底ピットが並ぶ。いずれも円形の平面形を呈し、長軸2～5㎝、短軸1～5㎝、深さ16～24㎝。断面形は二等辺三角形を呈し、杭跡と考えられる。　**遺物**　なし。　**備考**　平・断面形状から、平安時代末～中世に帰属すると考えられる。

SK63（第49図／ＰＬ６）

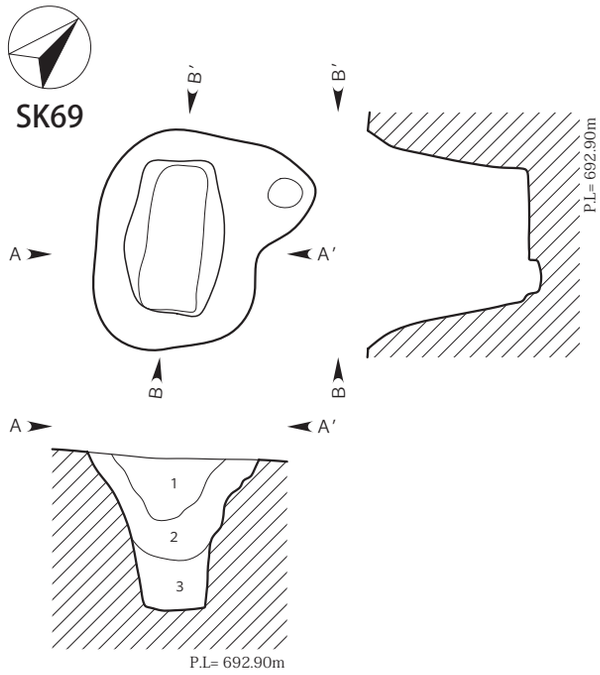
**位置**　4－14区B－10　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層の壁際に黄褐色土が堆積し、地山の崩落が確認できる。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸208㎝、短軸122㎝、深さ115㎝。　**主軸方位**　N－34°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器が3点出土しているが、遺構には伴



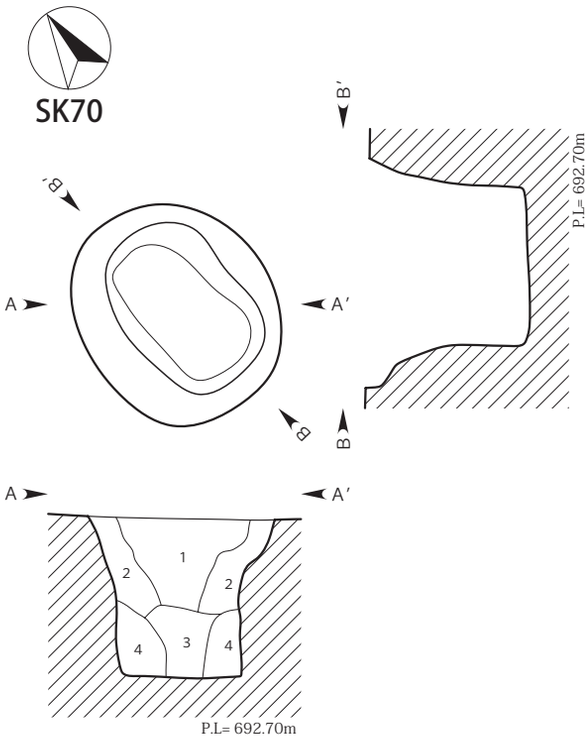

**ＳＫ６４**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～2.0cm）・炭化物（φ0.2～0.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～3.0cm）含む。




**ＳＫ６８**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。



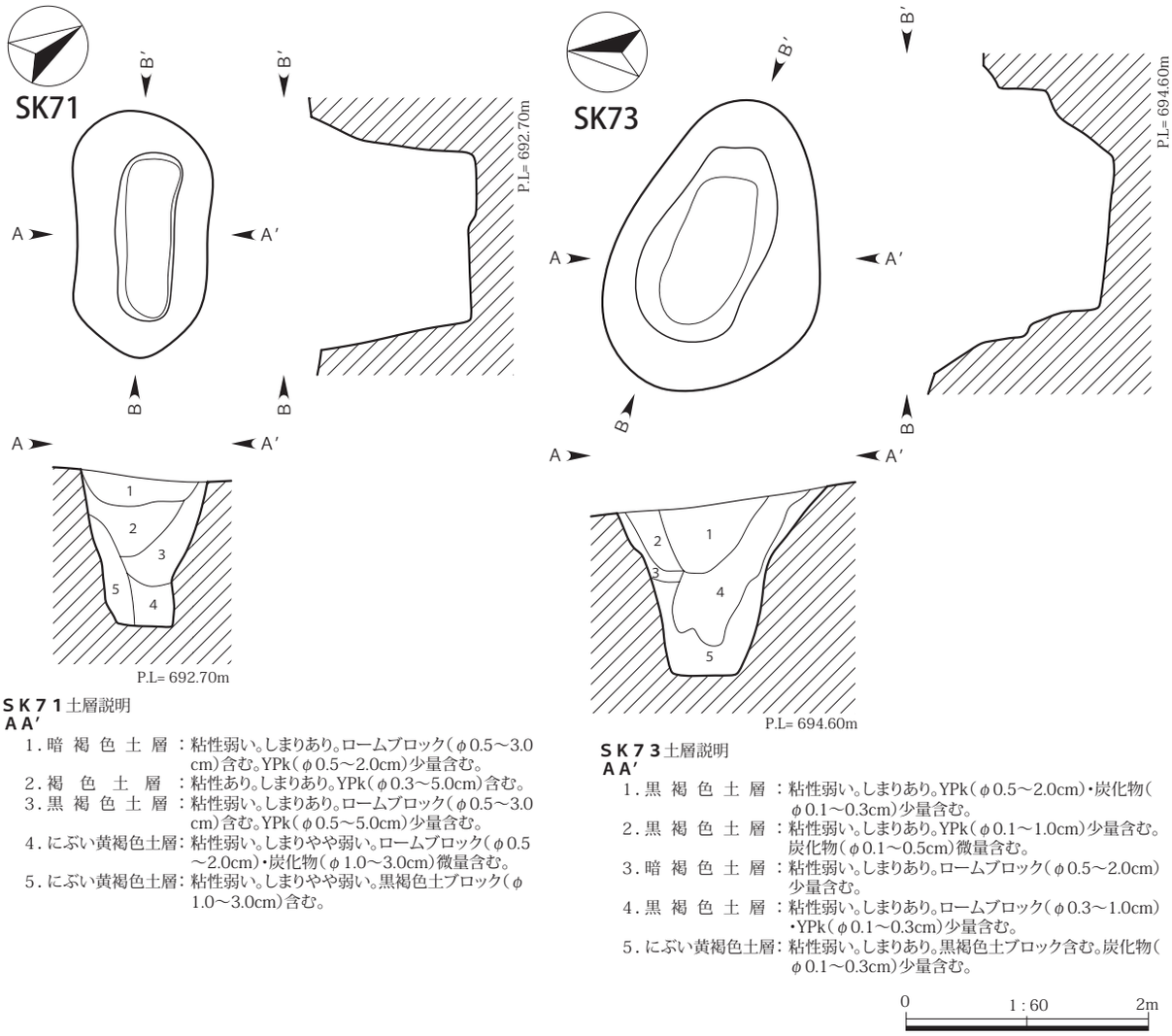

**ＳＫ６９**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）含む。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。




**ＳＫ７０**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～3.0cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性あり。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。炭化物（φ0.5～1.0cm）微量含む。
4．黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）含む。

0　1：60　2m

第52図　SK64・68～70実測図（1/60）




第53図　SK71・73実測図（1/60）

わないと判断し図示しなかった。　**備考**　なし。

SK64（第52図）

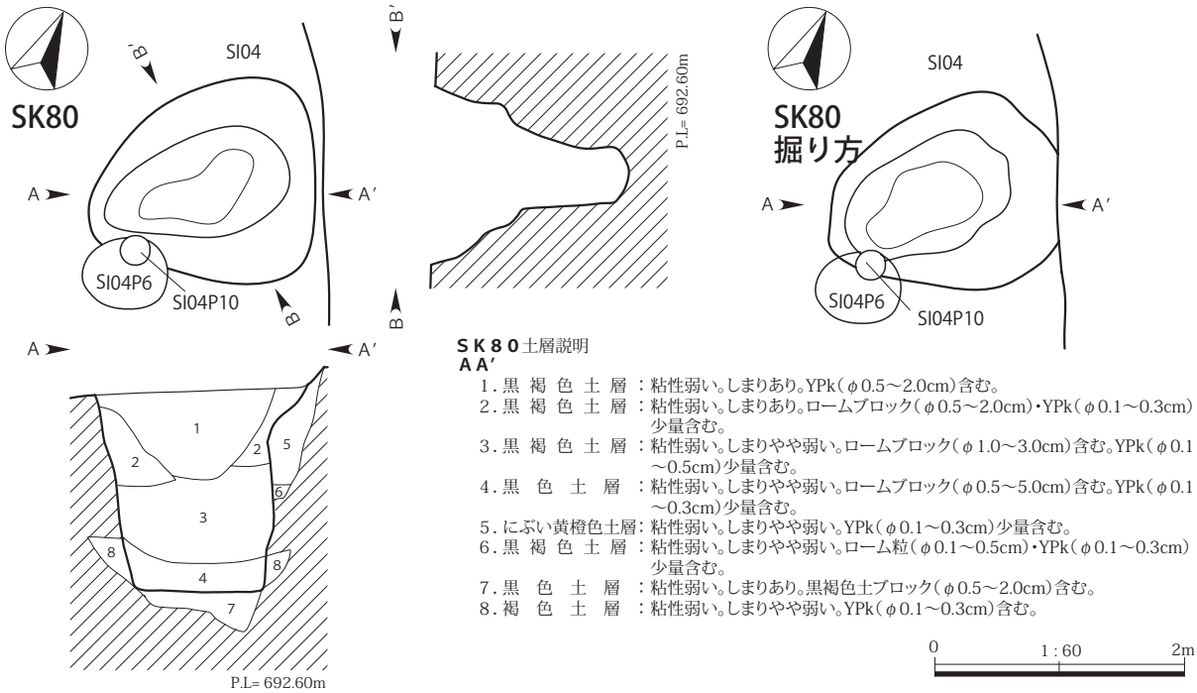
**位置**　4－13区O－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸220㎝、短軸76㎝、深さ125㎝。　**主軸方位**　N－21°－W　**壁面**　下位はほぼ垂直に立ち上がり、上位は外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK68（第52図）

**位置**　4－14区E－11　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が不整楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸180㎝、短軸82㎝、深さ95㎝。　**主軸方位**　N－74°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK69（第52図）

**位置**　4－14区A－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。




第54図　SK80実測図(1/60)

**平面形と規模**　上面形が不整楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸177㎝、短軸128㎝、深さ120㎝。　**主軸方位**　N－38°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　北東部にピット状の落ち込みがある。

SK70（第52図）

**位置**　4－14区A－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層の壁際に黄褐色土が混入する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸182㎝、短軸146㎝、深さ125㎝。　**主軸方位**　N－11°－W　**壁面**　下位はほぼ垂直に立ち上がり、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK71（第53図／ＰＬ６）

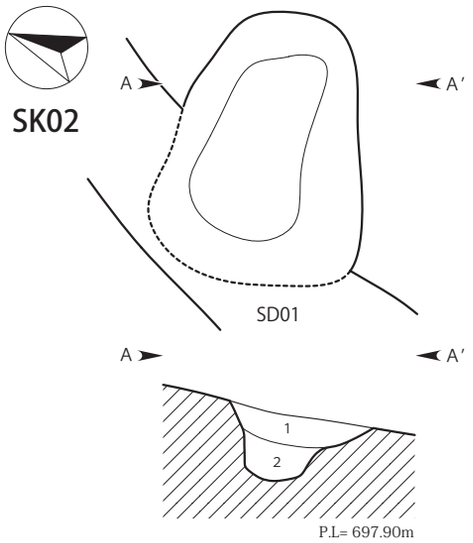
**位置**　4－14区A－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　褐色～黒褐色土が基調で、下層ににぶい黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸202㎝、短軸108㎝、深さ120㎝。　**主軸方位**　N－57°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK73（第53図）

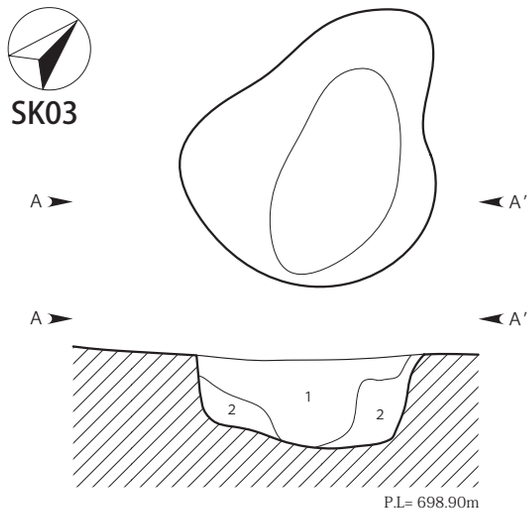
**位置**　4－13区R－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、下層はにぶい黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が不整楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸250㎝、短軸178㎝、深さ140㎝。　**主軸方位**　N－69°－W　**壁面**　下位は外傾し、上位は大きく外傾する。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK80（第54図／ＰＬ６）

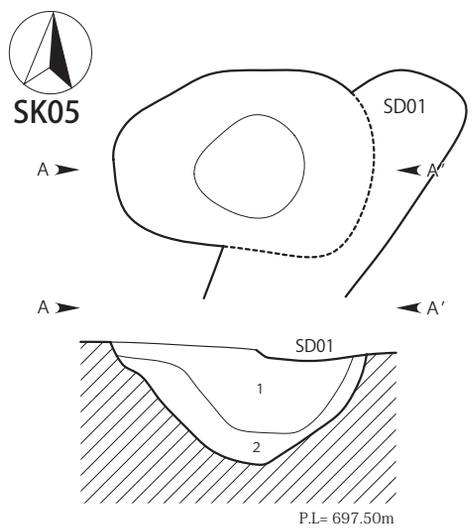
**位置**　4－14区A－10　**重複関係**　SI04と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上部がSI04によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が不



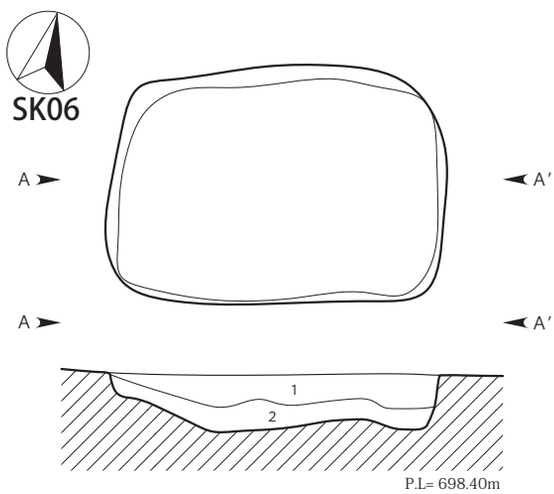

**ＳＫ０２**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～5.0cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．暗褐色土層：粘性なし。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～5.0cm）少量含む。




**ＳＫ０３**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。




**ＳＫ０５**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。




**ＳＫ０６**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.2cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

0　1：30　1m

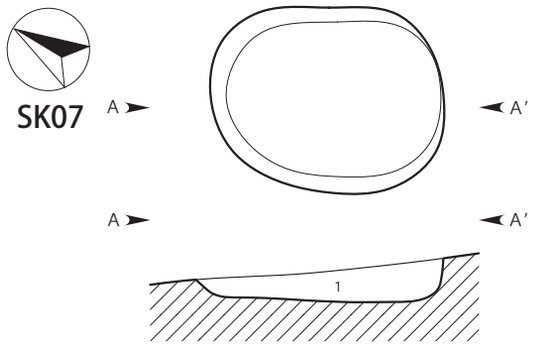
第55図　SK02・03・05・06実測図（1/30）

整楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 180㎝、短軸 164㎝、深さ 135㎝。　**主軸方位**　N－62°－E　**壁面**　下位は外傾して立ち上がり、上位は大きく外傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器片が９点出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　なし。

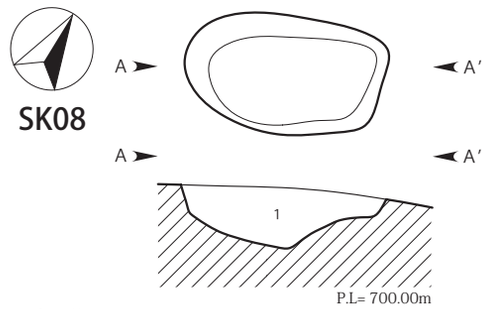
## 第４節　時期不明の遺構と遺物

### （1）土坑

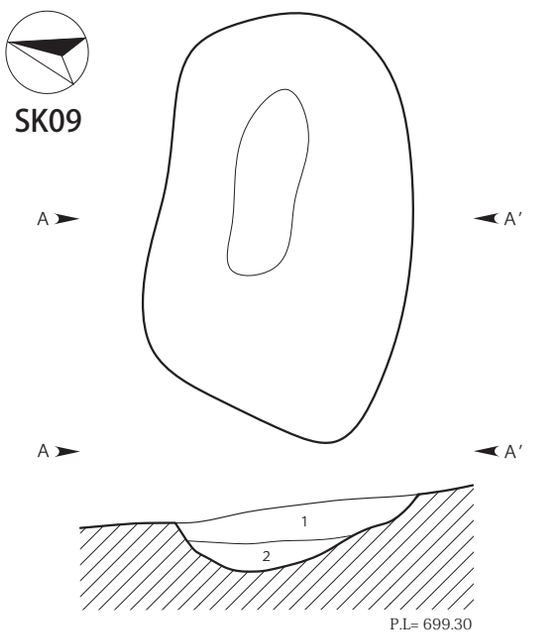
形態に特徴がなく、出土遺物がない遺構については帰属時期は不明である。

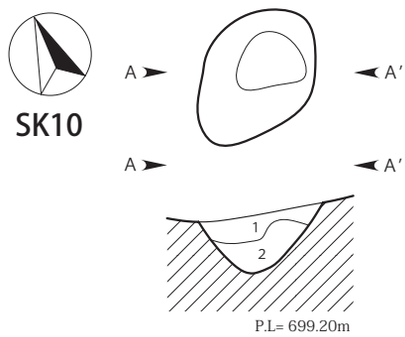



**ＳＫ０７**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.2～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.2cm）微量含む。




**ＳＫ０８**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。にぶい黄橙色土ブロック（φ1.2～3.0cm）含む。ローム粒（φ0.2～0.5cm）・YPk（φ0.5～1.0cm）少量含む。




**ＳＫ１０**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

**ＳＫ０９**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。礫（φ0.3～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．褐色土層：粘性弱い。しまりあり。礫（φ0.1～0.5cm）少量含む。

0　1：30　1m

第56図　SK07～10実測図（1/30）

SK02（第 55 図）

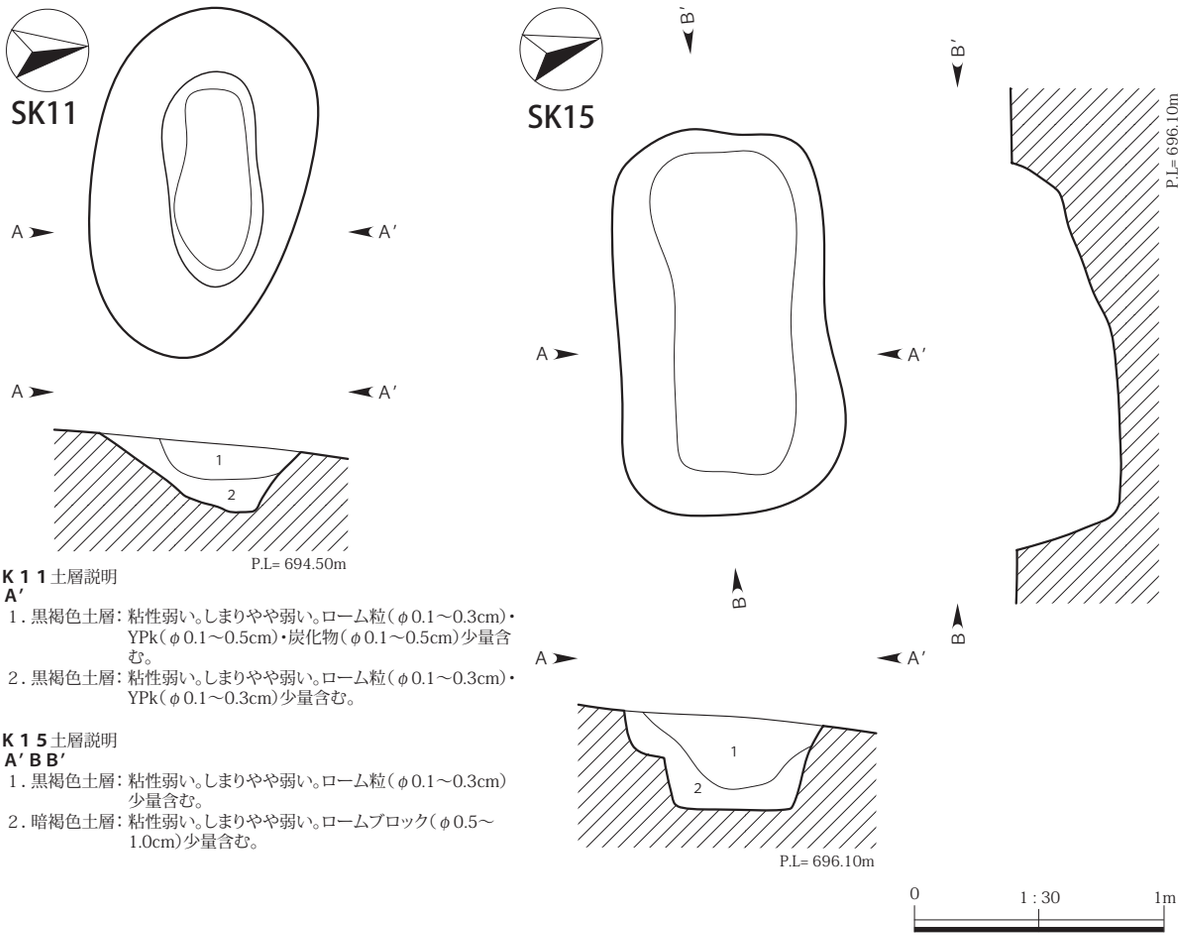
**位置**　4－24 区Ｅ－5　**重複関係**　SD01 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　西側が SD01 によって削平されているが概ね良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸推定 110㎝、短軸 66㎝以上、深さ 33㎝。　**主軸方位**　N－75°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器の破片、黒曜石の剥片 1 点ずつが出土しているが、遺構には伴わないと判断し図示しなかった。　**備考**　他の縄文晩期から弥生前期とした土坑とは覆土、形態が異なり、帰属時期は不明である。

SK03（第 55 図）

**位置**　4－24 区Ｅ－7　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 120㎝、短軸 80㎝、深さ 34㎝。　**主軸方位**　N－18°－W　**壁面**　外傾して緩やかに立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK05（第 55 図）

**位置**　4－24 区Ｅ－5　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、下層はにぶい




**ＳＫ１１**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＫ１５**土層説明
**ＡＡ′ＢＢ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～1.0cm）少量含む。

第57図　SK11・15実測図（1/30）

黄褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸推定 105㎝、短軸 70㎝以上、深さ 44㎝。　**主軸方位**　Ｎ－85°－Ｅ　**壁面**　外傾して緩やかに立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK06（第 55 図）

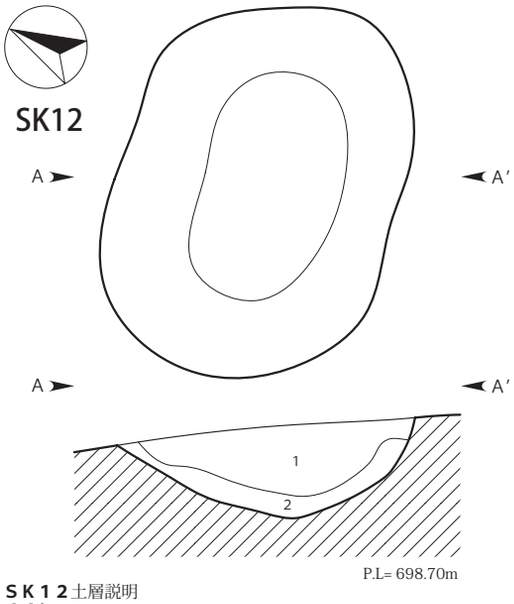
**位置**　４－24区Ｅ－６　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 134㎝、短軸 92㎝、深さ 23㎝。　**主軸方位**　Ｎ－77°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK07（第 56 図）

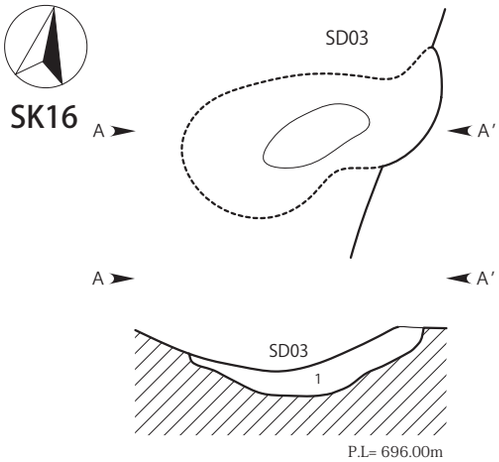
**位置**　４－24区Ｄ－６　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 92㎝、短軸 73㎝、深さ 16㎝。　**主軸方位**　Ｎ－31°－Ｗ　**壁面**　外傾して緩やかに立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK08（第 56 図）

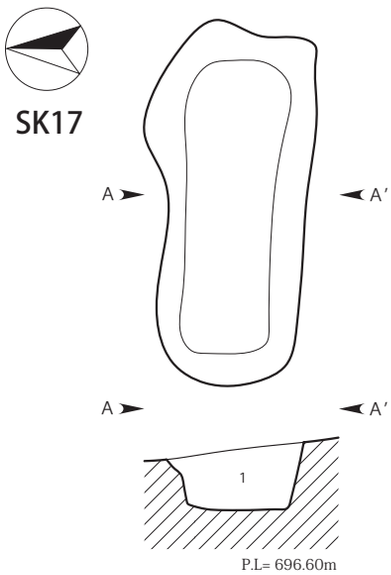
**位置**　４－24区Ｃ－９　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 80㎝、短軸 46㎝、深さ 24㎝。　**主軸方位**　Ｎ－58°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。



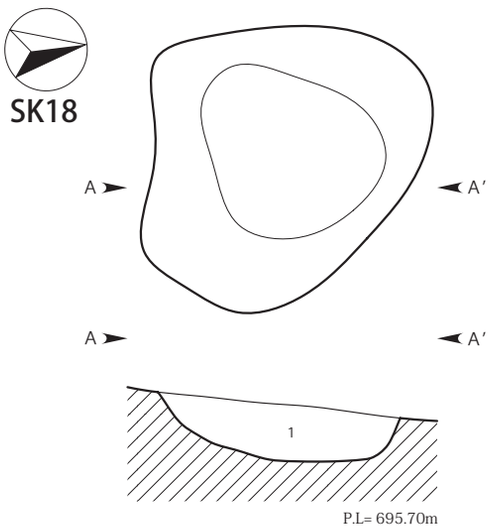

**ＳＫ１２**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性あり。しまりあり。礫（φ0.5～5.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性あり。しまりあり。礫（φ0.1～0.5cm）少量含む。



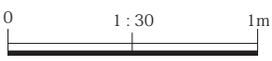

**ＳＫ１６**土層説明
**ＡＡ′**
1．褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.5cm）少量含む。




**ＳＫ１７**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～0.5cm）・礫（φ0.5～1.0cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.5cm）微量含む。




**ＳＫ１８**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）・礫（φ0.5～1.0cm）少量含む。




第58図　SK12・16～18実測図（1/30）

SK09（第 56 図）

**位置**　４－24 区Ｂ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層に暗褐色土、下層に褐色土が堆積する。人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 170㎝、短軸 97㎝、深さ 24㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 63°－Ｅ　**壁面**　外傾して緩やかに立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK10（第 56 図）

**位置**　４－24 区Ａ－６　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。

**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 61㎝、短軸 44㎝、深さ 23㎝。　**主軸方位**　N－58°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK11（第 57 図）

**位置**　4－14 区 D－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 140㎝、短軸 80㎝、深さ 27㎝。　**主軸方位**　N－76°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK12（第 58 図）

**位置**　4－24 区 B－6　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 154㎝、短軸 110㎝、深さ 38㎝。　**主軸方位**　N－88°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK15（第 57 図）

**位置**　4－24 区 D－3　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層に黒褐色土、下層に暗褐色土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 156㎝、短軸 84㎝、深さ 38㎝。　**主軸方位**　N－79°－W　**壁面**　外傾して立ち上がり、南側に段を有する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK16（第 58 図）

**位置**　4－24 区 E－3　**重複関係**　SD03 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　上層が SD03 によって削平されているが、概ね良好。　**覆土**　褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸推定 109㎝、短軸推定 53㎝、深さ 13㎝。　**主軸方位**　N－61°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK17（第 58 図）

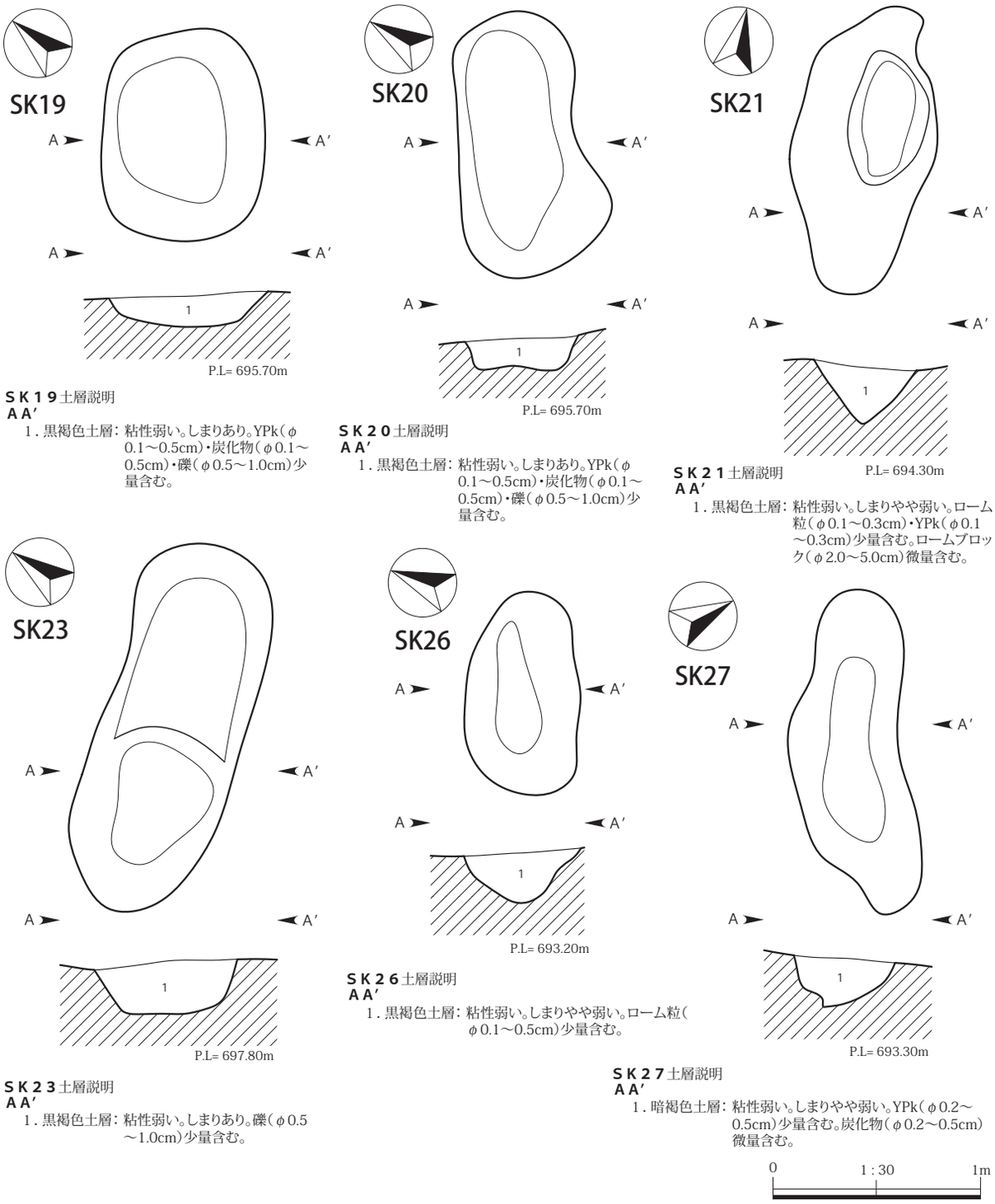
**位置**　4－24 区 A－2　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 146㎝、短軸 69㎝、深さ 24㎝。　**主軸方位**　N－86°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK18（第 58 図）

**位置**　4－24 区 A－1　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　礫を含む黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 132㎝、短軸 113㎝、深さ 22㎝。　**主軸方位**　N－25°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　埋没谷の覆土と類似し、地形の落ち込みの可能性がある。

SK19（第 59 図）

**位置**　4－24 区 B－1　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　礫を含む黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 102㎝、短軸 78㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－53°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　埋没谷の覆土と類似し、地形の落ち込みの可能性がある。




**ＳＫ１９**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）・礫（φ0.5～1.0cm）少量含む。

**ＳＫ２０**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）・礫（φ0.5～1.0cm）少量含む。

**ＳＫ２１**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。ロームブロック（φ2.0～5.0cm）微量含む。

**ＳＫ２３**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。礫（φ0.5～1.0cm）少量含む。

**ＳＫ２６**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＫ２７**土層説明
**ＡＡ′**
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～0.5cm）少量含む。炭化物（φ0.2～0.5cm）微量含む。

第59図　SK19～21・23・26・27実測図（1/30）

SK20（第 59 図）

**位置**　４－24 区Ｂ－１　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　礫を含む黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸 126㎝、短軸 56㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　Ｎ－54°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　埋没谷の覆土と類似し、地形の落ち込みの可能性がある。

SK21（第 59 図）

**位置**　4－14区D－19　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 140㎝、短軸 60㎝、深さ 28㎝。　**主軸方位**　N－3°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　北側に傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK23（第 59 図）

**位置**　4－23区T－4　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　礫を含む黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 182㎝、短軸 66㎝、深さ 26㎝。　**主軸方位**　N－69°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　埋没谷の覆土と類似し、地形の落ち込みの可能性がある。

SK26（第 59 図）

**位置**　4－14区E－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 97㎝、短軸 54㎝、深さ 24㎝。　**主軸方位**　N－70°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK27（第 59 図）

**位置**　4－14区C－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整長楕円形を呈する。規模は長軸 154㎝、短軸 50㎝、深さ 24㎝。　**主軸方位**　N－68°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK30（第 60 図）

**位置**　4－14区E－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 101㎝、短軸 78㎝、深さ 46㎝。　**主軸方位**　N－88°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK32（第 60 図）

**位置**　4－14区D－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 100㎝、短軸 68㎝、深さ 35㎝。　**主軸方位**　N－70°－E　**壁面**　外傾して立ち上がり、西側の一部が内傾する。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK41（第 60 図）

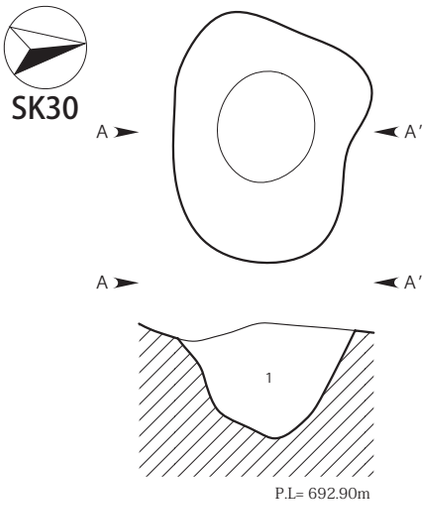
**位置**　4－14区D－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 60㎝、短軸 38㎝、深さ 27㎝。　**主軸方位**　N－63°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK45（第 60 図）

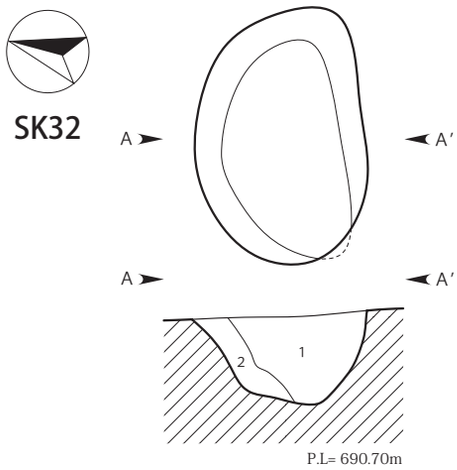
**位置**　4－13区M－10　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 140㎝、短軸 60㎝、深さ 16㎝。　**主軸方位**　N－83°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK49（第 61 図）

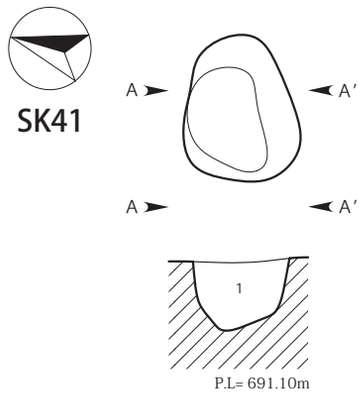
**位置**　4－13区Q－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層に黒褐色土、下層に暗褐色



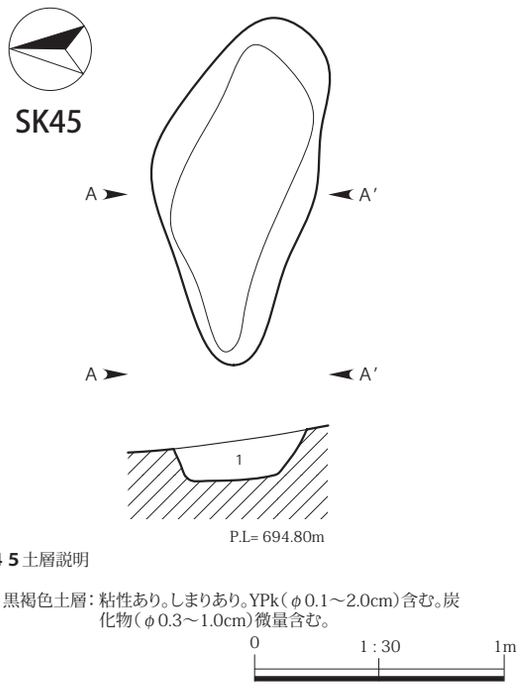

**ＳＫ３０**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。漸移層ブロック（φ1.5～8.0cm）含む。YPk（φ0.2～1.0cm）少量含む。ローム粒（φ0.05～0.1cm）・炭化物（φ0.1～0.2cm）微量含む。




**ＳＫ３２**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ2.0～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。




**ＳＫ４１**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～5.0cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.5cm）少量含む。




**ＳＫ４５**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性あり。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）含む。炭化物（φ0.3～1.0cm）微量含む。

第60図　SK30・32・41・45実測図（1/30）

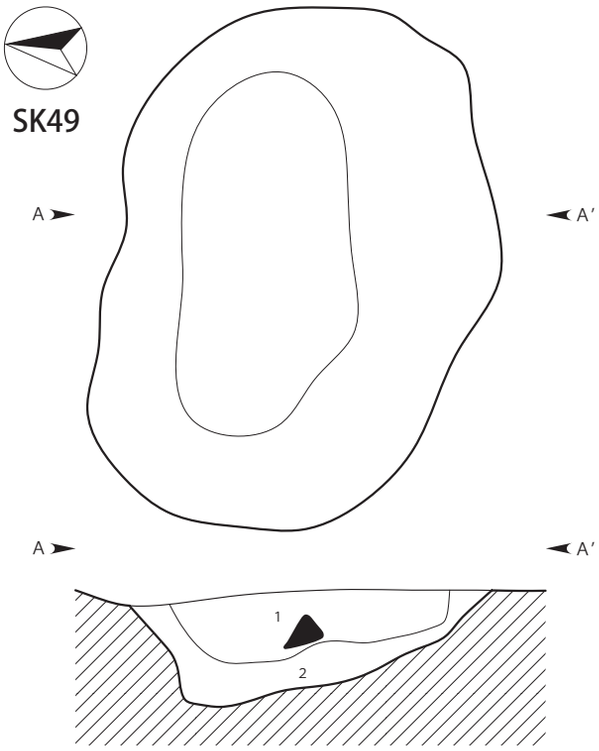
土が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 214㎝、短軸 157㎝、深さ 44㎝。　**主軸方位**　N－82°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

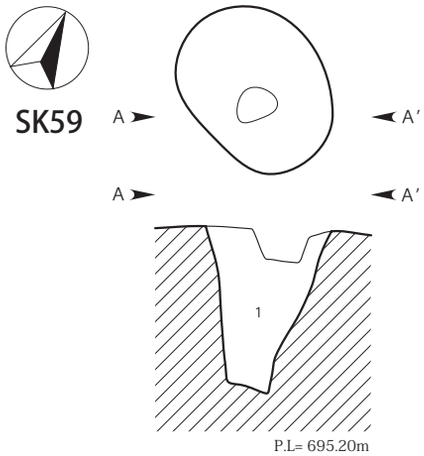
SK52（第 61 図）

**位置**　4－13区M－9　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層に黒褐色土、下層に暗褐色土が堆積する。人為的な堆積を示す。　**平面形と規模**　方形を呈する。規模は長軸 211㎝、短軸 94㎝、深さ 65㎝。　**主軸方位**　N－69°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK59（第 61 図）

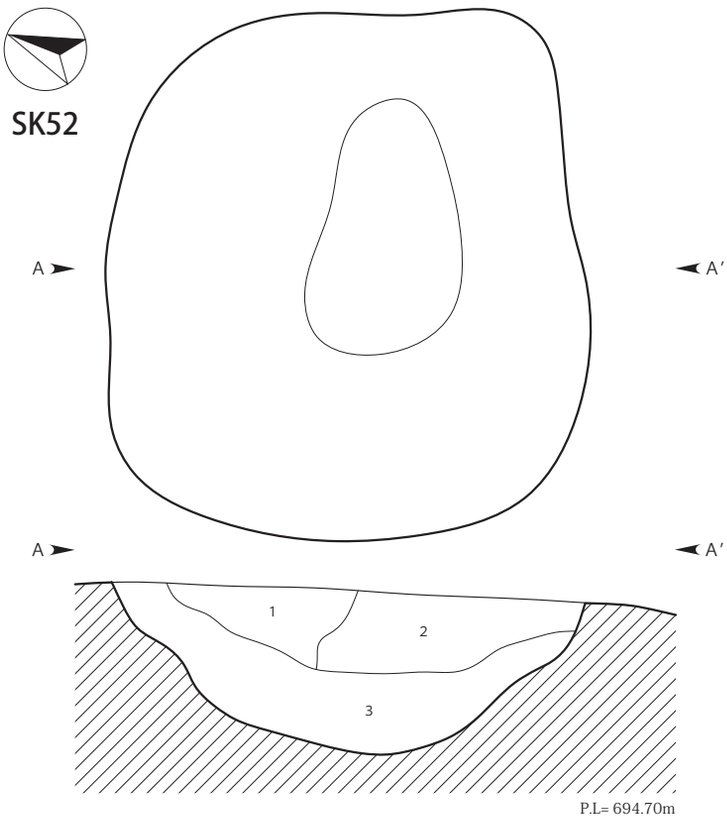
**位置**　4－13区O－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。

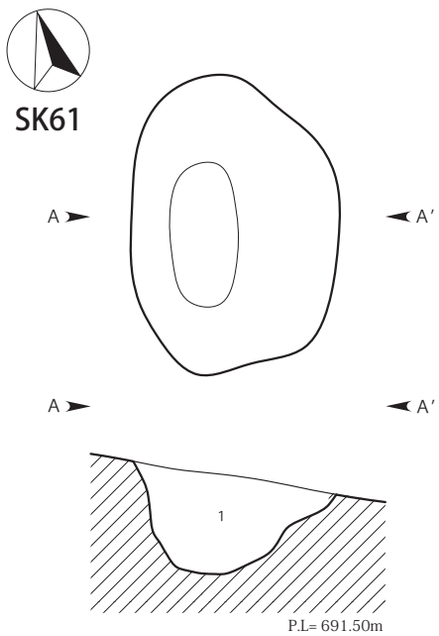



**ＳＫ５９**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

**ＳＫ４９**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）微量含む。




**ＳＫ６１**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）・YPk（φ0.3～2.0cm）少量含む。

**ＳＫ５２**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）含む。炭化物（φ0.3～0.5cm）微量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや強い。YPk（φ0.1～3.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～3.0cm）含む。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）少量含む。

0　1：30　1m

第61図　SK49・52・59・61実測図（1/30）

**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 70㎝、短軸 54㎝、深さ 53㎝。　**主軸方位**　N－57°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK61（第 61 図）

**位置**　4－14区C－11　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 118㎝、短軸 83㎝、深さ 40㎝。　**主軸方位**　N－14°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK66（第 62 図）

**位置**　4－13区R－10　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 270㎝、短軸 117㎝、深さ 40㎝。　**主軸方位**　N－68°－E　**壁面**　ほぼ垂直に外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。北壁の中央からＰ１が検出された。楕円形を呈し、長軸 10㎝、短軸６㎝、深さ 11㎝。本遺構に伴うピットだが、他のピットは検出されず、性格は不明である。　**遺物**　なし。　**備考**　試掘 57-2 号トレンチ SK03 である。

SK74（第 62 図）

**位置**　4－14区D－8　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 75㎝、短軸 54㎝、深さ 29㎝。　**主軸方位**　N－10°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK76（第 62 図）

**位置**　4－13区O－9　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 64㎝、短軸 38㎝、深さ 38㎝。　**主軸方位**　N－51°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　西側に傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK78（第 62 図）

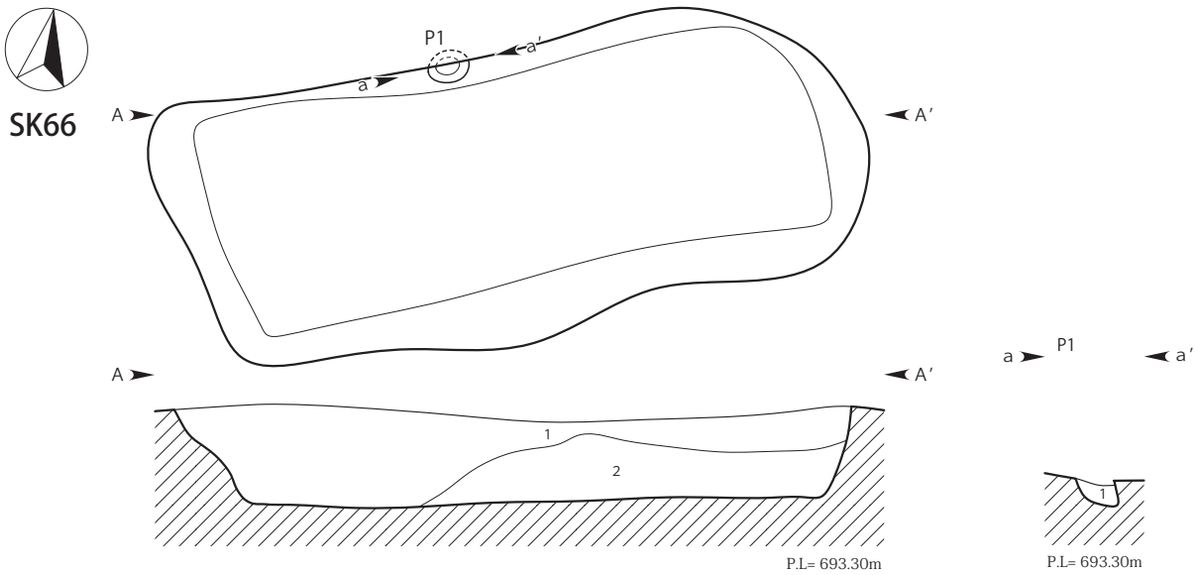
**位置**　4－14区B－12　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 106㎝、短軸 52㎝、深さ 19㎝。　**主軸方位**　N－37°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　弥生土器が５点出土しているが、小破片で遺構には伴わないと判断し、図示しなかった。　**備考**　なし。

SK79（第 63 図）

**位置**　4－14区F－5　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 102㎝、短軸 90㎝、深さ 38㎝。　**主軸方位**　N－58°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦だが、一部に凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

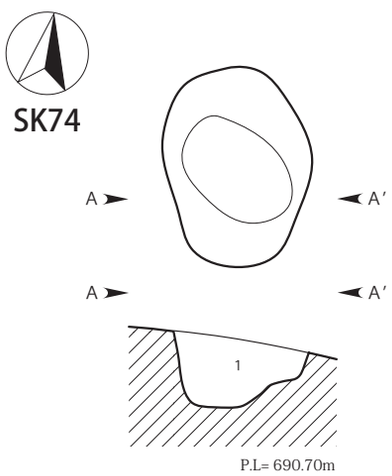
SK82（第 63 図／ＰＬ６）

**位置**　4－13区T－6　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　北側が調査区外にあるが、概ね良好。　**覆土**　上層に焼土が堆積するが、地山に被熱は見られない。人為堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 136㎝以上、短軸 99㎝、深さ 17㎝。　**主軸方位**　N－14°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　なし。　**備考**　一部に立石が認められ、時期は不明だが石組みの炉かカマドの可能性がある。

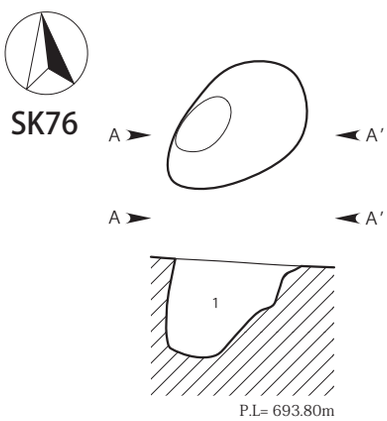



**ＳＫ６６**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～3.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

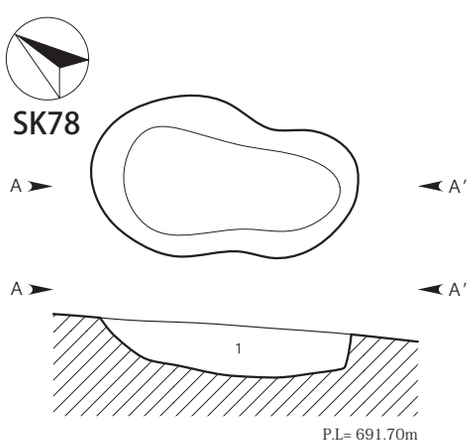
**ＳＫ６６Ｐ１**土層説明
**ａａ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。




**ＳＫ７４**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）含む。
YPk（φ1.0～2.0cm）少量含む。

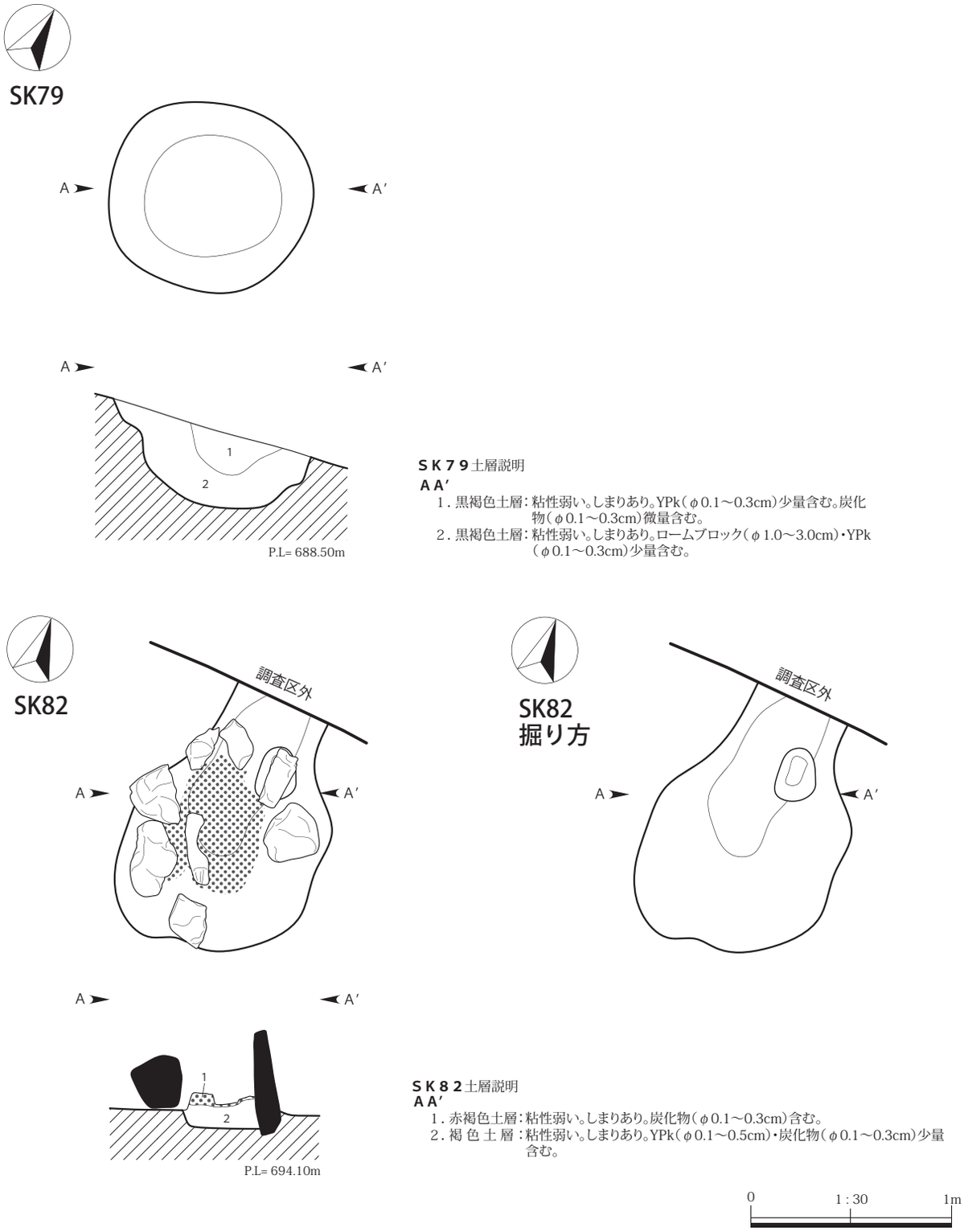



**ＳＫ７６**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。




**ＳＫ７８**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

第62図　SK66・74・76・78実測図（1/30）




**ＳＫ７９**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

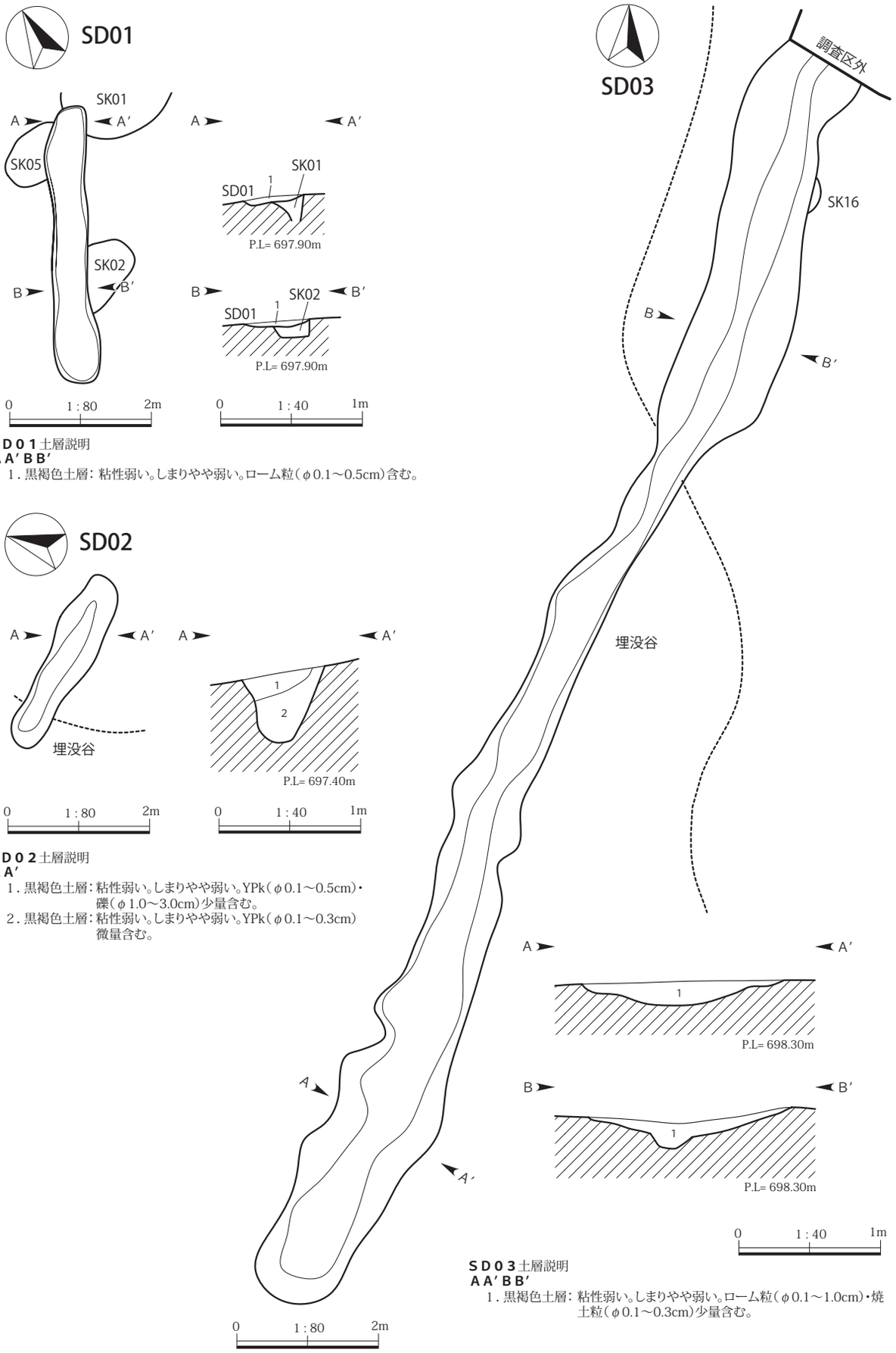
**ＳＫ８２**土層説明
**ＡＡ′**
1．赤褐色土層：粘性弱い。しまりあり。炭化物（φ0.1～0.3cm）含む。
2．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

第63図　SK79・82実測図（1/30）

## （2）溝

SD01（第 64 図）

**位置**　4－24 区Ｅ－5　**重複関係**　SK01・02・05 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**規模**　長さ 3.9 m、幅 47㎝、深さ 5 ㎝。　**主軸方位**　N－27°－E　**遺物**　なし。　**備考**　南北方向の地形の傾斜に沿って走行する自然流路の可能性がある。

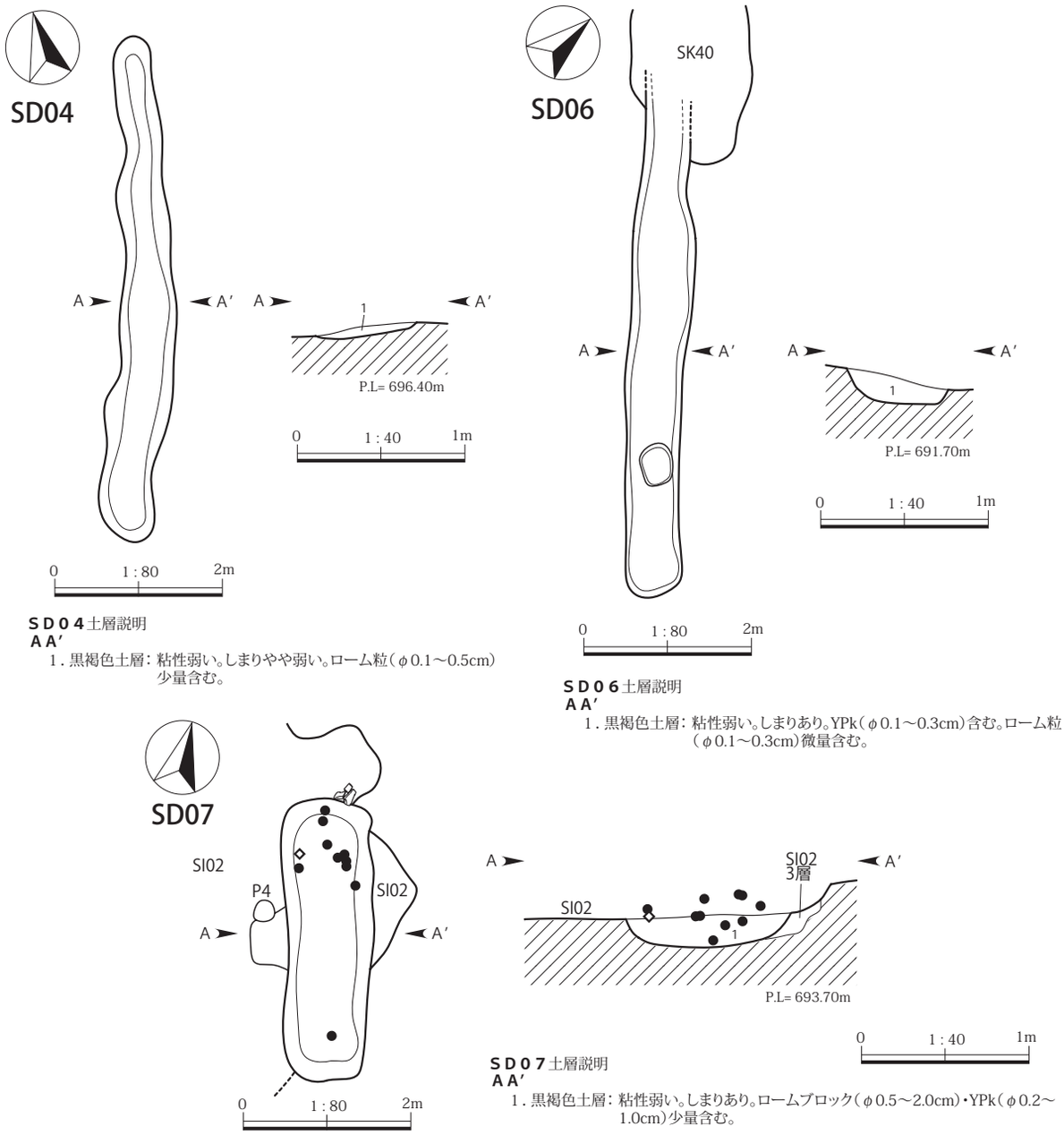



**ＳＤ０１**土層説明
**ＡＡ′ＢＢ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.5cm）含む。

**ＳＤ０２**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）・礫（φ1.0～3.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＤ０３**土層説明
**ＡＡ′ＢＢ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～1.0cm）・焼土粒（φ0.1～0.3cm）少量含む。

第64図　SD01～03実測図（1/40・1/80）




**ＳＤ０４**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.5cm）少量含む。

**ＳＤ０６**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.3cm）微量含む。

**ＳＤ０７**土層説明
**ＡＡ′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.2～1.0cm）少量含む。

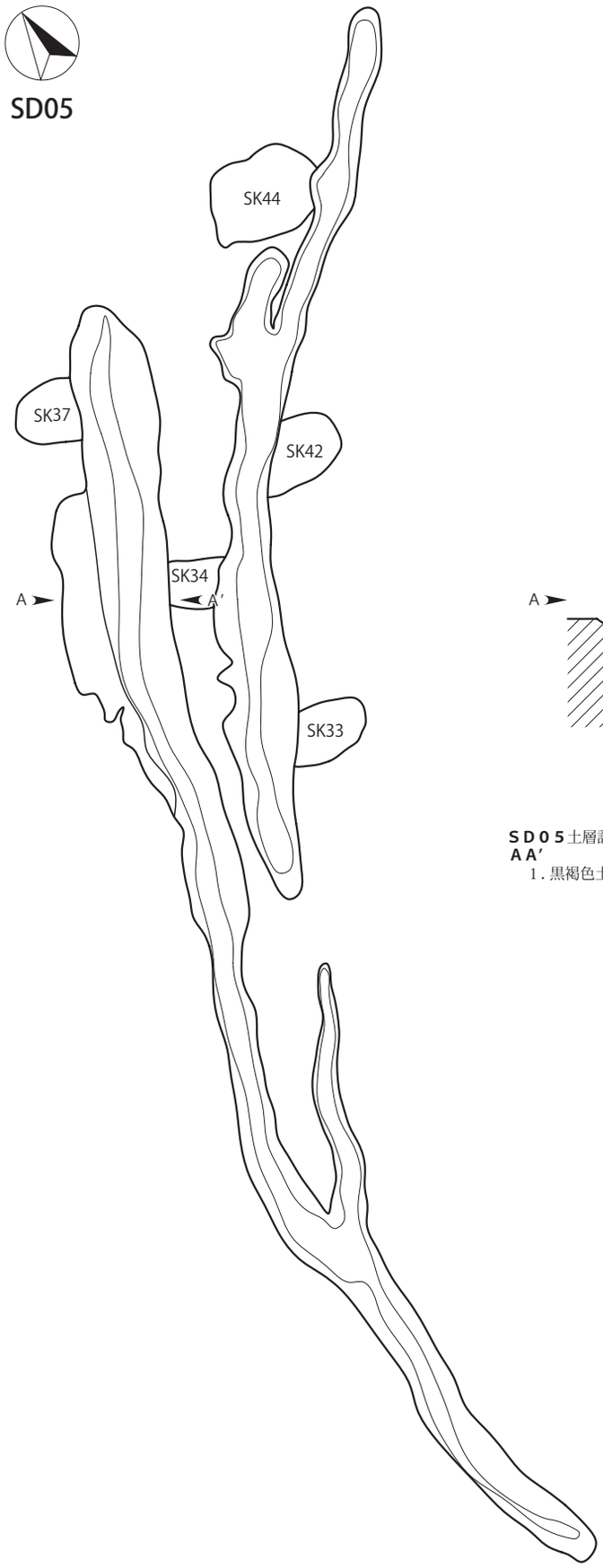
第65図　SD04・06・07実測図（1/40・1/80）

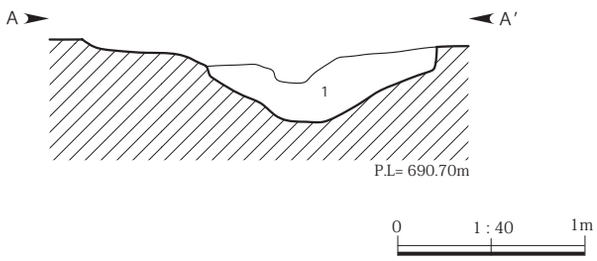
SD02（第 64 図）

**位置**　４－24 区Ｄ・Ｅ－５　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　長さ 2.64 m、幅 50㎝、深さ 50㎝。　**主軸方位**　Ｎ－77°－Ｗ　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

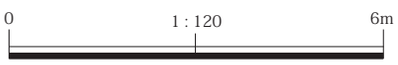
SD03（第 64 図）

**位置**　４－24 区Ｃ～Ｅ－３～６　**重複関係**　SK16 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　北側が調査区外にあるが、概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**規模**　長さ 19.14 m以上、幅 1.46 m、深さ 18㎝。　**主軸方位**　Ｎ－21°－Ｅ　**遺物**　灰釉陶器が１点出土しているが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　南北方向の地形の傾斜に沿って走行する自然流路の可能性がある。

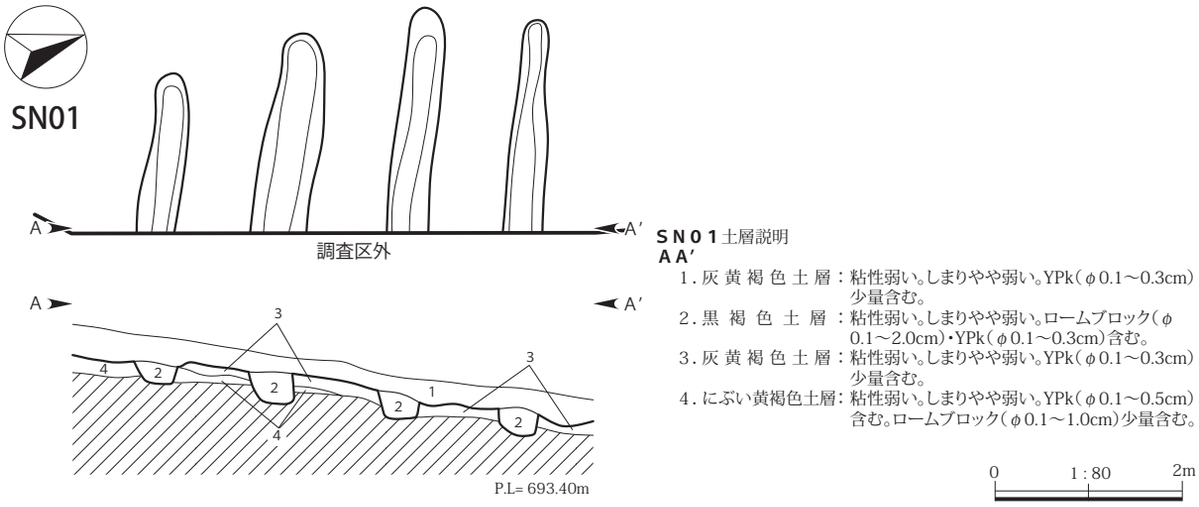



**SD05**土層説明
**AA′**
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～1.0cm）・YPk（φ1.0～3.0cm）少量含む。




第66図　SD05実測図（1/40・1/120）




第67図　SN01実測図（1/80）

SD04（第 65 図）

**位置**　4－24 区Ｅ－3・4　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**規模**　長さ 6.05 m、幅 80㎝、深さ 4 ㎝。　**主軸方位**　N－15°－E　**遺物**　なし。　**備考**　南北方向の地形の傾斜に沿って走行する自然流路の可能性がある。

SD05（第 66 図）

**位置**　4－14 区Ｄ～Ｇ－11 ～ 16　**重複関係**　SK33・34・37・42・44 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**規模**　長さ 27.96 m、幅 1.44 m、深さ 30㎝。　**主軸方位**　N－24°－E　**遺物**　なし。　**備考**　南北方向の地形の傾斜に沿って走行する自然流路の可能性がある。

SD06（第 65 図）

**位置**　4－14 区Ｃ・Ｄ－13・14　**重複関係**　SK40 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　長さ 6.02 m以上、幅 76㎝、深さ 16㎝。　**主軸方位**　N－47°－W　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SD07（第 65 図）

**位置**　4－13 区Ｒ・Ｓ－9・10　**重複関係**　SI02 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　長さ 3.36 m、幅 1 m、深さ 19㎝。　**主軸方位**　N－17°－W　**遺物**　土師器の甕が 60 点、杯が 1 点、須恵器の杯が 3 点出土している。　**備考**　出土遺物は SI02 に帰属する遺物と考えられ、明確な時期は不明である。

## （3）畑跡

SN01（第 67 図）

**位置**　4－14 区Ｆ－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　4 条の平行する溝が確認され、上部が削平され、東側が調査区外にある。　**覆土**　黒褐色土が基調で人為堆積を示す。　**規模**　長さ 2.42 m、幅 4.3 m、畝幅 42 ～ 60㎝、深さ 9 ～ 21㎝、面積 10.40㎡。　**主軸方位**　N－70°－W　**遺物**　陶磁器が 1 点出土しているが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　底面に耕作痕は見られず、施肥溝の可能性がある。出土遺物から近世の可能性がある。

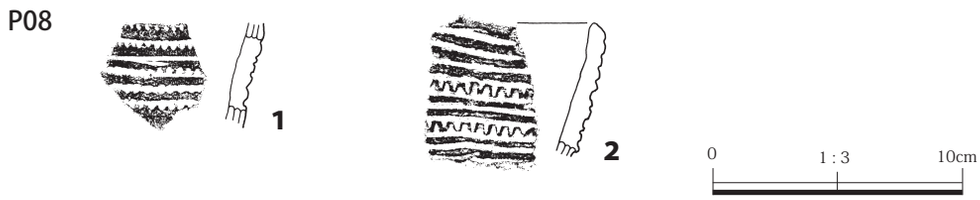
### （4）ピット（第 68 図／第 11・13 表／ＰＬ 8）

今回の発掘調査では、ピットは 17 基確認された。Ｐ 07 以外のピットはいずれも時期を特定することは困難であるため、全て時期不明とした。建物の柱穴と考えられるピットは確認されなかった。Ｐ 06・Ｐ 15 は遺構とならず、欠番とした。全てのピットの平面形や規模などの情報は、第 11 表に記載した。

第 11 表　上野Ⅰ遺跡ピット観察表②

| 遺構名 | 位置 | 平面形 | 規模（cm） | | | 覆土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸長 | 短軸長 | 深さ | | |
| P01 | ４－24 区Ｅ－７ | 円形 | 34 | 34 | 38 | A | |
| P02 | ４－24 区Ａ－４ | 円形 | 35 | 30 | 38 | A | |
| P03 | ４－24 区Ｃ－１ | 楕円形 | 55 | 38 | 22 | A | |
| P04 | ４－14 区Ｅ－19 | 円形 | 50 | 46 | 46 | A | |
| P05 | ４－14 区Ｄ－19 | 円形 | 25 | 20 | 26 | A | |
| P08 | ４－13 区Ｎ－10 | 楕円形 | 24 | 17 | 22 | B | |
| P09 | ４－14 区Ａ－13 | 円形 | 35 | 35 | 22 | A | |
| P10 | ４－13 区Ｓ－12 | 楕円形 | 30 | 20 | 34 | A | |
| P11 | ４－13 区Ｒ－12 | 円形 | 28 | 26 | 20 | A | |
| P12 | ４－13 区Ｓ－12 | 円形 | 25 | 25 | 36 | A | |
| P13 | ４－13 区Ｒ－11 | 楕円形 | 29 | 24 | 17 | A | |
| P14 | ４－13 区Ｒ－14 | 円形 | 76 | 68 | 58 | A | |
| P16 | ４－13 区Ｒ－11 | 円形 | 22 | 20 | 17 | A | |
| P17 | ４－13 区Ｓ－13 | 円形 | 26 | 23 | 17 | A | |
| P18 | ４－14 区Ｂ－10 | 楕円形 | 27 | 16 | 61 | A | |
| P19 | ４－13 区Ｒ－11 | 楕円形 | 24 | 20 | 28 | A | |

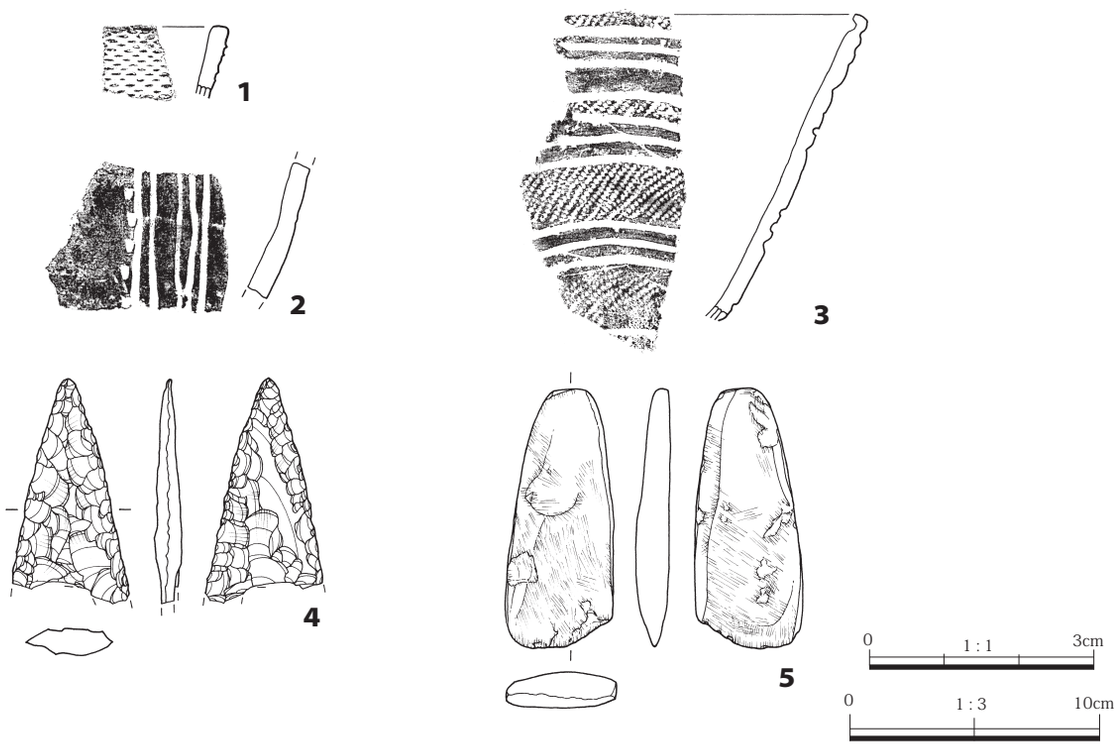
※ A：黒褐色土　B：暗褐色土




第68図　ピット出土遺物実測図（1/3）

## 第 5 節　遺構外出土遺物（第 69 図／第 13 表／ＰＬ 8）

ここでは、調査区表土および確認面出土遺物を掲載する。遺構外の遺物は北西部で縄文時代晩期の土器が多く出土しており、SI02 の周辺からは縄文時代早期の押型文土器が出土している。石器は蛇紋岩製の磨製石器、黒曜石製の石鏃が出土している。これらの遺物から、遺存状態の良いものを選んで図示した。




第69図　遺構外出土遺物実測図（1/1・1/3）

# 第５章　まとめ

今回発掘調査を行なった上野Ⅰ遺跡では、縄文時代晩期から弥生前期の土坑 10 基、ピット１基、平安時代の竪穴住居跡５軒（建て替え１軒含む）、陥し穴 33 基、平安時代末～中世の陥し穴２基、時期不明の土坑 34 基、ピット 16 基、溝７条、畑１面が確認された。

縄文時代晩期から弥生前期と推定される土坑群は調査区の北西側、平坦部に分布し、遺物も土坑群の周辺から出土している。竪穴住居跡を含めて集落域は確認出来ず、調査区外の北側に広がっていると考えられる。

出土した土器群は条痕文を施文した土器が最も多く、併せて沈線文が施される土器が見られた。以下の通りに分かれる。なおカッコ内の番号は第 14・15 図の番号に一致する。

浅鉢　縄文施文。沈線文によって工字文・変形工字文が施される（４・15・19・23・第 69 図３）。小破片のため変形工字文のみの精製土器（７・８）。

壺　縄文施文。沈線文によって工字文・変形工字文が施される（17）。無文。口縁部下位にミガキ（10）。

甕　条痕文のみ（１・２・14・16、20 ～ 22）。口縁部は複合口縁で縦位から斜位の条痕文が施される（11）。外面に縦位の条痕文を施し、綾杉状の刻みを楕円形の沈線文によって区画する（18）。外面に単節 LR 縄文を施す（５・12・13）。無文（６）。

個々の土器群に対して明確な型式の判断は難しいが、縄文晩期の氷Ⅰ・Ⅱ式や大洞 A・A' 式、千網式から、沖Ⅱ式などの弥生前期に比定される土器群への移行期の間隙を埋める資料であると考えられる。

SI01 ～ SI04A・B 号住居は、いずれも出土した土師器や灰釉陶器から平安時代に属し、９世紀後半～ 10 世紀前半の短期間に小規模な集落を形成していたと見られる。SI03 からは鉄滓、鞴の羽口が出土しており、鍛冶関連の施設を伴う可能性が考えられたが、採取した焼土からは鍛造剥片や粒状滓は確認できず、小鍛冶の痕跡は見られなかった。

陥し穴は平安時代 33 基、平安末～中世２基が検出されている。陥し穴の形態は２種類に分かれる。１類は平面形の上面形が楕円形、下面形が長方形、下面形が細くなる漏斗状の断面を呈する。本遺跡で検出された陥し穴はほとんどが同形態である。２類は平面形が長方形で壁は直線状に立ち上がり、底面は平坦で、杭跡を持つ例もある。遺物などは出土していないが、平安時代から中世に比定された三平Ⅱ遺跡の陥し穴と形態が類似している。１類については、下層の地山に YPk が堆積し、壁面の崩落防止にローム土での貼壁を行なっている。貼壁については YPk が堆積していない堅緻な地山でもローム土の貼り付けが行われる例が見られ、時間経過の中で、軽石層の崩落防止のための貼壁作業が形骸化したものと考えられる。

集落は調査区の北西側の平坦部、陥し穴は東側の平坦部端から斜面部に分布している。陥し穴域と集落域で、一部重複は見られるが、基本的には領域は区分されていたと考えられ、集落域は東沢の下流に位置する上野Ⅱ遺跡へ移動したと見られる。

第 12 表　上野Ⅰ遺跡平安時代住居跡諸属性一覧

| 遺構名 | 長軸方向 | 規模（m・㎡） | | | | 主柱配置 | カマド | | 周溝 | 付帯施設 | 遺物 | | | | | 時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 主軸 | 副軸 | 壁高 | 面積 | | 位置 | 構築方法 | | | 灰釉 | 墨書 | 羽釜 | 鉄製品 | 鉄滓 | |
| SI01 | N-32°-E | 4.06 | 4.04 | 0.15 | 15.5 | ２本・壁柱穴 | 北壁 | 石組・土で造成 | － | 貯蔵穴 | － | － | － | － | － | ９世紀後半～10 世紀前半 |
| SI02 | N-31°-E | (4.92) | 5.83 | 0.29 | <33.56> | ３本 | 北壁 | 石組・土で造成 | 北東 | 焼土 | － | － | － | ○ | － | ９世紀後半～10 世紀前半 |
| SI03 | N-50°-E | 4.70 | 5.19 | 0.27 | 20.16 | ４本 | 北壁・北東隅 | 石組・土で造成 | 西 | 焼土 | ○ | － | － | ○ | ○ | ９世紀後半～10 世紀前半 |
| SI04A | N-54°-E | <3.98> | <4.63> | 0.53 | <15.04> | ２本か | 東壁 | 石組・土で造成 | 東 | － | － | － | － | － | － | ９世紀後半～10 世紀前半 |
| SI04B | N-57°-E | 5.46 | 5.86 | 0.40 | 26.39 | ４本か | 東壁 | 石組・土で造成 | － | 礎石か | － | － | － | － | － | ９世紀後半～10 世紀前半 |

## 第 13 表　上野Ⅰ遺跡出土遺物観察表

### 縄文・弥生時代土坑出土遺物観察表

| 挿図No. | 図版No. | 器種 | 法量(器高／口径／底径)(cm) | 特徴（形態・手法等） | 焼成 | 胎土・材質等 | 色調(外面／内面) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14- 1 | 7 | 縄文土器・深鉢 | (3.2) ／－／－ | 外面に条痕文を施す。内面磨耗している。中期初頭（五領ヶ台Ⅱ式）か。 | 良好 | 砂粒・赤色粒 | にぶい黄橙 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14- 2 | 7 | 縄文土器・深鉢 | (4.0) ／－／－ | 外面にわずかに条痕文。内面横位ナデ。中期初頭（五領ヶ台Ⅱ式）か。 | 良好 | 砂粒・白色粒 | にぶい黄橙 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14- 3 | 7 | 縄文土器・深鉢 | (8.3) ／－／－ | 単節 LR 縄文施文後、横位の沈線文が走る。下部に条痕文。内面は横位ナデ。体部外面に煤付着。晩期後半（大洞 A ´ 式）か。 | 良好 | 砂粒・長石・石英・角閃石 | にぶい橙 / 明褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14- 4 | 7 | 縄文土器・浅鉢 | (11.6) ／－／－ | 外面単節 LR 縄文施文後、沈線文によって工字文を施す。内外横位ナデ。外面赤彩。内面口縁部に横位沈線。晩期後半（大洞 A ´ 式）か。 | 良好 | 砂粒・長石・雲母 | 灰褐 / 褐灰 | 口縁部～体部 15％残存。 SK47 |
| 14- 5 | 7 | 縄文土器・深鉢 | (16.0) ／－／－ | 外面全体に単節 LR 縄文。内面横位ナデ。晩期中葉～後葉（大洞系）か。 | 良好 | 砂粒・長石・角閃石 | にぶい黄橙 / 黒褐 | 体部 40％残存。 SK47 |
| 14- 6 | 7 | 縄文土器・深鉢 | (14.7) ／－／－ | 外面ヘラケズリ。内面ナデ。縄文晩期か。 | 良好 | 砂粒 | にぶい橙 / にぶい褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14- 7 | 7 | 縄文土器・浅鉢か | (4.6) ／－／－ | 外面は横位の沈線によって工字文が施される。わずかに赤彩。内面は横位ナデ。晩期終末期(氷Ⅱ式）か。 | 良好 | 砂粒 | 黒 / 褐灰 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14- 8 | 7 | 縄文土器・浅鉢か | (2.7) ／－／－ | 外面に横位の変形工字文が施される。わずかに赤彩。内面横位ナデ。晩期終末期(氷Ⅱ式)か。 | 良好 | 砂粒・角閃石 | 黒褐 / にぶい橙 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14- 9 | 7 | 弥生土器・甕 | (5.1) ／＜ 21.0 ＞／－ | 口縁部に横位の沈線文。内外横位ナデ。弥生初頭か。 | 良好 | 砂粒・長石・角閃石 | にぶい黄橙 | 口縁部 20％残存。 SK47 |
| 14-10 | 7 | 弥生土器・壺か | (4.2) ／－／－ | 内外横位ナデ。外面口縁部下位にミガキ。弥生初頭か。 | 良好 | 砂粒・小礫・雲母・石英 | にぶい褐 | 口縁部 15％残存。 SK47 |
| 14-11 | 7 | 弥生土器・深鉢 | (4.9) ／＜ 20.0 ＞／－ | 口縁部は複合口縁で縦位から斜位の条痕文が施される。内外横位ナデで、指頭痕が残る。弥生初頭か。 | 良好 | 砂粒・長石 | にぶい褐 / にぶい橙 | 口縁部 25％残存。 SK47 |
| 14-12 | 7 | 弥生土器・甕 | (5.1) ／－／－ | 外面単節 LR 縄文。ミガキ調整。内面横位ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・長石 | 黒褐 / にぶい黄橙 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14-13 | 7 | 弥生土器・深鉢か | (4.5) ／－／－ | 外面単節 LR 縄文。内外横位ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・長石・角閃石 | 橙 / にぶい褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14-14 | 7 | 弥生土器・深鉢 | (8.7) ／－／－ | 外面条痕文。内面横位ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・長石・角閃石 | 灰褐 / 黒褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14-15 | 7 | 弥生土器・浅鉢か | (3.2) ／－／－ | 外面単節 LR 縄文。内面横位ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・小礫・雲母・石英 | にぶい黄橙 / 黒褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14-16 | 7 | 弥生土器・深鉢 | (10.2) ／－／－ | 底部に近い下位の体部片。外面に縦位条痕文を施す。内面横位ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・長石・角閃石 | にぶい褐 / 黒褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 14-17 | 7 | 弥生土器・浅鉢 | (5.2) ／－／－ | 外面単節 LR 縄文を施した後、複数の沈線文を施す。内面横位ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・長石 | 黒褐 / 暗褐 | 破片資料（口縁部） SK47・SK67 |
| 15-18 | 7 | 弥生土器・深鉢か | (6.6) ／－／－ | 外面に縦位の条痕文を施し、綾杉状の刻みを楕円形の沈線文によって区画する。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・長石 | 黒褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 15-19 | 7 | 弥生土器・浅鉢か | (3.9) ／－／－ | 外面に単節 LR 縄文施文後、２条の横位の平行沈線文を施す。内面横位ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・長石 | 灰黄褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 15-20 | 7 | 弥生土器・深鉢か | (1.9) ／－／－ | 底部木葉痕。内外面ナデ。弥生前期か。 | 良好 | 砂粒・白色粒 | 赤褐 / にぶい橙 | 破片資料（底部） SK47 |
| 15-21 | 7 | 弥生土器・深鉢か | (3.0) ／－／－ | 外面に条痕文。内面ナデ。 | 良好 | 砂粒・石英 | にぶい褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 15-22 | 7 | 弥生土器・深鉢 | (6.3) ／－／－ | 外面に条痕文。内面ナデ。弥生前期。 | 良好 | 砂粒 | にぶい褐 / 灰黄褐 | 破片資料（体部） SK47 |
| 15-23 | 7 | 縄文土器・浅鉢 | (7.7) ／＜ 23.4 ＞／－ | 外面の上面は沈線文によって変形工字文が施される。下位は単節 RL 縄文。赤彩。煤付着。晩期後半（大洞 A 式古段階）か。 | 良好 | 砂粒・長石・角閃石 | にぶい橙 / 橙 | 口縁部～体部 40％残存。 SK53 |
| 15-24 | 7 | 弥生土器・壺 | (7.8) ／－／－ | 外面に横位の沈線文及び刺突文。内面折り返し口縁。内外ナデ。 | 良好 | 砂粒・長石・雲母 | 明赤褐 | 口縁部 15％残存。 SK55 |

## SI01 出土遺物観察表

| 挿図No. | 図版No. | 器種 | 法量（器高／口径／底径）（cm） | 特徴（形態・手法等） | 焼成 | 胎土・材質等 | 色調（外面／内面） | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 19- 1 | 7 | 土師器・甕 | （5.6）／－／－ | コの字状口縁甕。外面横位ヘラケズリ。内面横位ハケメ。 | 酸化焔・良好 | 砂粒・長石 | にぶい褐 / 明褐 | 口縁部～肩部 15％残存。 | SI01 |
| 19- 2 | 7 | 土師器・甕 | （5.4）／＜ 21.0 ＞－／－ | コの字状口縁甕。外面肩部横位ヘラケズリ。内面横位ナデ。 | 酸化焔・良好 | 砂粒・長石・角閃石 | にぶい褐 | 口縁部～肩部 20％残存。 | SI01P1 |
| 19- 3 | 7 | 土師器・甕 | （4.8）／－／－ | コの字状口縁甕。口縁部強く外反し、下位はほぼ直立する。内外面共に横位のナデ。 | 酸化焔・良好 | 砂粒 | 橙 | 口縁部 15％残存。 | SI01 掘り方 |
| 19- 4 | 7 | 須恵器・杯 | （4.7）／－／－ | ロクロ整形。内外ロクロナデ。外面ロクロ痕明瞭。 | 還元焔・良好 | 砂粒・長石 | 灰黄 / 黄灰 | 口縁部～体部 15％残存。 | SI01 2 層 |

## SI02 出土遺物観察表

| 挿図No. | 図版No. | 器種 | 法量（器高／口径／底径）（cm） | 特徴（形態・手法等） | 焼成 | 胎土・材質等 | 色調（外面／内面） | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25- 1 | 7 | 土師器・甕 | （6.4）／－／－ | 小型のロクロ甕。内外ロクロナデ。外面の口縁部。 | 酸化焔・良好 | 砂粒・白色粒 | 灰黄褐 / 暗褐 | 口縁部～体部 10％残存。 | SI02P7 |
| 25- 2 | 7 | 須恵器・杯 | （8.0）／＜ 20.0 ＞／－ | ロクロ整形。内外ロクロナデ。 | 還元焔・良好 | 砂粒・長石 | にぶい黄橙 | 口縁部～体部 20％残存。 | SI02P12 |

## SI03 出土遺物観察表

| 挿図No. | 図版No. | 器種 | 法量（器高／口径／底径）（cm） | 特徴（形態・手法等） | 焼成 | 胎土・材質等 | 色調（外面／内面） | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31- 1 | 8 | 須恵器・甕 | （16.7）／－／－ | 外面はナデ調整。内面ナデ調整で一部指頭痕が残る。 | 還元焔・良好 | 砂粒 | 灰褐 / 黄灰 | 頸部～体部 60％残存。 | SI03・SI031・2 号カマド |
| 31- 2 | 8 | 土師質土器・杯 | （4.0）／＜ 13.6 ＞／－ | 黒色土器。ロクロ整形。外面ロクロナデ。内面はミガキ後黒色処理される。ミガキの単位は不明瞭。 | 酸化焔・良好 | 砂粒・石英 | にぶい黄橙 / 黒 | 口縁部～体部 20％残存。 | SI03 |
| 31- 3 | 8 | 土師質土器・杯 | （4.2）／＜ 15.2 ＞／－ | 黒色土器。ロクロ整形。外面ロクロナデ。口縁部付近黒色。内面ロクロナデ後ミガキ。口縁部横位のミガキ。体部一部ミガキ後黒色処理がされる。 | 酸化焔・良好 | 砂粒・石英・長石 | にぶい黄褐 / 黒 | 口縁部～体部 30％残存。 | SI03 |
| 31- 4 | 8 | 須恵器・杯 | （4.0）／＜ 16.0 ＞／＜ 8.5 ＞ | ロクロ整形。内外ロクロナデ。外面ロクロ痕明瞭。底部回転糸切り後、体部立ち上がり部を横位のヘラケズリ。外面体部に墨書と見られる痕跡がある。「中」か。 | 還元焔・良好 | 砂粒・白色粒・赤色粒 | 暗灰黄 / 灰黄 | 口縁部～体部 20％残存。 | SI03P10 |
| 31- 5 | 8 | 須恵器・杯 | （2.9）／－／ 6.8 | ロクロ整形。内外ロクロナデ。底部回転糸切り。貼り付け高台で横位のナデ。 | 還元焔・良好 | 砂粒・石英・小礫 | 浅黄 | 底部 50％残存。 | SI03 1 号カマド |
| 31- 6 | 8 | 須恵器・甕 | （12.7）／－／－ | 外面平行叩き。内面はナデ調整だが、全体に風化している。 | 還元焔・良好 | 砂粒 | 黒褐 / 灰 | 破片資料（体部） | SI03 1 号カマド・1 号カマド |
| 31- 7 | 8 | 須恵器・甕 | （13.8）／－／－ | 外面平行叩き。内面肩部はナデ調整。体部内面にわずかな窪み。当て具の痕跡か。 | 還元焔・良好 | 砂粒・白色粒 | 灰 | 頸部～体部 30％残存。 | SI03・SI031・2 号カマド・P7 |
| 31- 8 | 8 | 須恵器・甕 | （9.2）／－／－ | 外面は横位の沈線と波状文を交互に巡らす。内面はナデ調整。自然釉付着。 | 還元焔・良好 | 砂粒・白色粒 | 灰 / 灰白 | 破片資料（体部） | SI03・SI031 号カマド |
| 31- 9 | 8 | 灰釉陶器・皿 | 3.1 ／＜ 14.0 ＞／ 5.7 | ロクロ整形。内外ロクロナデ。施釉は漬け掛け。発色は透明～淡緑色。底部は回転ヘラナデで切離し後ナデ消し。貼り付け高台で横位にナデ付け。底部焼成時破裂痕。 | 還元焔・堅緻 | 白色粒 | 灰白 | 口縁部～台部 40％残存。 | SI03 |
| 31-10 | 8 | 灰釉陶器・皿 | 2.5 ／＜ 13.2 ＞／ 7.0 | ロクロ整形。内外ロクロナデ。施釉は漬け掛け。発色は透明でごく一部淡緑色。底部は回転糸切りで高台付近をナデ消し。 | 還元焔・堅緻 | 白色粒 | 灰白 | 口縁部～台部 40％残存。 | SI03 |

## SI04 出土遺物観察表

| 挿図No. | 図版No. | 器種 | 法量（器高／口径／底径）（cm） | 特徴（形態・手法等） | 焼成 | 胎土・材質等 | 色調（外面／内面） | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 38- 1 | 8 | 土師器・甕 | （10.6）／－／－ | コの字状口縁甕。口縁部は緩く外反し、下位は直立気味に立ち上がる。口縁部は内外共に横位ナデ。外面の肩部横位のヘラケズリ、体部下位は縦位のヘラケズリ。 | 酸化焔・良好 | 砂粒 | 褐 / 橙 | 口縁部～体部 15％残存。 | SI04・カマド |
| 38- 2 | 8 | 土師器・甕 | （7.8）／－／－ | コの字状口縁甕。口縁部強く外反し、下位はほぼ直立する。内外面共に横位ナデで外面に指頭痕残る。外面肩部横位ヘラケズリ。 | 酸化焔・良好 | 砂粒・石英・角閃石 | にぶい橙 / 明褐 | 口縁部～体部 15％残存。 | SI04 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 38- 3 | 8 | 土師器・甕 | (6.9) ／＜ 19.0 ＞／－ | コの字状口縁甕。口縁部は緩く外反し、下位は直立気味に立ち上がる。口縁部は内外共に横位ナデで指頭痕が残る。外面肩部横位ヘラケズリ、体部下位は縦位ヘラケズリ。 | 酸化焔・良好 | 砂粒・長石・角閃石 | にぶい褐 | 口縁部～肩部 20％残存。 | SI04 カマド |
| 38- 4 | 8 | 土師質土器・杯 | 4.0 ／＜ 12.0 ＞／ 4.8 | ロクロ整形。内外ロクロナデ。底部完存。底部に墨書と見られる痕跡がある。「地」か。 | 酸化焔・良好 | 砂粒 | にぶい褐 | 口縁部～底部 30％残存。 | SI04 |
| 38- 5 | 8 | 須恵器・杯 | 3.6 ／＜ 13.3 ＞／ 6.8 | ロクロ整形。内外ロクロナデ。内外の口縁部は煤状に黒色化している。底部回転糸切りで切離し後は粗雑な仕上げで縁に粘土が残る。 | 還元焔・良好 | 砂粒・小礫・白色粒 | 灰白 | 口縁部～底部 40％残存 | SI04 |
| 38- 6 | 8 | 須恵器・杯 | (4.4) ／＜ 13.8 ＞／－ | ロクロ整形。内外ロクロナデ。 | 還元焔・良好 | 砂粒・赤色粒 | 灰 | 口縁部～体部 20％残存。 | SI04 |
| 38- 7 | 8 | 須恵器・杯 | (4.0) ／－／＜ 8.0 ＞ | ロクロ整形。内外ロクロナデ。底部回転糸切り後ナデ調整。貼り付け高台で継ぎ目に粘土が残る。高台は横位のナデ付けで、接地面に指頭痕が残る。 | 還元焔・良好 | 砂粒・石英 | 灰黄 | 底部～体部 20％残存。 | SI04 |

## ピット出土遺物観察表

| 挿図No. | 図版No. | 器種 | 法量（器高／口径／底径）(cm) | 特徴（形態・手法等） | 焼成 | 胎土・材質等 | 色調（外面／内面） | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 68- 1 | 8 | 縄文土器・深鉢 | (4.1) ／－／－ | 外面に横位刺突文。内面横位ナデ。縄文中期。 | 良好 | 砂粒・長石・雲母 | 黒褐 / 灰褐 | 破片資料（体部） | P08 |
| 68- 2 | 8 | 縄文土器・深鉢 | (5.3) ／－／－ | 外面に横位沈線文。交互刺突による波状文を描く。縄文中期。 | 良好 | 砂粒・長石・雲母 | 黒褐 / にぶい赤褐 | 破片資料（口縁部～体部） | P08 |

## 遺構外出土遺物観察表

| 挿図No. | 図版No. | 器種 | 法量（器高／口径／底径）(cm) | 特徴（形態・手法等） | 焼成 | 胎土・材質等 | 色調（外面／内面） | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 69- 1 | 8 | 縄文土器・浅鉢 | (2.8) ／－／－ | 外面に押型文（楕円文）を施す。内面横位ナデ。早期前半（卯ノ木式）。 | 良好 | 砂粒・長石 | にぶい黄橙 | 破片資料（口縁部） | 確認面 |
| 69- 2 | 8 | 縄文土器・甕 | (5.3) ／－／－ | 外面に縦位 5 条の沈線文と、沈線の脇に縦位の刺突文を施す。内面横位ナデ。外面ナデ。縄文晩期か。 | 良好 | 砂粒・長石 | 黒褐 / 暗褐 | 破片資料（体部） | 表土 |
| 69- 3 | 8 | 弥生土器・浅鉢 | (12.0) ／－／－ | 外面単節 LR 縄文施文後、沈線文によって工字文を施す。内外横位ナデ。赤彩。内面口縁部に横位の沈線文。氷Ⅱ式。 | 良好 | 砂粒・長石・雲母 | にぶい黄橙 / 灰黄褐 | 破片資料（口縁部～体部） | SI02 周辺 |
| 69- 4 | 8 | 剥片石器類・石鏃 | 長 (3.0) ／幅 1.5 ／厚 0.3 | 重量 1.1g。凹基。 | － | 黒曜石 | － | 脚部欠損。 | 表土 |
| 69- 5 | 8 | 磨製石斧類・磨製石斧 | 長 10.2 ／幅 4.3 ／厚 1.3 | 重量 108.8g。 | － | 蛇紋岩 | － | ほぼ完存。 | 確認面 |